総目次

目次

オーディオ・テレビ

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

車両情報

ハンズフリーフォン

カーウイングス

音声操作

カメラシステム

ETC

付録

本書の見かた

本書ではスイッチや操作画面のメニュー項目などをマークで表しています。また、車種や仕様によりすべての車についていない装備や機能などにも識別用のマークを付けています。

本書で使用しているマークの見かたは以下の通りです。

本書で使用している画面やイラストは、仕様によりお客様の車両と異なる場合があります。

設定	コントロールパネルやステアリングなどにあるスイッチを表します。
自宅へ帰る	操作画面や地図上に表示されるメニューや項目を表します。
★	グレードにより異なる装備またはオプションのため、すべての車にはついていない装備です。
◎	三菱自動車販売会社で装着する注文装備品のため、すべての車にはついていない装備です。

本書では、安全上の注意・警告、お客さまに守っていただきたいこと、または知っていると便利な情報などを下記のように書き分けています。

⚠ 警告	安全のために必ず守っていただきたいこと。 守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠ 注意	安全のために必ず守っていただきたいこと。 守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
アドバイス	ナビをご使用するときに守っていただきたいこと。 守らないとシステムの破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。

安全上のご注意

ナビをご使用になる前に、以下の注意事項を必ずお読みください。

これらは安全のために重要ですので、よくお読みの上、正しくお使いください。

運転中のご注意

安全にお車を運転していただくために、以下の注意事項をお読みください。

⚠ 注意

- **操作または画面を注視する際は、必ず安全な場所に停車してください。**
- **運転中にオーディオなどを使用されるときは、車外の音が聞こえる音量でご使用ください。外部の音が聞こえない状態で運転すると、安全運転の妨げになります。**

アドバイス

- 道路状況やナビの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制・道路状況にしたがって走行してください。

停車時のご注意

⚠ 警告

- **屋内など換気の悪いところでの操作は、エンジンを切ってから(ガソリン車)、またはハイブリッドシステムを停止させてから（ハイブリッド車）行ってください。車内や屋内に排気ガスが充満して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。**

アドバイス

- エンジンを止めた状態でのご使用はバッテリーあがりの原因となります。テレビなどのご利用はエンジンをかけて行ってください（ガソリン車）。
- ハイブリッドシステムを停止した状態でのご使用は12Vバッテリーあがりの原因となります。テレビなどのご利用はハイブリッドシステムを作動させて行ってください（ハイブリッド車）。

ナビ本体についてのご注意

ナビ本体のお取り扱いについて、以下の注意事項をお読みください。

⚠ 警告

- **ナビ本体および接続機器を分解・改造・取り外しなどしないでください。感電・故障などの原因となります。**
- **故障の原因となりますので、ナビ本体およびUSBメモリなどの挿入口に異物を入れないでください。**
- **画面が表示されない、音が出ないなど、異常が発生したときは使用を中止してください。お客さまご自身で修理を行わずに必ず「三菱自動車販売会社」にご相談ください。**

アドバイス

- 低温時や高温時にハードディスクからのデータ読み込みやハードディスクへのデータ書き込みができず、一部の機能が動作しない場合があります。
- 本製品の故障、誤作動または不具合によりハードディスクに保存されなかった場合のデータおよび消失したデータの補償は致しかねます。あらかじめご了承ください。
- ETCユニットを改造すると電波法により罰せられることがあります。

接続機器についてのご注意

⚠ 警告

- **ナビに接続するiPodのUSBケーブルや携帯電話の通信ケーブルを、エアバッグの作動を妨げるような場所に設置しないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時に接続機器が飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。**

⚠ 注意

- **ナビに接続するオーディオ機器、電話機または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。**

アドバイス

- 走行中にiPodやUSB通信ケーブルなどのプラグの抜き差しやディスクの出し入れをしないでください。接続口および接続メディア本体の破損につながる可能性があります。
- iPodやUSB、通信ケーブルなどを直射日光のあたるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。
- 静電気や電気的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接あたるおそれのある場所にiPodやUSBメモリなどを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- iPodやUSB、通信ケーブル、AUX(外部機器)の接続口や、B-CASカード、ETCカードが濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となりますので接続、挿入しないでください。

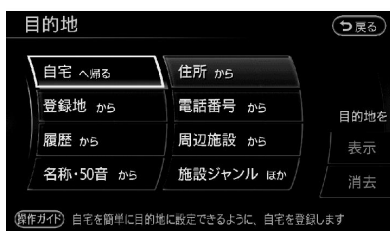
安全運転のための機能

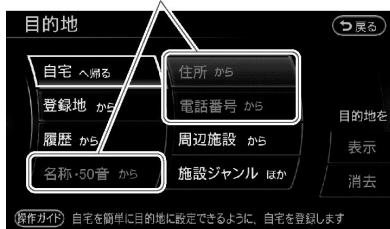
安全に運転をしていただくために、走行中は操作できない機能があります。

運転中操作できない機能は、メニューを選べなくなります。

また、ハンズフリーフォンや10キー入力などの操作もできなくなります。

安全な場所に停車してから操作を行ってください。

<メニューの表示中(例)>

停車中

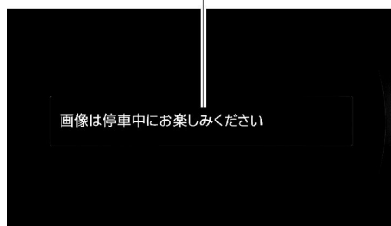
選べなくなります

走行中

■ オーディオ画面表示制限

オーディオの画像表示（テレビ、DVD、USBなど）はパーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。

<テレビを表示中>

停車中

メッセージ表示後、地図画面になります

走行中

本装置には、技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

本装置は、（財）電気通信端末機器審査協会による技術基準適合認定を受けております。

T A04-0310001

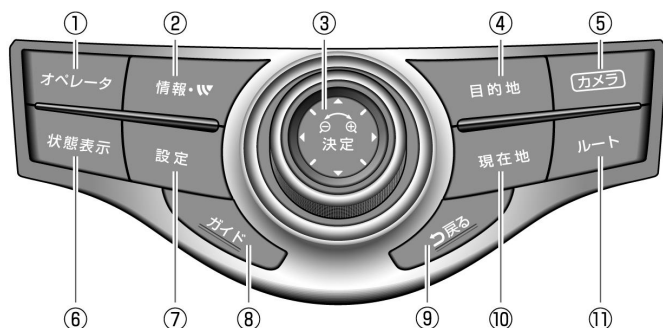
さぁ、はじめましょう！

基本的な使いかた

本システムは、画面タッチパネルとコントロールパネル上またはステアリングにある各スイッチを使って操作します。

各部の名称と機能

ここでは本システムを操作するためのスイッチの各部名称と機能について説明しています。

■ コントロールパネル（ナビ操作部）

① オペレータスイッチ
カーウイングスオペレータに接続します。

② 情報・W スイッチ
車両、VICS、カーウイングスなどの情報を表示します。

③ **マルチファンクションスイッチ**
　メニュー画面を表示しているときは、上下左右にスライドさせたり左右に回したりして、画面の項目を選びます。地図を表示しているときには8方向にスライドさせて地図を動かしたり、左右に回したりして、地図の縮尺を変えます。
　中央の決定スイッチは、選択した項目を確定するときに押します。地図画面で押すと、地図に関するいろいろな操作ができる便利なマップメニュー画面を表示します。

④ 目的地スイッチ
目的地や経由地を探します。

⑤ カメラスイッチ
カメラの映像を表示します。

⑥ 状態表示スイッチ
現在使っているオーディオやエアコン、車両情報を表示します。

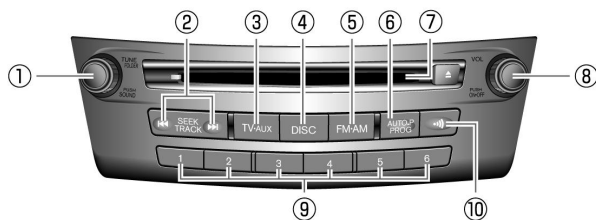
⑦ 設定スイッチ
ナビ、オーディオ、情報などの設定をします。

⑧ ガイドスイッチ
音声ガイドをきくことができます。

⑨ 戻るスイッチ
操作の途中で1つ前の画面に戻ります。
文字や数字を入力しているときは、入力した文字や数字を削除します。

⑩ 現在地スイッチ
今いる場所の地図を表示します。

⑪ ルートスイッチ
ルートの編集や確認ができます。

■ コントロールパネル（オーディオ、映像操作部）

① **TUNE/FOLDER / PUSH SOUND スイッチ**
ラジオのときにスイッチを回すと、周波数が変わります。ミュージックボックス/CD（MP3/WMA/AAC)/USBメモリのときは、再生するアルバムまたはフォルダを変更できます。スイッチを押すと、音質を設定できます。

② **SEEK / TRACK スイッチ**
受信できるラジオの周波数・テレビのチャンネル検索や曲送りをします。

③ **TV・AUX スイッチ**
押すごとにTV1 → TV2 → iPod/USB → Bluetooth®オーディオに切り替えます。

④ **DISC スイッチ**
押すごとにCD/DVD→ミュージックボックスに切り替えます。

⑤ **FM・AM スイッチ**
ラジオに切り替えます。押すごとにFM1 → FM2 → AMに切り替わります。

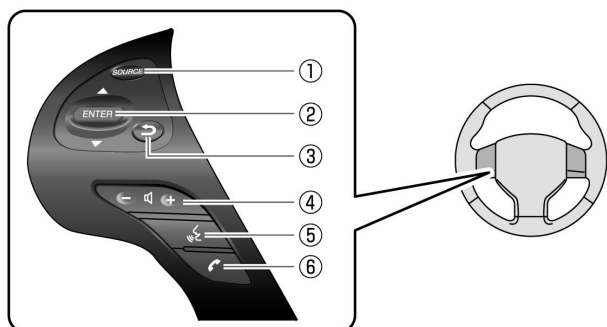
⑥ **PROG AUTO.P スイッチ**
CD/DVD/ミュージックボックス/iPod/USBメモリ/Bluetooth®オーディオのリピートを切り替えます。
ラジオのときは、スイッチを押すと、手動登録モード（マニュアルプリセット）と自動登録モード（オートプリセット）を切り替えます。スイッチを長く押すと、受信可能な放送局を自動で登録します。

⑦ **ディスク挿入口**

⑧ **VOL ／ PUSH ON・OFF スイッチ**
回すと、音量を調節できます。
スイッチを押すと、オーディオやテレビをON・OFFします。

⑨ **プリセットスイッチ 1 〜 6**
あらかじめ登録されているラジオやテレビの放送局を選びます。長く押すと、現在視聴している放送局を登録します。

⑩ **•))) スイッチ**
交通情報をきくことができます。

■ ステアリングスイッチ

① SOURCE スイッチ
オーディオの種類を切り替えます。メディアを挿入していないときは、CDやDVDなどには切り替わりません。

② ENTER スイッチ
メニュー画面やオーディオの操作ができます。
メニュー画面表示中に上下に倒すと、メニュー項目を選択します。スイッチを押すと選択した項目を決定します。
地図画面表示中に上下に倒すと、オーディオの操作ができます。
スイッチを長押しするとナビメニューを表示します。

ステアリングスイッチでナビの操作をする…p.17

③ スイッチ
コントロールパネルの 戻る と同じ操作ができます。

④ − + スイッチ
音声を調整します。＋側を押すと音量が大きくなり、−側を押すと小さくなります。

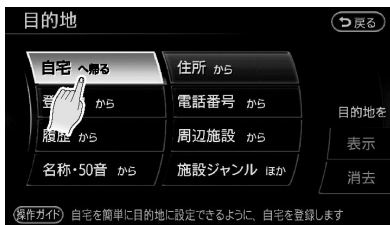
⑤ スイッチ
音声操作画面に切り替わります。

⑥ スイッチ
ハンズフリーフォン操作画面に切り替わります。

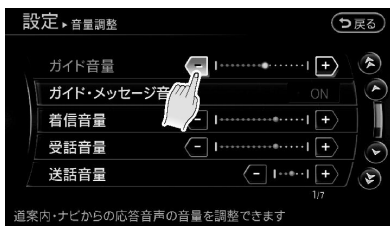
基本的な操作のしかた

■ タッチパネルの基本操作

● メニュー画面にある項目を選ぶ

1 項目をタッチする

項目が決定され、次の画面が表示されます。

● 音量を調整する

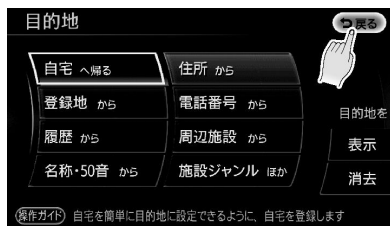
1 －または＋をタッチする

目盛の色が変わり、調整できます。
タッチするごとに、目盛が変化します。

● 機能の設定をON/OFFする

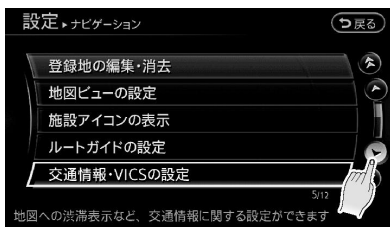
1 項目をタッチする

タッチするごとに設定のON/OFFが切り替わります。

● 前の画面に戻る

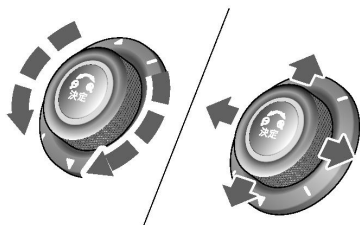
1 戻るをタッチする

1つ前の画面に戻ります。
先頭のメニュー画面の場合は、現在地画面が表示されます。

● リストや情報画面などをスクロールさせる

1 ▲または▼をタッチする

表示されていないリストや情報画面が表示されます。
タッチすると、表示されている項目を1行ずつ送ります。
▲▲または▼▼をタッチすると、次のページが表示されます。

■ コントロールパネルの基本操作

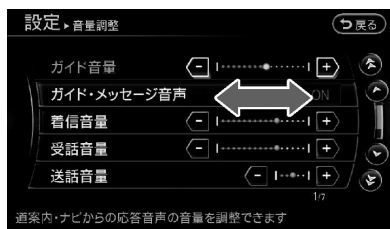
● メニュー画面にある項目を選ぶ

1 マルチファンクションスイッチを回すか、上下左右にスライドさせる

2 画面上の選択項目が動く

選んだ項目の色が変わります。
右に回すと選ぶ項目が下に移動し、左に回すと上に移動します。
決定スイッチを押すと、選んだ項目の次の画面が表示されます。

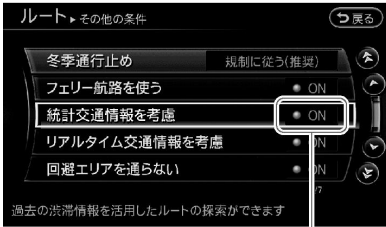
● 音量を調整する

1 設定したい項目を選び、決定スイッチを押す

2 マルチファンクションスイッチを回すか、左右にスライドさせて音量を調整する

3 決定スイッチを押す

調整した音量が設定されます。

● **機能の設定をON/OFF にする**

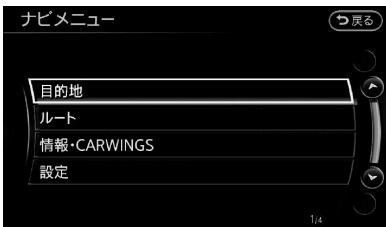
1 設定したい項目を選び、決定スイッチを押す

決定を押すたびに表示灯のON/OFFが切り替わります。

● **前の画面に戻る**

1 戻るスイッチを押す

1つ前の画面が表示されます。

■ ステアリングスイッチでナビの操作をする

1 地図画面または状態表示画面のときに、ステアリングスイッチのENTERスイッチを長押しする。

コントロールパネルの目的地、ルート、情報・W、設定スイッチを押したときと同じメニュー操作ができます。

文字／数字の入力のしかた

■ 文字を入力する

目的地の施設名称や登録地の名称などを入力するときは、キーボード画面を使って文字を入力します。

1 入力したい文字を選ぶ

■ 漢字に変換する

1 文字を入力する

変換を選ぶ

2 漢字を選ぶ

漢字が確定され、文字入力画面に戻ります。

■ 文字を削除する

1 修正を選ぶ

入力した最後の文字が削除されます。
修正を長押しすると文字を一度に削除できます。
文字の途中にカーソルがあるときは、カーソルから右側の文字を削除します。

■ 数字を入力する

数字は数字専用キーボードで入力します。

1 入力したい数字を選ぶ

地図の操作のしかた

■ 地図を動かす(※1)

● スタンダードビューの場合

1 地図をタッチする

カーソル（十字線）

カーソル（⊕）が表示され、タッチした場所が画面の中心になるように地図が移動します。
タッチし続けていると、その方向に地図は移動し続けます。

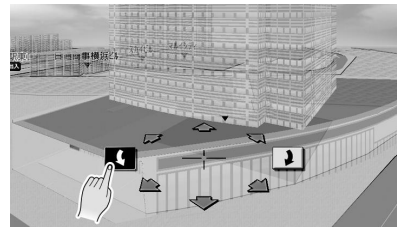
(微調整)をタッチすると位置の微調整ができます。

(解除)をタッチすると通常のカーソルに戻ります。

● バードビューの場合

1 地図をタッチする

方向キーが表示されます。

2 画面上のキーをタッチする

⇧ : タッチしている方向に地図が動きます。

⟲ ⟳ : 地図の向きが変わります。

タッチし続けていると、地図は動き続けます。

知識

(※1) 走行中は、地図にタッチし続けても地図の移動は一定の距離だけになり、市街地図表示で地図を動かすことはできません。

■ 現在地を表示する

地図を動かした後や、メニュー画面から現在地を表示します。

1 現在地 または 戻る スイッチを押すか、戻る をタッチする(※1)

現在の位置（自車マーク）

自車マークを中心とした地図が表示されます。

■ 地図の縮尺を変える

地図の縮尺を変えることができます。

1 [50m] をタッチする(※1)

2 詳細 または 広域 をタッチする

詳細：地図が拡大されます。
広域：地図が縮小されます。

知識

(※1) ルートガイド画面を表示中に 現在地 スイッチを押すと、現在地の地図画面とルートガイド画面を切り替えます。

(※1) マルチファンクションスイッチを回しても縮尺を変えることができます。

■ マップメニューを使う

● 現在地のマップメニュー

マップメニューを表示させいろいろな操作ができます。

1 決定スイッチを押す、または マップメニュー をタッチする

2 設定したい項目を選ぶ

ここを登録 ：
現在地を登録地に設定します。

周辺施設を検索 ：
現在地周辺の施設を検索し、目的地や経由地に設定します。

地図ビューの設定 ：
地図ビューの切り替えや地図の方向を設定します。

施設アイコンの表示 ：
コンビニやガソリンスタンドなどの施設アイコンを地図上に表示させます。

VICS表示設定 ：
渋滞情報やVICSアイコンの地図表示を設定します。

● 地図を動かしたときのマップメニュー

1 カーソル（⊕）が表示されているときに 決定 スイッチを押す、または マップメニュー をタッチする

2 設定したい項目を選ぶ

ここに行く ：
カーソルの地点を目的地に設定します。

ここをルートに追加 ：
カーソルの地点を目的地または経由地に追加します。

周辺施設を検索 ：
カーソルの地点周辺の施設を検索し、目的地や経由地に設定します。

ここを登録 ：
カーソルの場所を登録地に設定します。

渋滞情報ダウンロード ：
カーソルの地点の交通情報をカーウイングス情報センターからダウンロードします。

地図上の目的地や登録アイコン、施設などにカーソルを合わせたときには以下のメニューが表示されます。

消去 ：
市街地図を表示中にカーソルを合わせた地点の目的地、経由地、登録地を消去します。登録地は、登録アイコンが表示されている地点のみ消去できます。

テナント情報 ：
カーソルを合わせたテナントの名称など、情報を見ることができます。

(ロータリー情報)：
駅のロータリーアイコンにカーソルを合わせると、出入口などロータリーの情報を見ることができます。

画面の見かた

ナビの画面表示は、ルートや場所を表示する地図画面と設定などを行うメニュー画面があります。

地図画面の見かた

■ 現在地の地図表示

① **ETCアイコン**
ETCが使用可能なときに表示されます。

② **アンテナ表示**
接続している携帯電話の受信状態を表示します。

③ **VICS情報受信時刻**
VICS情報の受信時刻を表示します。

④ **自車マーク**
自車位置と進行方向を示します。

⑤ **現在地の情報**
状況に応じて、以下の情報が表示されます。
- 自車位置付近の地名
- 走行中の道路の名称
- 次に通過する交差点の名称

⑥ **時計**
現在時刻を表示します。12時間／24時間表示を切り替えることができます。

⑦ **方位マーク**
地図の北方向を示します。タッチすると、地図の方向を変えることができます。（スタンダードビュー時のみ）

: 地図の向きが〔北を上〕のとき。

: 地図の向きが〔進行方向を上〕のとき。
進行方向に従いマークが動きます。

⑧ 〔マップメニュー〕
タッチすると、マップメニューを表示します。

⑨ **縮尺サイズ**
地図の縮尺サイズを示すマークです。タッチすると縮尺を変えられます。

■ ルートガイド中の地図表示

① **簡易右左折表示**
次に曲がる交差点までの距離と、曲がる方向を示します。

② **ガイド地点**
ルートガイドが行われる地点を示します。

③ **ガイド中のルート**
目的地までの道路を示します。道路の種類によって色分けされます。

[緑色] 有料・高速道路

[黄緑色] 一般道路

[深緑色] 細街路:（約3～5m）

④ **目的地までの距離、到着予想時刻**
ルートが設定されているときに表示されます。

a) 目的地までの距離
b) 到着予想時刻

地図上の記号について

■ 目的地設定、登録をしたときのマーク

目的地を設定や場所を登録すると地図上に表示されるマークです。マークによっては、設定メニューで表示をON/OFFしたり、情報を見ることができます。

地図上記号（例）

 自車マーク

 ガイド地点（ルートガイドが行われるポイント）

 目的地

出発地

経由地

 [橙色] 登録地

 [緑色] 回避エリア

 一方通行マーク（市街地図のみ）

ロータリーマーク

高速道路入口

高速道路出口

 交通事故多発地点

 フェリー乗り場

 冬季通行止め道路

 時間規制道路

 経路断裂時

■ 道路、鉄道など

道路の種類や鉄道などは色分けして、地図上に表示されています。

道路、鉄道などの表示（例）

[紺色] 高速道路/有料道路

[紫色] 国道

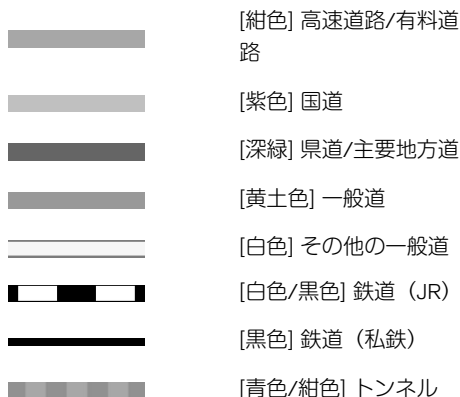
[深緑] 県道/主要地方道

[黄土色] 一般道

[白色] その他の一般道

[白色/黒色] 鉄道（JR）

[黒色] 鉄道（私鉄）

[青色/紺色] トンネル

■ VICS情報表示

渋滞情報

[色] 交通状況	VICS 交通情報	プローブ 交通情報
[赤色] 渋滞		
[橙色] 混雑		
[緑色] 順調		

交通障害・規制情報記号

事故

故障車

障害物・路上障害

作業

工事

凍結

通行止め・閉鎖

速度規制（10〜80km/h間の10km/hごとに表示）

車線規制

入口制限

徐行

進入禁止

片側交互通行

対面通行

入口閉鎖

大型通行止め

チェーン規制

■ 地図記号（例）スタンダードビュー

地図上の施設などを示す記号が表示されています。地図記号は常に地図に表示されていて、消すことはできません。

 都道府県庁

 市役所、東京都の区役所

 町村役場、指定都市の区役所

 警察署

 官公庁

 消防署

 郵便局

 自衛隊

 海水浴場

 教会

 スタジアム

 墓地

 テーマパークゲート

 冬期通行止め

 山

 温泉、鉱泉

 城跡

 史跡、名勝、灯台

 港

 マリーナ

 工場

 病院

 神社

 寺院

 高塔、展望タワー

 動物園

 植物園

 水族館

PA パーキングエリア

 飛行場

 公園

 ゴルフ場

 文化施設

 キャンプ場

その他の施設

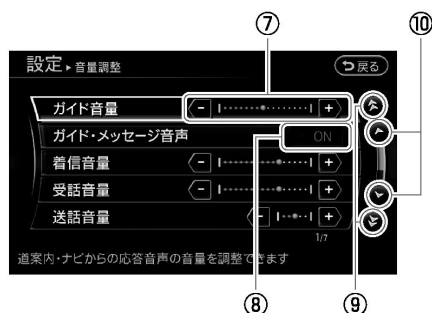
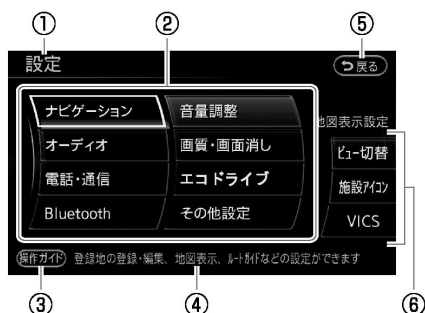
インターチェンジ

サービスエリア

 ガソリンスタンド

 カー用品店

 スキー場

メニュー画面の見かた

① **画面タイトル**
現在のメニューのタイトルを表示します。

② **設定メニュー／リスト**
項目を選択すると、次の設定画面が表示されます。

③ **操作ガイド**
選択されている項目の説明を表示します。

④ **ヘルプコメント**
画面上で行う操作を説明します。

⑤ 戻る
1つ前の画面に戻ります。メニュー画面の先頭の場合は、現在地画面を表示します。

⑥ **ショートカット**
よく使う機能を簡単に操作できます。

⑦ **調整ゲージ**
－または＋を押して音量や画質を調整します。

⑧ ON **（オンスイッチ）**
機能をONまたはOFFにします。

⑨ ⏫／⏬
複数のページがある場合は、ページを送ります。

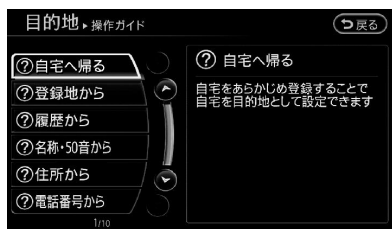
⑩ ▲／▼
選択する項目を1つずつ送ります。

■ 操作ガイドの見かた

目的地、ルート、情報・W、設定スイッチを押したときに表示されるメニューの操作説明を見ることができます。表示された項目を選んで操作を実行させることもできます。

1 操作ガイドを選ぶ

操作ガイド画面が表示されます。

2 [▲]または[▼]をタッチして項目を選ぶ

右側に選んだ項目の説明を表示します。

3 使いたい項目を選ぶまたは 決定 スイッチを押す

選択した機能のメニュー画面を表示します。

はじめに設定しておきたいこと

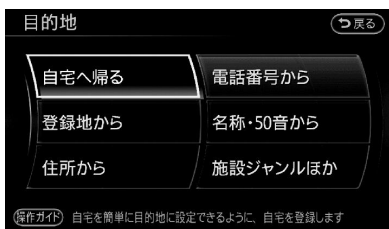
シンプルメニューにする

メニュー画面は、全機能を使う通常メニューとよく使う機能をコンパクトにまとめたシンプルメニューで切り替えることができます。

初期設定は通常メニューに設定されています。

1 設定スイッチを押す

その他設定 → シンプルメニュー切替 → シンプルメニューを選ぶ

2 すべてのトップメニューがシンプルメニューに切り替わる

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、簡単に目的地として設定することができます。

1 目的地スイッチを押す

自宅へ帰るを選ぶ

メッセージが表示されたらはいを選びます。

2 自宅の場所を探す方法を選ぶ

例）地図からを選びます。

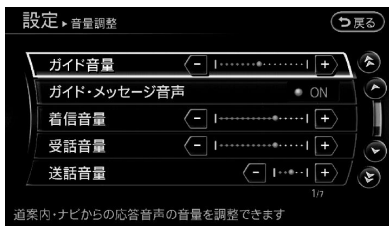
3 自宅の場所に⌖を合わせ、決定をタッチするか決定スイッチを押す

設定した場所が自宅として登録されます。

音量を調整する

1 設定スイッチを押す

音量調整を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

ガイド音量：
音声ガイドの音量を調整します。

ガイド・メッセージ音声：
ガイドのON/OFFを設定します。

着信音量：
電話の着信音量を調整します。

受話音量：
電話の受話音量を調整します。

送話音量：
電話の送話音量を調整します。

CARWINGS音量：
カーウイングスのオートプレイの音量を調整します。

操作音：
スイッチなどを押したときの「ピッ」という音のON/OFFを設定します。

● ON（点灯）： 操作音をONにします。

ON（消灯）： 操作音をOFFにします。

知識

（※1） ガイド音量、電話着信音量、電話受話音量、カーウイングス読み上げ音量は、その音が出ているときにVOLスイッチで調整することができます。調整時は、画面下部に調整する音量の種類がアイコンで表示され、現在の音量がバーグラフで表示されます。

画面の調整をする

画面表示をOFFにしたり、画質を調整できます。

1 設定スイッチを押す

その他設定→画質・画面消しを選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ(※1)

画面消し：
画面表示を消します。

明るさ：
明るさを調整します。

コントラスト：
コントラストを調整します。

地図の表示色切替：(※3)
ナビの画面を夜用と昼用に切り替えます。

色合い：
DVDやカメラなどの映像画面の色合いを調整します。

色の濃さ：
DVDやカメラなどの映像画面の色の濃さを調整します。

黒レベル：
DVDやカメラなどの映像画面の黒レベルを調整します。

（※1） 設定項目は、設定スイッチを押したときの画面によって変わります。

（※2） オートライト付車では、ライトスイッチのポジションがオートの場合ライトの自動点灯、自動消灯に連動してモニター画面の表示色が切り替わります。昼画面のときにライトを手動で点灯しても、周囲が明るいとモニター画面の表示色は昼画面から切り替わりません。

■ 画面表示をON/OFFする

1 設定スイッチを押す

その他設定→画質・画面消しを選ぶ

2 画面消しを選ぶ

ONが点灯し、しばらくすると画面の表示がOFFになります。

3 状態表示スイッチを**2**秒以上押す

画面の表示がONになります。

■ 画面の明るさを調整する

1 設定スイッチを押す

その他設定→画質・画面消し→明るさを選ぶ

2 −または＋を選んで明るさを調整する

戻るをタッチすると元の画面にもどります。

■ 画面のコントラストを調整する

1 設定スイッチを押す

その他設定→画質・画面消し→コントラストを選ぶ

2 −または＋を選んでコントラストを調整する

戻るをタッチすると元の画面にもどります。

メニューカラーを設定する

メニュー画面の色を選べます。

1 設定スイッチを押す

その他設定 → メニューカラー設定を選ぶ

2 色を選ぶ

選んだ色にメニュー画面が変ります。

携帯電話を接続する

ハンズフリーフォンや最新の交通情報などを取得するには、携帯電話機を本機に接続する必要があります。

携帯電話の接続方法は、別売りの通信ケーブル◎での接続とBluetooth®を使った接続の2種類があります。

■ Bluetooth®で接続する

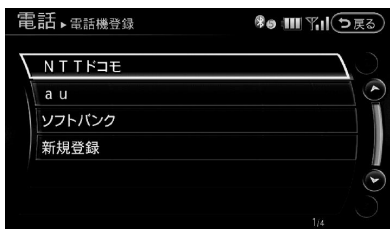
お手持ちの携帯電話をBluetooth®で接続するには初期登録が必要です。Bluetooth®対応の携帯電話をご用意ください。

初期登録後はエンジンスイッチをACCまたはONにすると自動的に接続されます。

● Bluetooth®携帯電話の初期登録

- Bluetooth®の登録中にエンジンスイッチをOFFにした場合、登録は中止されます。故障の原因になりますので、登録中はエンジンスイッチをOFFにしないでください。

1 スイッチを押す
電話機登録を選ぶ

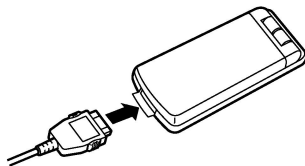
2 キャリア名（携帯事業者名）を選ぶ

メッセージが表示され、ここからは携帯電話機での操作になります。
「MY-CAR」を検索し、画面に表示されているパスキー（Bluetooth®携帯電話を本機に登録するためのパスワード）を入力してください。
（携帯電話機側の詳しい操作方法は、携帯電話の操作手順書を参照ください。またBluetooth®携帯電話の初期登録方法については、カーウイングスホームページ（http://drive.nissan-carwings.com/CW）の「適合携帯電話一覧」からご覧いただけます。）

■ 通信ケーブル◎で接続する

アドバイス

- 無理な接続や取り外しをすると、コネクターが破損するおそれがあります。コネクターの向きにご注意ください。
- 必ず車両のエンジンスイッチをOFFにして接続してください。ONの状態で接続すると、ご利用できないことがあります。
- 接続するケーブルが邪魔にならないように整理してください。手、足などでケーブルを引っ張った場合、断線やの破損など機能しなくなるおそれがあります。

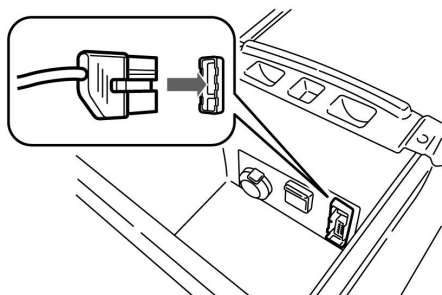
1 エンジンスイッチを**OFF**にして、通信ケーブル◎を車両側に接続する
車両側にある差込口に“カチッ”と音がするまで差し込みます。

2 通信ケーブル◎を携帯電話に接続する

携帯電話側のコネクターを“カチッ”と音がするまで差し込みます。

3 エンジンスイッチを**ON**にする

本機と携帯電話機が接続されハンズフリーフォンとして使用できます。

● 通信ケーブル◎接続口の位置

通信ケーブル◎の接続口はフロアーコンソールボックス内の車両前方側にあります。

ナビゲーション

地図表示について

地図の種類

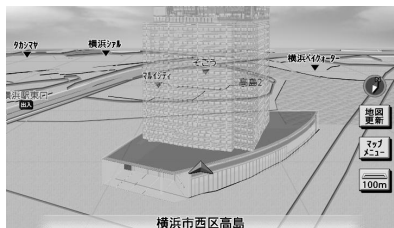
2種類の地図画面が表示できます。

■ スタンダードビュー

通常の平面図です。

■ バードビュー®(※1)

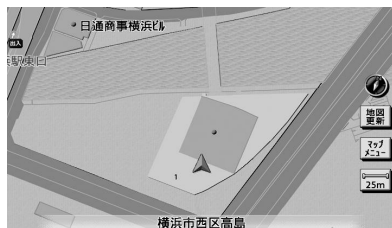
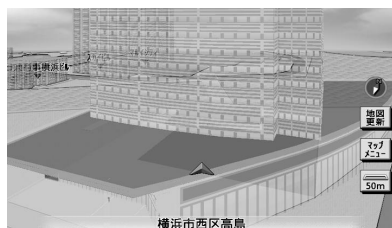
上空から見下ろしたような地図です。

常に進行方向を上に表示します。

■ 市街地図

場所により、地図の縮尺が詳細になると、建物などがより詳しく表示されます。

スタンダードビュー

バードビュー®

知識

(※1) バードビュー®は、クラリオン株式会社の登録商標です。

地図を操作する

現在地が表示されていないときは、現在地スイッチを押してください。

■ 地図ビューを変える

1 決定スイッチを押す

または画面上にあるマップメニューをタッチする

地図ビューの設定を選ぶ

2 表示したい地図ビューを選ぶ

スタンダードビュー：
1画面の平面画面になります。

バードビュー：
上空から進行方向を見下ろした状態の地図になります。

2画面（スタンダードビュー）(※1)：
左右ともスタンダードビューの2画面になります。

2画面（バードビュー）(※1)：
左画面がスタンダードビュー、右画面がバードビュー®の2画面になります。

知識

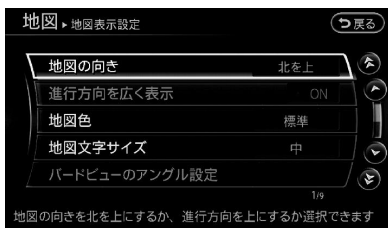
(※1) 左画面は常に現在地表示です。また、市街地図表示はできません。

■ 地図の向きを変える

1 決定スイッチを押す

または画面上にあるマップメニューをタッチする

地図ビューの設定 → 地図表示設定を選ぶ

2 地図の向きを選ぶ

3 地図の向きを選ぶ

北を上：
北を上の方向に表示した地図になります。

進行方向を上：
進行方向が上の地図になります。

■ 進行方向を広くする

地図の向きを(進行方向を上)に設定しているときに設定できます。

1 決定スイッチを押す

または画面上にある(マップメニュー)をタッチする

(地図ビューの設定) → (地図表示設定)を選ぶ

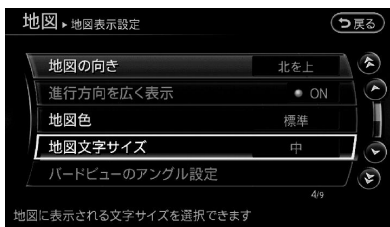
2 (進行方向を広く表示)を選ぶ

■ 地図上の文字の大きさを変える

1 決定スイッチを押す

または画面上にある(マップメニュー)をタッチする

(地図ビューの設定) → (地図表示設定)を選ぶ

2 (地図文字サイズ)を選ぶ

3 設定したい文字サイズを選ぶ

● ON が点灯します。右側のプレビュー画面で確認できます。

(大)：文字サイズを大きくします。

(中)：通常の文字サイズを表示します。

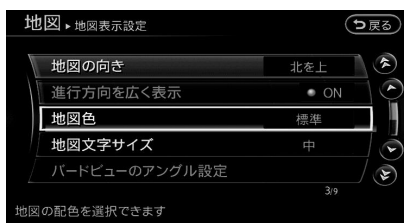
(小)：文字サイズを小さくします。

■ 地図の色合いを変える

1 決定スイッチを押す

または画面上にある(マップメニュー)をタッチする

(地図ビューの設定) → (地図表示設定)を選ぶ

2 (地図色)を選ぶ

3 地図色を選ぶ

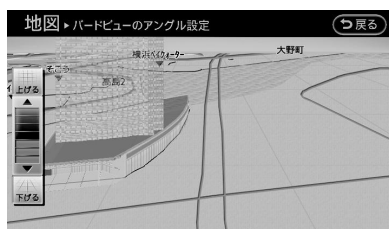
右側のプレビュー画面で確認できます。
ON が点灯した色合いに設定します。
標準：基本の地図色です。
道路強調：道路を強調します。
渋滞強調：渋滞情報を強調します。

■ バードビュー®の見下ろし角度を変える

1 決定スイッチを押す

または画面上にあるマップメニューをタッチする
地図ビューの設定 → 地図表示設定を選ぶ

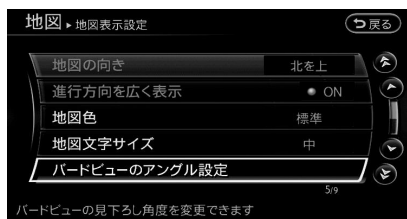
2 バードビューのアングル設定を選ぶ

3 上げるまたは下げるをタッチする

上げる：目線が上がります。
下げる：目線が下がります。

■ 2 画面の左地図を設定する

1 決定スイッチを押す

または画面上にあるマップメニューをタッチする
地図ビューの設定 → 地図表示設定を選ぶ

2 2画面の左地図設定を選ぶ

3 設定を選ぶ

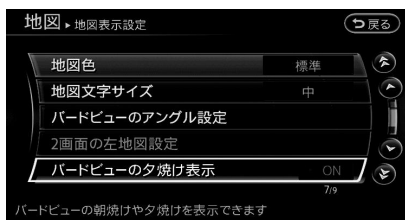
地図の向き：
地図の向きを北を上または進行方向を上に設定します。
進行方向を広く表示：
進行方向が上の表示のときのみ設定できます。進行方向をより広く表示します。
地図の縮尺設定：
左地図の縮尺を調整します。

■ バードビュー®の夕焼け表示を設定する

1 決定スイッチを押す

または画面上にあるマップメニューをタッチする

地図ビューの設定 → 地図表示設定を選ぶ

2 バードビューの夕焼け表示を選ぶ

ON が点灯し夕焼け表示が設定されます。
日の出や日の入り前後にバードビュー®の空が夕焼けで表示されます。

施設アイコンを表示する

地図上にガソリンスタンド、コンビニ、駐車場などの施設アイコンを表示できます。(※1)

現在地が表示されていないときは、現在地をスイッチを押して現在地を表示させてください。

1 決定スイッチを押す

または画面上にあるマップメニューをタッチする

2 施設アイコンの表示を選ぶ

3 表示したい施設を選ぶ

選択した施設の ON が点灯します(※2)。

知識

(※1) 地図の縮尺レベルが2km以上のときは、施設アイコンは表示されません。

(※2) それぞれのジャンルで特定企業の施設アイコンのみを表示したい場合は、詳細を選んで、表示される企業のリストから選択します。

交通情報マークを表示する

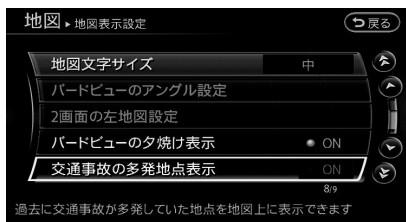
地図上に交通事故多発地点マークと一方通行マークを表示できます。

現在地が表示されていないときは、現在地スイッチを押して現在地を表示させてください。

1 決定スイッチを押す

または画面上にあるマップメニューをタッチする

地図ビューの設定 → 地図表示設定を選ぶ

2 表示したい項目を選ぶ

● ONが点灯したマークが表示されます。

:	交通事故多発地点
:	一方通行マーク(※1)

知識

(※1) 市街地図表示時のみ表示されます。

地図上の情報を見る

地図上のマークや記号にカーソルを合わせていろいろな情報を表示できます。情報データが収録されていない場合は表示されません。

■ 施設情報

ガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどの施設アイコンの情報を表示します。

走行中およびバードビュー®画面時は情報表示できません。

1 施設アイコンに⌖を合わせる

情報を選ぶと更に詳しい情報が表示できます。

■ テナント情報

スタンダードビューの市街地図表示のときに表示できます。建物の住所、テナント名称、電話番号、階数などを確認できます。

1 建物に⌖を合わせる

2 決定スイッチを押す

テナント情報を選ぶ

テナント情報画面が表示されます。[※1]
情報量が多いときは次へが表示されページを送ることができます。

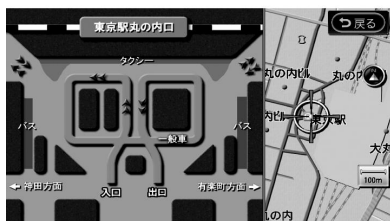
■ ロータリーマップ

縮尺が50m～1kmのスタンダードビューで表示できます。ロータリーマップが表示可能な場所にはロータリーマーク（Ⓡ）が表示されます。

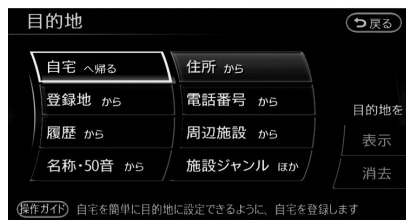
1 Ⓡに⊕を合わせて決定スイッチを押す

2 ロータリーマップ情報を選ぶ

ロータリーマップが表示されます。

知識

(※1) 携帯電話を接続しているときに電話番号をタッチすると電話がかけられます。

目的地を探す

目的地を探すにはいくつかの方法があります。(※1)

(自宅へ帰る)

自宅へ帰る…p.44

(登録地から)

登録地を探す…p.44

(履歴から)

履歴から行き先を探す…p.45

(名称・50音から)

施設の名称で探す…p.45

(住所から)

住所で探す…p.45

(電話番号から)

電話番号で探す…p.46

(周辺施設から)

現在地の周辺にある施設を探す…p.47

(施設ジャンルほか)

以下の項目の選択画面を表示します。

(施設ジャンルから)

施設のジャンルで探す…p.48

(るるぶ情報から)

るるぶ情報から探す…p.49

(登録ルートから)

登録したルートを設定します。

ルートを登録する…p.82

(オペレータ情報から)

オペレータを活用する…p.206

(緯度経度から)

緯度経度を入力して目的地を設定します。

(マップコードから)

マップコードを入力して目的地を設定します。(※2)

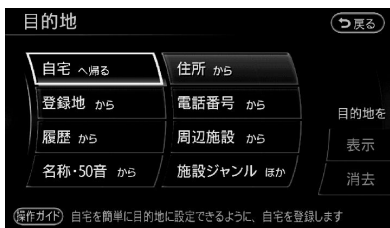
(※1)
- 登録地の追加やルート編集画面で行先の追加などで一部メニューが変わることがあります。
- すでに目的地がある場合には追加を確認するメッセージが表示されます。
- 目的地を設定してルートガイドを開始する前に、目的地やルートの確認や変更をすることもできます。

ルートを設定する…p.51

(※2)
- マップコードは、上位桁の「0」を省略して1桁だけでも入力できます。

自宅へ帰る

1 目的地スイッチを押す

2 自宅へ帰るを選ぶ

自宅が未登録の場合はメッセージが表示されます。あらかじめ自宅を登録してください。

自宅を登録する…p.30

3 ガイド開始を選ぶ

登録地を探す

1 目的地スイッチを押す

登録地からを選ぶ

2 登録地を選ぶ(※1)

3 ガイド開始を選ぶ

(※1)
- あらかじめ場所を登録しておきます。
  場所を登録する…p.69
- 並べ替えを選ぶとリストを並べ替えることができます。
  登録地を並べ替える…p.76
- 登録／編集を選ぶと登録地の編集・消去・新規登録ができます。
  場所を登録する…p.69

履歴から行き先を探す

1 目的地スイッチを押す

履歴からを選ぶ

2 行き先を選ぶ

3 ガイド開始を選ぶ

施設の名称で探す

1 目的地スイッチを押す

名称・50音からを選ぶ

2 キーワードを入力し、候補を表示を選ぶ

AND検索を選ぶと、入力欄にANDが挿入され、キーワードを入力できます。ANDの後ろには、名称、ジャンル、地名をキーワードとして入力できます。ANDの前に入力するキーワードは必ず名称を使用してください。 キーワードの組み合わせによっては、検索できないことがあります。

3 目的地にしたい施設を選ぶ

4 ガイド開始を選ぶ

住所で探す

ここでは「神奈川県横浜市の住所」を例に説明します。

1 目的地スイッチを押す

住所からを選ぶ

2 神奈川県 → 横浜市西区 → 高島を選ぶ

リスト画面の50音を選ぶと、選んだ文字で始まるリストが表示されます。

ナビゲーション

3 番地を入力し、(検索)を選ぶ(※1)

4 (ガイド開始)を選ぶ

知識

(※1)
- (小字一覧)を選ぶとリストを表示します。またアルファベットなど数字以外で始まる番地も表示します。
- (地図を表示)を選ぶと、位置を地図で確認できます。

電話番号で探す

1 目的地スイッチを押す

(電話番号から)を選ぶ

2 電話番号を市外局番から入力し、(検索)を選ぶ(※1)

3 (ガイド開始)を選ぶ

知識

(※1)
- 入力した電話番号に該当する施設が複数ある場合は、施設リストが表示されます。
- 個人宅の電話番号は、個人情報保護のため収録されておりません。

地図を動かして場所を探す

1 行きたい地点に⌖を合わせ、決定スイッチを押す

2 ここに行くを選ぶ

3 ガイド開始を選ぶ

現在地の周辺にある施設を探す

ここでは「駐車場」を例にして説明します。

1 目的地スイッチを押す

周辺施設からを選ぶ

2 駐車場を選ぶ

その他の施設を選ぶと、さらに多くの施設ジャンルから選ぶことができます。

3 目的地にしたい施設を選ぶ

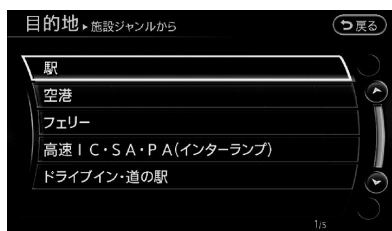
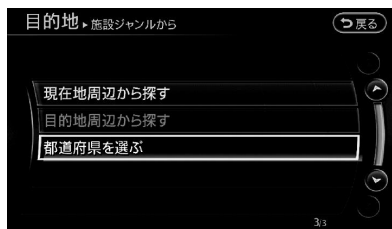
4 ガイド開始を選ぶ

施設のジャンルで探す

ここでは「東京にある駅」を例にして説明します。

1 目的地 スイッチを押す

施設ジャンルほか → 施設ジャンルから → 交通機関 を選ぶ

2 駅 を選ぶ

3 都道府県を選ぶ を選ぶ

4 東京都 を選ぶ

5 路線名を選ぶ

6 目的の駅を選ぶ

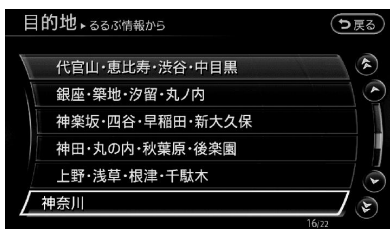
7 ガイド開始 を選ぶ

るるぶ情報から探す

ここでは「神奈川県にあるテーマパーク」を例にして説明します。

1 目的地スイッチを押す

施設ジャンルほか → るるぶ情報からを選ぶ

2 関東 → 神奈川を選ぶ

3 ジャンルを選ぶ

4 施設ジャンルを選ぶ

5 施設名を選ぶ

6 設定したい項目を選ぶ

ここへ行く：
目的地に設定します。(※1)

提携駐車場：
駐車場リストを表示します。(※2)

施設入り口：
入り口リストを表示します。(※3)

情報を見る：
電話番号などのさらに詳しい情報を見ることができます。

電話をかける：
情報画面にある電話番号に電話をかけることができます。

ここを登録する：
登録します。

知識

(※1) 選んだ施設へのルートガイドを開始するにはここへ行く → ガイド開始を選びます。

(※2) 提携駐車場と施設入り口の情報が両方ある場合は提携駐車場が表示され、リストに駐車場と施設入り口が一緒に表示されます。

(※3) 施設入り口リストがある場合は、施設入り口リストも表示されます。

その他の方法で探す

1 目的地スイッチを押す

施設ジャンルほかを選ぶ

2 目的地を探す方法を選ぶ

登録ルートから：
あらかじめ登録しておいたルートを使用します。(※1)

ルートを登録する…p.82

オペレータ情報から：
カーウイングスのオペレータの利用履歴から目的地を設定します。(※2)

緯度経度から：
緯度経度を入力して場所を探します。

マップコードから：
マップコードを入力して場所を探します。(※3)

3 ガイド開始を選ぶ

知識

(※1) 登録ルートは、登録された場所や条件を元にルートを設定します。ルート探索はその都度行われますので、登録時と別のルートを設定することがあります。

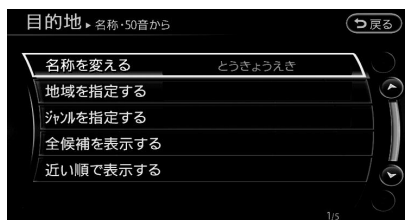
(※2) オペレータ履歴は最大15件まで保存されます。

(※3)
- マップコードは（株）デンソーの登録商標です。詳細についてはホームページ（http://guide2.e-mapcode.com/）をご覧ください。
- マップコードは、上位桁の「0」を省略して1 桁だけでも入力できます。

候補を絞る／リストを並び替える

名称・50音から、施設ジャンルからで検索したリストを更に絞り込んだり、並べ替えたりできます。

1 候補を絞る／並べ替えるを選ぶ

2 項目を選ぶ

名前を変える：
名前を修正・入力します。

地域を指定する：
地域を指定して絞り込みます。

ジャンルを指定する：
ジャンルを指定して絞り込みます。ジャンル名を入力することもできます。

全候補を表示する：
すべての候補を表示します。

近い順で表示する：
近い順に並べ替えます。

IC順で表示する：
検索条件に高速道路の施設がある場合にIC順に並べ替えます。

ルートを設定する

ルートガイドを始める前に、ルートの確認や他のルートを選択したり、施設の情報を確認できます。

ルート探索結果の見かた

① **設定できる項目**

(ガイド開始):
目的地までのルートガイドを開始します。しばらく操作をしないと、自動的にガイドを開始します。

(他のルートを選ぶ):
複数のルートがある場合は、他のルートに変更できます。

他のルートを選ぶ…p.52

(ルートの確認・追加):
ルートの確認や行き先の追加ができます。有料道路を通るルートの場合は、有料道路の入口・出口を修正できます。

目的地や経由地を追加する…p.53

(目的地情報・登録):
設定した目的地の行き先の追加をしたり、施設の情報を確認できます。

(位置の確認・修正):
目的地の位置を修正します。

(最速ルート探索):
カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードし、もっとも速いルートを探索します。

最速ルート探索を設定する…p.66

② **施設名**
るるぶアイコンが表示されることがあります。

③ (情報)
選ぶと、施設情報を確認できます。
施設情報がない場合は表示されません。

④ **出発時刻（到着時刻指定が設定されているときのみ）**
日時を指定している場合は、出発時刻が表示されます。

⑤ **目的地に到着する予想時刻**

⑥ **有料道路の通行料金（目安）**

⑦ **目的地までの距離**

⑧ **目的地までのルート**
地図画面を選ぶと、全画面地図が表示され、ルートを詳細に確認できます。

⑨ **ルート上の最初の有料道路入口と最後の有料道路出口**
選ぶと、有料区間の入口／出口を変更できます。

他のルートを選ぶ

1 他のルートを選ぶ を選ぶ(※1)

2 設定したいルートを選ぶ(※2)

有料優先（推奨）：
有料道路を優先して使用する、推奨ルートです。

有料（料金考慮）：
有料道路を優先して使用する、料金を考慮した別のルートです。(※3)

一般優先（推奨）：
一般道路を優先して使用する、推奨ルートです。

一般優先：
一般道路を優先して使用する、別のルートです。

距離優先：
距離の短さを優先したルートです。（VICS情報は規制情報のみ考慮します。）

知識

(※1) 経由地を設定しているときは、ルートを変更できません。

(※2) ルートが複数探索されるのは、有料区間指定を設定せず、かつ経由地が設定されていない場合または設定した経由地をすべて通過した場合のみです。

(※3)
- 有料（料金考慮）のルートは、まれに 有料優先（推奨）のルートよりも高くなることがあります。
- 都市間高速（東名高速、中央道、名神高速など）、都市内高速（首都高速など）や、それらに接続される一般有料道路（東日本高速道路（株）、中日本高速道路（株）、西日本高速道路（株）管理）がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、料金は目安です。

目的地や経由地を追加する

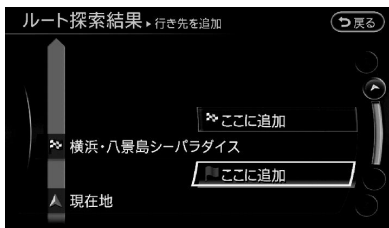
目的地と経由地は合わせて6ヶ所まで設定できます。

1 ルートの確認・追加 → 行き先を追加 を選ぶ

2 場所を探す

目的地を探す手順と同様です。

目的地を探す…p.43

3 目的地または経由地を追加する

ここに追加：
経由地に設定されます。

ここに追加：
追加した地点を目的地として、前に設定した目的地は経由地に変更されます。

最速ルート探索をする

カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードし、最速ルートを探索します。(※1)

最速ルート探索を利用すると、携帯電話の通信料金がかかります。

1 最速ルート探索 を選ぶ

最新の交通情報がダウンロードされ、ルート探索結果画面が表示されます。
交通情報のダウンロード中に 終了 を選ぶと、ダウンロードが終了し、ルート探索を中止します。

2 設定したいルートを選ぶ

(最速ルート)：
ルート探索時点で所要時間が最短と予測されるルートです。(※2)

(有料回避ルート)：
有料道路を回避したルートです。

知識

(※1) 最速ルート探索のご利用にはカーウイングスへのお申し込みが必要です。詳しくは三菱自動車販売会社またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。

(※2)
- ルート探索時点で所要時間が最短と予測されるルートを選択するものであり、必ずしも渋滞を回避するものではありません。またVICS情報とその他の交通情報を用いた探索結果であり、必ずしも実際の最速ルートとならない場合があります。
- 渋滞表示の道路を案内したり、順調表示の道路を迂回する場合があります。

ルートを確認・追加する

1 (ルートの確認・追加)を選ぶ

2 設定・確認したい項目を選ぶ

(ルート情報)：
走行ルートの道路の種類、走行距離、到着予想時刻などを確認します。

(ルートスクロール)：
ルートに沿って地図を自動スクロールします。地図は縮尺を変えられます。

(有料区間の修正)：
ルートに有料道路がある場合、出入り口を変更して区間の修正ができます。(※1)

(行き先を追加)：
目的地や経由地を追加します。

目的地や経由地を追加する…p.53

(現在のルートを登録)：
現在のルートを登録します。

ルートを登録する…p.82

(地図スクロール)：
地図を動かしてルートを確認します。

(※1) ルート上の最初の有料道路入り口と最後の出口のみ変更可能です。ルート内にジャンクションがある場合は、ジャンクションを選ぶと他路線の出入り口を選べます。

目的地の情報を見る・登録する

1 目的地情報・登録を選ぶ

2 設定・確認したい項目を選ぶ

行き先を登録：
探した場所を登録します。

提携駐車場：
提携の駐車場があれば、リストから選び目的地にできます。(※1)

施設入り口：
施設の入り口を確認し目的地にできます。(※1)

情報を見る：
探した場所や施設の情報を表示します。

日時指定：
出発または到着日時を指定してルートを設定します。

知識

(※1) 提携駐車場と施設入り口は、どちらか情報がある方を表示します。両方ある場合は提携駐車場が表示され、駐車場リストと入り口リストを選びます。

ルートガイドを開始する

1 ガイド開始を選ぶ

ルートガイド開始時には、以下の音声ガイドが行われます。

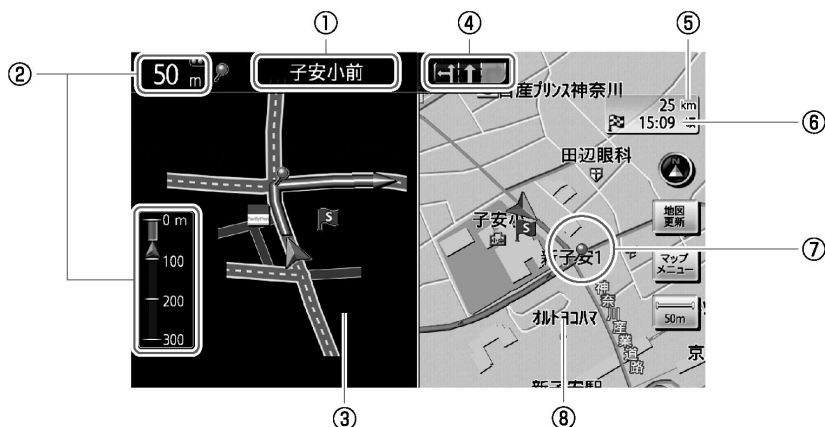
- ルートの規制条件
- 実際の交通ルールにしたがって走行してくださいというメッセージ
- 高速道、有料道路を通る場合は、その路線名称
- 到着予想時刻

ナビゲーション

ルートガイド

交差点などのガイド地点に近づくと、音声ガイドとガイド画面でルートを案内します。

ガイド画面の見かた

■ 交差点拡大図

① **ガイド地点の名称**
交差点などのガイド地点の名称が表示されます。

② **ガイド地点までの距離**
現在地からガイド地点までの距離が数字とグラフで表示されます。グラフはガイド地点までの距離が近づくにつれ、減っていきます。

③ **ガイド地点の拡大図**
ガイド地点での曲がる方向などの拡大地図です。
縮尺により道路番号や一方通行アイコンなどが表示されます。

④ **レーンガイド**
ルートガイドにしたがって走行しているときに、2車線以上ある道路の交差点ガイドでは、進むべき車線が黄色の矢印マークで表示されます。

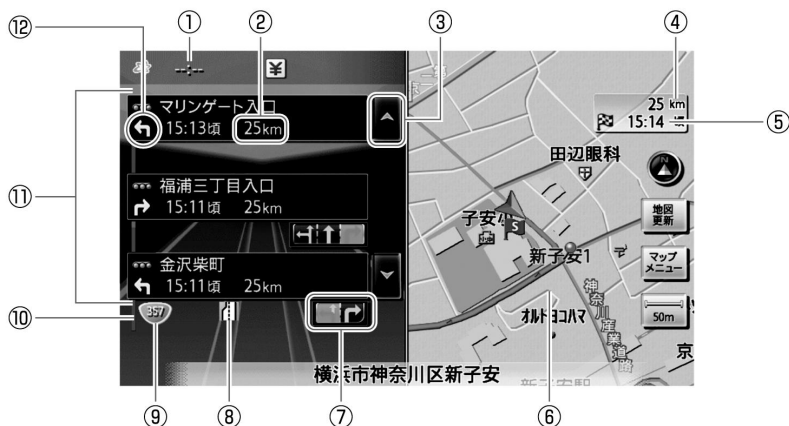
⑤ **目的地までの距離**
現在地から目的地または経由地までの距離を表示します。

⑥ **到着予想時刻**
目的地または経由地への到着予想時刻が表示されます。

⑦ **ガイド地点**
ルートガイドが行われるガイド地点を表すマークが表示されます。

⑧ **地図画面**
現在地の地図画面が表示されます。

■ 交差点リスト

ガイドする地点をリスト表示します。ガイド地点（交差点など）に近づくと、交差点拡大図に切り替わります。

① **VICS受信時刻**
VICS情報の受信時刻を表示します。

② **ガイド地点までの距離**
現在地からガイド地点までの距離が表示されます。

③ **リスト送り**
交差点リストがスクロールされます。

④ **目的地（経由地）までの距離**
現在地から目的地（経由地）までの距離が表示されます。

⑤ **到着予想時刻**
目的地（経由地）への到着予想時刻が表示されます。

⑥ **地図画面**
現在地の地図画面が表示されます。

⑦ **レーンガイド**
ルートガイドにしたがって走行しているときに、2車線以上ある道路の交差点ガイドでは、進むべき車線が黄色の矢印マークで表示されます。

⑧ **VICS規制情報**
交通障害や交通規制の情報を表示します。

⑨ **路線番号**
現在走行中の路線を表示します。

⑩ **VICS渋滞情報**
渋滞状況を色別に表示します。

⑪ **交差点リスト**
ルート上にあるガイド地点がリスト表示されます。

⑫ **ガイド地点の進行方向**
ガイド地点にある交差点などの進む方向が表示されます。

■ ハイウェイ情報画面

高速道・有料道路を走行すると、その路線のIC、SA、PAなどをリスト表示します。

VICS地図情報の見かた…p.93

① **ハイウェイリスト**
その地点までの到着予想時刻と距離を表示します。

② **VICS渋滞情報**
渋滞状況を色別に表示します。

③ **VICS規制情報**
その区間に規制のあることを表示します。

④ **走行路線名称**
走行する高速道、有料道路の名称を表示します。

⑤ **ゲート案内**
一般ゲートおよびETCゲートの案内を表示します。ゲート案内は、実際のレーン数や標識とは異なる場合があります。

⑥ **SA/PAの施設情報**
サービスエリアやパーキングエリアの施設情報をアイコンで表示します。

⑦ **料金表示**
ルートに有料道路があるときは、目的地までの料金総額が表示されます。ただし、料金は目安です。

⑧ **VICS受信時刻**
VICS情報の受信時刻を表示します。

⑨ **リスト送り**
選ぶと、交差点リストをスクロールします。

■ 渋滞情報を確認する

ルートガイド中、ルート前方に渋滞情報を受信すると、渋滞のアナウンスと画面上に(渋滞確認)の表示がされます。(※1)

1 (渋滞確認)を選ぶ

音声ガイド（例）
「この先、1.9kmの渋滞があります。通過に約9分かかります。」

2 (ここを迂回)を選ぶ

(ここを迂回)：
渋滞表示している場所を迂回するルートを探索します。(※2)

(終了)：
渋滞確認画面を終了して現在地画面に戻ります。

知識

(※1)
- (渋滞確認)は渋滞を検知しないと表示されません。
- 渋滞に進入してしまった場合や、ルートガイド中でない場合は確認できません。
- 遠くの渋滞を避けることはできません。

(※2)
- 他に適切なルートがない場合は、同じルートとなる場合があります。また、渋滞を避けるために、遠回りのルートを設定する場合があります。
- 渋滞確認を終了したあとも再度、渋滞情報を確認できます。

ガイド画面を設定する

■ ガイド画面の常時表示を設定する

常に左画面にガイド画面を表示できます。

1 決定スイッチを押す

地図ビューの設定 → 常時表示設定を選ぶ

2 設定したいガイド画面を選ぶ

常時交差点拡大図：
左画面に常に、次の交差点拡大図を表示します。

常時交差点リスト：
ガイド地点から離れている場合、ルート上のガイド地点を簡単なリストで表示します。ガイド地点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。

常時燃費表示：
ガイド地点から離れている場合、燃費情報を表示します。ガイド地点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。

燃費情報を見る…p.168

常時エコスコア表示★：
ガイド地点から離れている場合、エコスコア★を表示します。ガイド地点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。

エコスコアを見る★…p.177

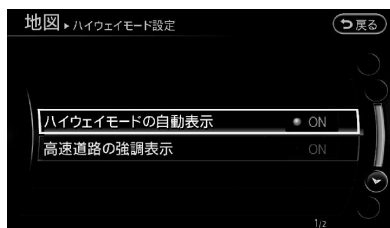
常時表示（AUTO）：
ガイド地点から離れている場合、現在地の地図を表示します。ガイド地点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。

■ ハイウェイモードを設定する

1 決定スイッチを押す

地図ビューの設定を選ぶ

2 ハイウェイモード設定を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

ハイウェイモードの自動表示：
高速・有料道路を走行すると、その路線のIC、SA、PAなどをリスト表示します。

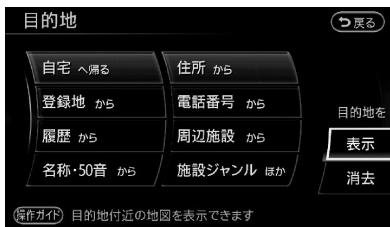
高速道路の強調表示：
高速・有料道路を走行中に地図上の高速道路の色を強調して表示する設定ができます。

目的地を表示する／消去する

設定した目的地を表示したり、消去できます。

■ 目的地を表示するには

1 目的地スイッチを押す

2 表示を選ぶ

目的地の地図画面が表示されます。

3 設定したい項目を選ぶ

位置の修正：
地図を表示して、目的地の位置を修正できます。

周辺施設を検索：
目的地の周辺施設を検索し、経由地に追加できます。

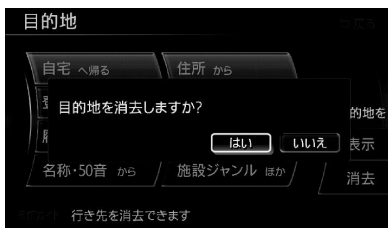
ここを登録：
設定した目的地を登録できます。

■ 目的地を消去するには

目的地を消去すると、設定したルートも同時に消去されます。

1 目的地スイッチを押す

2 消去を選ぶ

3 はいを選ぶ

目的地と経由地が消去されます。また目的地マーク、出発地マークも地図画面から消去されます。

ルートを確認する

設定されているルートの情報を確認したり、登録できます。

1 ルート スイッチを押す

(ルート確認・登録)を選ぶ

2 確認方法を選ぶ

(ルート情報)：
どのルートを通るのかを確認できます。

(ルートスクロール)：
ルートに沿って地図をスクロールさせます。

(ルートシミュレーション)：
実際に走行した場合のシミュレーションを行います。

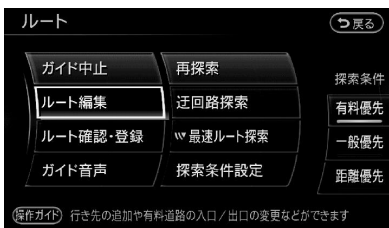
(現在のルートを登録)：
現在のルートを登録します。

(地図スクロール)：
手動で地図を動かして、ルートを確認できます。

現在のルートを編集する

設定されているルートの目的地や経由地、探索条件を変更できます。

1 ルート スイッチを押す

2 ルート編集 を選ぶ

3 行き先の追加・修正 を選ぶ

ルート編集画面が表示されます。

ルート編集画面では以下の設定ができます。

① **目的地**
目的地の位置の変更や消去ができます。

② **目的地までの優先道路**
目的地までのルートについて優先的に利用する道路の種別を変更できます。

③ **経由地**
経由地の位置の変更や消去ができます。

④ **経由地までの優先道路**
経由地までのルートについて優先的に利用する道路の種別を変更できます。

探索条件を変更する（有料優先／一般優先／距離優先）…p.64

⑤ ここに追加
目的地を追加できます。

⑥ ここに追加
経由地を追加できます。

目的地／経由地を追加する…p.63

⑦ **指定した有料区間**
指定した有料区間を解除できます。

⑧ 探索開始
編集した内容を反映し、ルート探索を行います。

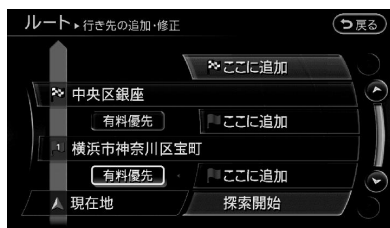
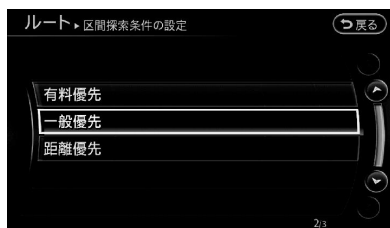
■ 目的地／経由地を追加する

1 ここに追加 または ここに追加 を選ぶ(※1)

2 追加する目的地または経由地を設定する(※2)

3 場所を確認して、決定スイッチを押す

■ 探索条件を変更する（有料優先／一般優先／距離優先）

1 探索条件を変更したい区間を選ぶ

2 探索条件を選ぶ

有料優先：
指定した区間のみ有料道路を優先して使用します。

一般優先：
指定した区間のみ一般道路を優先して使用します。

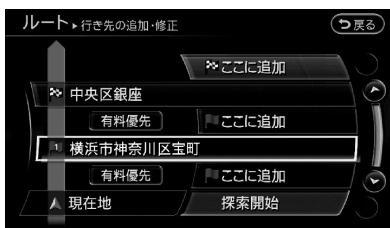
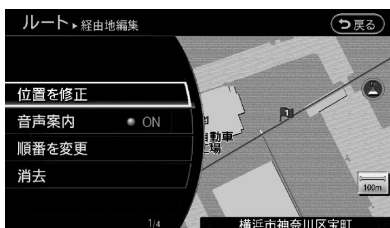
距離優先：
距離の短さを優先したルートです。（VICS情報は規制情報のみ考慮します。）

知識

(※1) 目的地の先の ここに追加 を選ぶと、設定済みの目的地が経由地となり、追加する地点が目的地となります。

(※2) 検索した目的地や経由地は、位置の修正や情報を確認できます。

■ 目的地／経由地を編集する

1 編集する目的地または経由地を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

(位置を修正)：
目的地や経由地の位置を修正します。

(音声案内)：
経由地を音声でガイドするかどうかを設定します。

(順番を変更)：
目的地や経由地を入れ替えて、ルートの順番を変更できます。

(消去)：
目的地や経由地を消去します。

ルートの優先道路を選ぶ

■ 優先道路を変更する

1 ルートスイッチを押す

(探索条件設定) → (探索条件)を選ぶ

2 設定したい優先道路を選ぶ

(有料道優先)：
有料道路を優先して使用したルートを設定します。

(一般道優先)：
一般道路を優先して使用したルートを設定します。(※1)

(距離優先)：
距離の短さを優先したルートです。（VICS情報は規制情報のみ考慮します。）

知識

(※1) (一般道優先)を選んでも、目的地を有料道路上（SA・PAなど）や、有料道路を通らないと到着できない場所（本州→四国、九州など）に設定すると、有料道路を通るルートを探索する場合があります。

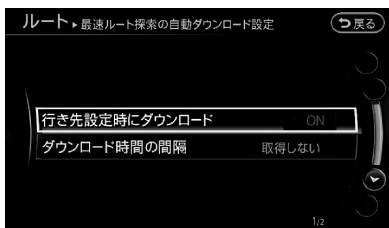
■ 最速ルート探索を設定する

アドバイス

- カーウイングスへのお申込みをしていない場合でも、自動ダウンロードを設定すると携帯電話の通信料金がかかります。
- カーウイングスのお申込みをしていない場合には、(行き先設定時にダウンロード)を ON（消灯）に、(ダウンロード時間の間隔)を(ダウンロードしない)に設定してください。

1 ルートスイッチを押す

(探索条件設定) → (最速ルート探索の自動ダウンロード設定)を選ぶ

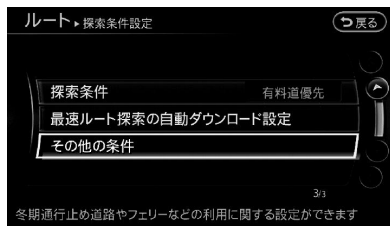
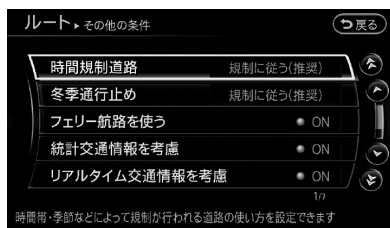
2 設定したい項目を選ぶ

(行き先設定時にダウンロード)：
ルート探索時に自動で最速ルートを探索します。

(ダウンロード時間の間隔)：
カーウイングス情報センターに定期的に自動ダウンロードする時間の間隔を設定できます。

■ その他の条件を設定する

1 ルートスイッチを押す

(探索条件設定)を選ぶ

2 (その他の条件)を選ぶ

3 設定したい探索条件を選ぶ

以下の探索条件が設定できます。

(時間規制道路)

- (規制に従う（推奨）)

  規制のある曜日、時間を考慮してルートを設定します。

- (規制情報を使わない)

  時間規制道路を考慮しません。規制のある道路にもルートを設定します。（実際の交通規制に従って走行してください。）

- (通らない)

  曜日、時間に関わらず、規制のある道路を回避したルートを設定します。

冬季通行止め

- 規制に従う（推奨）

  規制時期を考慮してルートを設定します
- 規制情報を使わない

  冬季通行止めを考慮しません。規制のある道路にもルートを設定します。（実際の交通規制に従って走行してください。）
- 通らない

  冬季通行止めのある道路を回避したルートを設定します。

フェリー航路を使う

フェリー航路を優先してルートを探索します。

統計交通情報を考慮

統計交通情報を考慮して、ルートを探索します。

リアルタイム交通情報を考慮

カーウイングス情報センターからダウンロードした最新の交通情報やVICS情報を考慮して、ルートを探索します。

回避エリアを通らない

設定した回避エリアを考慮してルートを探索します。

学習したルートを使う

よく利用する道路を考慮したルート探索をします。ただし、リアルタイム交通情報を考慮している場合や、時間規制道路を回避するに設定している場合にはルートを学習しづらくなることがあります。

5ルートで再探索する

1 ルート スイッチを押す

再探索 → 他のルートを選ぶ を選ぶ

2 設定したいルートを選ぶ

有料優先（推奨）：
有料道路を優先して使用する、推奨ルートです。

有料（料金考慮）：
有料道路を優先して使用する、料金が安い別のルートです。

一般優先（推奨）：
一般道路を優先して使用する、推奨ルートです。

一般優先：
一般道路を優先して使用する、別のルートです。

距離優先：
距離の短さを優先したルートです。（VICS情報は、規制情報のみ考慮されます。）

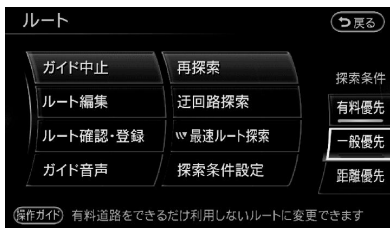
3 ガイド開始 を選ぶ

設定した条件でルートを再探索し、ルートガイドを開始します。

■ ルート再探索のショートカット

表示されたルートを変更できます。

1 ルートスイッチを押す

2 探索条件の設定を選ぶ

有料優先：
有料道路を優先して使用したルートを設定します。

一般優先：
一般道路を優先して使用したルートを設定します。

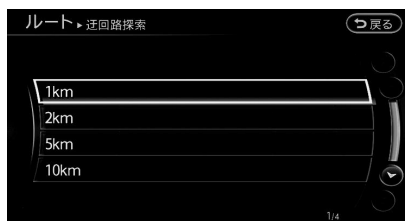
距離優先：
距離の短さを優先したルートです。（VICS情報は規制情報のみ考慮します。）

迂回する

ルートを走行中、一時的に距離を指定して、迂回することができます。

1 ルートスイッチを押す

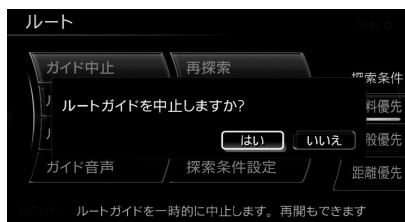
迂回路探索を選ぶ

2 迂回する距離を選ぶ

1km、2km、5km、10kmから選びます。選んだ距離で迂回ルートが設定されます。

ルートガイドを中止する／再開する

1 ルートスイッチを押す

ガイド中止を選ぶ

2 はいを選ぶ

ルートガイドが一時中止されます。

ガイドを再開するときは、もう一度ルートスイッチを押しガイド再開を選びます。

場所を登録する

登録と編集

登録地は登録した順に最大300件まで登録できます。

■ 現在地を登録する

現在地が表示されていないときは、現在地スイッチを押してください。

1 決定スイッチを押す

2 ここを登録を選ぶ

メッセージが表示され、現在地が登録されます。

■ 地図を動かして登録する

1 カーソル（⌖）を合わせて、決定スイッチを押す

2 ここを登録を選ぶ

メッセージが表示され、カーソル（⌖）の場所が登録されます。

■ 場所を探して登録する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録地

2 新規登録を選ぶ

3 場所を検索する

4 決定を選ぶ

登録地を編集する

登録した自宅や場所は、名前の変更や電話番号の入力などの編集ができます。

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録地を選ぶ

2 編集する登録地を選ぶ

3 編集したい項目を選ぶ

編集：
登録地の名称や電話番号の入力などができます。

位置を修正：
地図を動かして、登録した場所の位置を修正します。

消去：
登録した場所を削除します。

終了：
内容を決定して、編集を終了します。

編集を選ぶと以下の項目を設定できます。

地図表示	地図上に登録地アイコンを表示または非表示にします。 ON（点灯）：登録地アイコンを地図上に表示します。 ON（消灯）：登録地アイコンを地図上に表示しません。
名称	登録した施設などの名称を変更します。登録地を選んだときのみ設定できます。
ヨミ	音声操作で使用するための読みを入力します。登録地を選んだときのみ設定できます。
アイコン	地図上に表示する登録地アイコンを選んで、変更します。
アラーム音	登録地に近づいたときにアラーム音を鳴らす設定をします。
アラーム方向	どの方向から登録地に近づくとアラーム音が鳴るかを設定します。 アラーム方向を未指定に設定しているときは、どの方向から近づいてもアラーム音が鳴ります。 アラーム方向がすでに設定されているときに（アラーム方向）を選ぶと、設定を解除できます。
アラーム距離	どのくらい登録地に近づいたらアラーム音が鳴るかを設定します。
電話番号	登録した場所の電話番号を入力できます。自宅や登録地に電話番号を入力すると、電話番号から目的地を探すときに利用できます。
グループ	登録した場所をグループ分けすることで、登録地リストの並び替えに利用できます。登録地を選んだときのみ設定できます。
登録番号	場所の登録番号を選択した番号と入れ替えることができます。登録地を選んだときのみ設定できます。

登録地を消去する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去を選ぶ

2 自宅または登録地を選ぶ

3 消去する登録地を選ぶ

4 消去を選ぶ

メッセージ画面が表示されます。

5 はいを選ぶ

登録地情報を取り出す／取り込む

自宅や場所の登録情報をUSBメモリに書き出したり、USBメモリに保存した情報を読み込んだりできます。

アドバイス

- 保存中・読み込み中にUSBメモリを抜いたり、エンジンスイッチを操作したりしないでください。

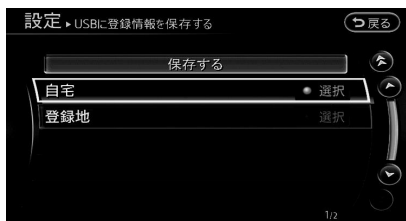
■ 情報をUSBメモリに保存する

1 **USBメモリを接続する**

USBメモリの接続位置…p.125

2 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録情報を移し替え → USBに登録情報を保存するを選ぶ

3 保存したい登録地を選ぶ

● ON が点灯した登録地の情報が保存されます。登録地を選んだら 保存する を選ぶとUSBメモリに情報が保存されます。

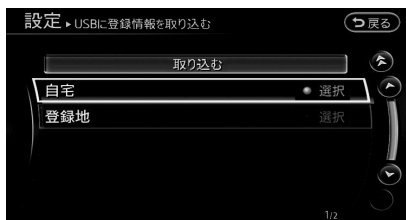
■ 情報をUSBメモリから取り込む

1 **USB**メモリを接続する

USBメモリの接続位置…p.125

2 設定 スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録情報を移し替え → USBから登録情報を取り込む を選ぶ

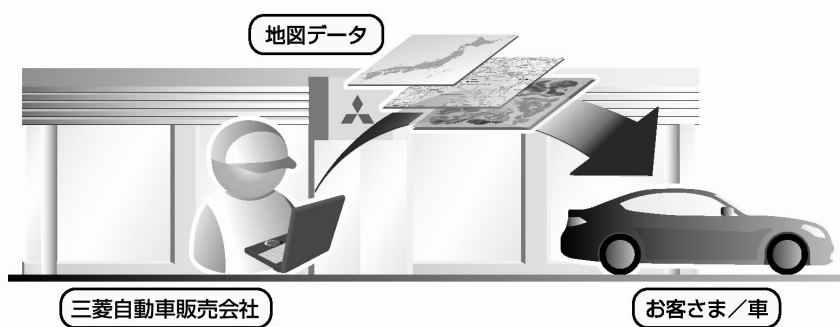
3 取り込みたい登録地を選ぶ

● ON が点灯した登録地の情報が取り込まれます。

登録地を選んだら 取り込む を選ぶとUSBメモリから情報が取り込まれます。

最大300件まで登録できます。

地図を更新する

三菱自動車販売会社にて有償で地図データのバージョンアップができます。

地図更新時には、お客さまご自身でHDDナビに登録された情報・内容につきましてはこれを保持するよう細心の注意を払い作業いたしますが、消去される可能性があります。あらかじめご了承ください。

三菱自動車販売会社にご相談ください。

3か月以上地図更新をしていない場合、起動時に新しい地図に更新できる案内をナビ画面と音声で行うことがあります。

ナビゲーションを使いこなす

ナビを使いやすくするために、地図画面やルートガイドなどをより詳細に設定できます。

ショートカットメニューを使う

1 設定スイッチを押す

2 ビュー切替／施設アイコン／VICSを選ぶ

ビュー切替：
スタンダードビューとバードビューの切り替え、2画面の設定ができます。

施設アイコン：
ガソリンスタンドやコンビニなどの施設アイコンの地図上への表示／非表示を設定します。

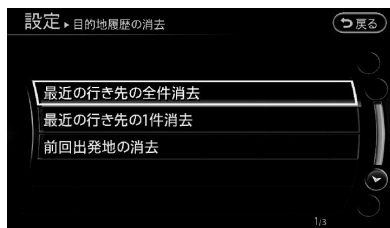
VICS：
渋滞情報やVICSアイコンの地図上への表示／非表示を設定します。

目的地の履歴を消去する

一度消去した履歴は復帰することができません。十分に確認してから消去してください。

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 目的地履歴の消去を選ぶ

2 消去したい履歴を選ぶ

最近の行き先の全件消去：
目的地の履歴をすべて消去します。

最近の行き先の1件消去：
履歴リストから選んで1件ずつ消去します。

前回出発地の消去：
前回の出発地を消去します。

3 表示されたメッセージを確認して、はいを選ぶ

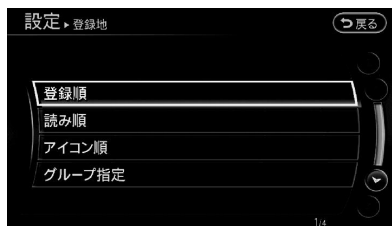
目的地の履歴が消去されます。

登録地を並べ替える

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション→登録地の編集・消去→登録地を選ぶ

2 並べ替えを選ぶ

3 順序を選ぶ

登録順：
登録地の番号順に並べ替えます。

読み順：
登録地に設定されている読みの順番に並べ替えます。

アイコン順：
アイコンごとに並べ替えます。

グループ指定：
グループリストから、先頭にしたいグループを選びます。

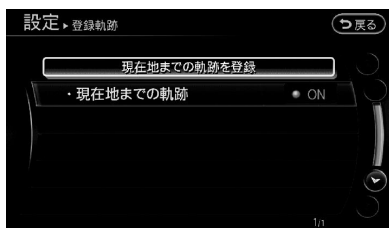
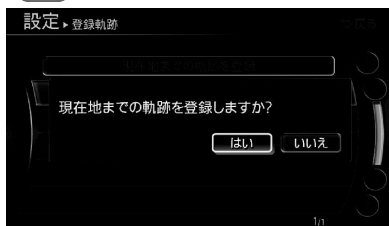
軌跡の登録と編集

■ 軌跡を登録する

前回の出発地から現在地までの通った道を登録できます。軌跡は最大5つまで登録できます。

1 設定スイッチを押す

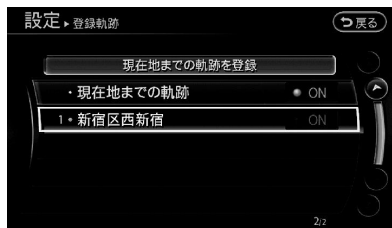
ナビゲーション→登録地の編集・消去→登録軌跡を選ぶ

2 現在地までの軌跡を登録を選ぶ

3 表示されたメッセージを確認して、はいを選ぶ

現在地までの軌跡が登録されます。

■ 軌跡を編集する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録軌跡を選ぶ

2 編集したい登録軌跡を選ぶ

3 項目を選ぶ

軌跡確認：
地図を動かして、登録した軌跡の位置を確認します。

名称変更：
登録した軌跡の名称を変更します。

現在の軌跡に入替：
現在の軌跡をすでに登録してある軌跡と入れ替えます。

消去：
登録している軌跡を消去します。

終了：
編集内容を決定し、前の画面に戻ります。

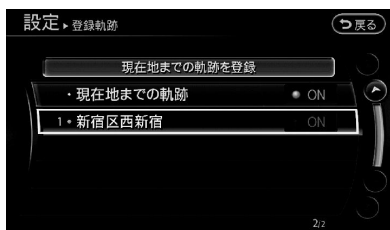
■ 登録した軌跡を地図上に表示する

登録軌跡は50km、現在地までの軌跡は100kmまで表示されます。

軌跡を表示していなくても、現在地までの軌跡は記憶されています。記憶されている軌跡は100kmまでです。

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録軌跡を選ぶ

2 地図上に表示したい登録軌跡を選ぶ

軌跡を編集すると、自動的に ● ON （点灯）になります。地図上に軌跡を表示しない場合は、再度選んで ON （消灯）にします。

● ON （点灯）のときに項目を選んでも、 ON （消灯）になるだけで編集画面には切り替わりません。

3 終了を選ぶ

登録地やルートを一括で消去する

登録した場所やルートなどを一括で消去ができます。一度消去した場所やルートなどは復帰できません。十分に確認してから消去してください。

1 設定 スイッチを押す

ナビゲーション を選ぶ

2 登録地の編集・消去 を選ぶ

3 登録の消去 を選ぶ

4 消去したい項目を選ぶ

自宅の消去 :
自宅の登録を消去します。

登録地の一括消去 :
登録した場所をすべて消去します。

登録ルートの一括消去 :
登録したルートをすべて消去します。

現在地までの軌跡消去 :
現在地までの軌跡を消去します。

登録軌跡の一括消去 :
登録した軌跡をすべて消去します。

学習ルートのリセット :
学習ルート機能で記憶したルートをリセットします。

回避エリアの一括消去 :
登録した回避エリアをすべて消去します。

目的地履歴の消去 :
最近の行き先全件消去、最近の行き先1件消去、前回出発地消去から選んで消去できます。

5 表示されたメッセージを確認して、はい を選ぶ

選んだ項目が消去されます。

地図表示を設定する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーションを選ぶ

2 地図ビューの設定を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

地図ビュー切替：
地図の表示を切り替えます。

常時表示設定：
ガイド画面の表示を設定します。

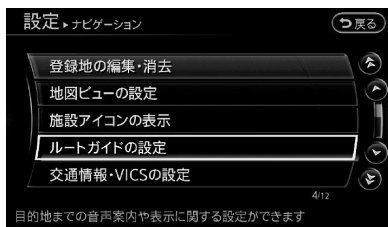
ハイウェイモード設定：
高速道路の表示を設定します。

地図表示設定：
地図の表示や地図上に表示されるマークなどを設定します。

ルートガイドの詳細設定をする

1 設定スイッチを押す

ナビゲーションを選ぶ

2 ルートガイドの設定を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

■ 音声ガイドを設定したいとき

<table>
<tr><td>ガイド音量</td><td colspan="2">ルートガイド中の音声ガイドの音量を調整します。</td></tr>
<tr><td>ガイド・メッセージ音声</td><td colspan="2">音声によるルートガイドを行うか設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ルートガイド音声の詳細設定</td><td colspan="2">各ルートガイドの音声ガイドを設定します。</td></tr>
<tr><td>交差点ガイド設定</td><td>交差点での音声ガイドを設定します。
シンプル音声ガイド：
交差点での音声ガイドの種類を設定します。
ジャストガイド：
曲がる交差点の直前でガイドします。
ランドマークガイド：
交差点で目印となる施設を音声で案内します。</td></tr>
<tr><td>レーンガイド</td><td>右左折専用レーンなどのレーン規制に注意する必要がある場合に音声でお知らせします。</td></tr>
<tr><td>料金ガイド</td><td>有料道路で料金所に近づくと案内します。</td></tr>
<tr><td>ガイド開始時の走行ルート説明</td><td>ガイド開始時に走行ルートの案内を行います。</td></tr>
</table>

■ 画像での案内を設定したいとき

<table>
<tr><td rowspan="5">拡大図設定</td><td colspan="2">3D交差点案内など立体的なガイド表示を設定します。</td></tr>
<tr><td>高速入口の画像表示</td><td>都市内の高速道路の入口を立体的な画像で表示します。</td></tr>
<tr><td>高速分岐の画像表示</td><td>高速道路のジャンクションを立体的な画像で表示します。</td></tr>
<tr><td>簡易右左折表示</td><td>次の交差点で進む方向を示す簡易的な矢印を表示します。</td></tr>
<tr><td>リアル3D交差点案内</td><td>主要都市の交差点に近づくとリアル画面を表示します。表示方法は以下から選べます。
ドライバー視点：
視点の角度をドライバーの視点にします。
だんだん高くなる：
視点の角度がだんだん高くなり、上空からの視点になります。
表示しない：
リアル3D交差点案内を表示しません。</td></tr>
</table>

■ その他の詳細な設定をしたいとき

到着予想時刻の表示切替	到着予想時刻の表示を目的地か最寄りの経由地に設定します。 目的地： 目的地までの到着予想時刻を表示します。 最寄りの経由地： 現在地から1番近い経由地までの到着予想時刻を表示します。	
その他の設定	ルートガイドに関するその他の設定を行います。	
	一般道の方面看板表示	一般道を走行しているときの方面看板の表示方法を選べます。 表示しない：表示しません。 ガイド中に表示する：ルートガイド中のみ表示します。 常時表示する：常時表示します。
	通過交差点の情報表示	通過する交差点の情報（交差点名称、レーンガイド、信号機）を表示します。表示方法は以下になります。 表示しない：表示しません。 ガイド中に表示する：ルートガイド中のみ表示します。 常時表示する：常時表示します。
	到着予想時刻の設定	道路の想定走行速度を考慮して、予想到着時刻を計算します。 オート： ON（点灯）： 到着予想時間を自動で計算します。 ON（消灯）： 以下の道路の想定速度を5km/h単位で設定できます。 ● 高速道路：速度範囲：5〜120km/h ● その他有料道路：速度範囲：5〜100km/h ● 国道・都道府県道・主要道：速度範囲：5〜60km/h ● 細街路：速度範囲：5〜30km/h ● 設定を初期状態に戻す：すべて初期値に戻します。
	オートリルート	ルートガイド中にルートを外れたときに、自動的にルートを再探索します。

ルートの登録と編集

■ ルートを登録する

登録できるルートは経由地を設定したルートです。目的地のみのルートは登録できません。ルートは5件まで登録できます。

1 ルートスイッチを押す

ルート確認・登録を選ぶ

2 現在のルートを登録を選ぶ

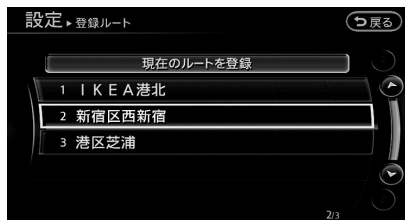
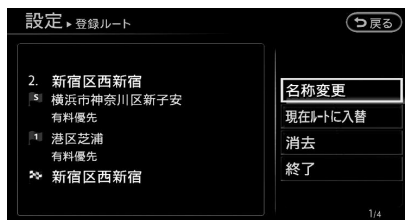
3 表示されたメッセージを確認して、はいを選ぶ

現在のルートが登録されます。

■ 登録したルートを編集する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録ルートを選ぶ

2 編集したい登録ルートを選ぶ

3 項目を選ぶ

名称変更：
登録したルートの名称を変更できます。

現在ルートに入替：
現在のルートをすでに登録されているルートと入れ替えます。

消去：
登録しているルートを消去します。

終了：
編集内容を決定し、前の画面に戻ります。

回避エリアの登録と編集

■ 回避エリアを登録する

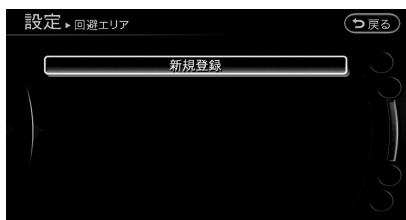
通行止めや渋滞が多いなど、走行するのを避けたいエリアをあらかじめ登録できます。

回避エリアは5件まで登録できます。

● 回避エリアを登録する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 回避エリアを選ぶ

2 新規登録を選ぶ

3 場所を検索する

4 終了を選ぶ

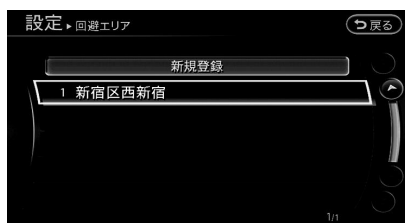
回避エリアが登録され地図上にアイコンが表示されます。

● 回避エリアを編集する

登録した回避エリアは、名前やサイズを変えるなどの編集ができます。

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 回避エリアを選ぶ

2 編集したい回避エリアを選ぶ

3 編集したい項目を選ぶ

(名称変更)：
登録した回避エリアの名称を変更できます。

(位置を修正)：
回避エリアの位置を修正します。

(エリアサイズ)：
サイズを5段階に切り替えられます。

(有料道路回避)：
回避エリア内を通る有料道路を使用するか設定します。● ONが点灯しているときは有料道路も回避します。(※1)

(消去)：
登録した回避エリアを消去します。

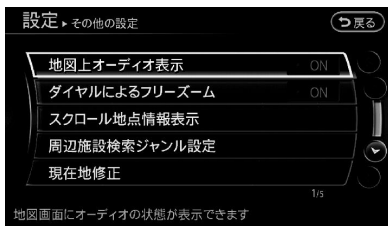
(終了)：
編集内容を決定し、前の画面に戻ります。

(※1) 有料道路回避が設定されているときは、エリア表示や回避エリアアイコンが緑色で表示され、設定されていないときは青色で表示されます。

その他のナビ設定をする

1 (設定)スイッチを押す

(ナビゲーション) → (その他の設定)を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

(地図上オーディオ表示)：
地図画面にオーディオの状態を表示します。

(ダイヤルによるフリーズーム)：
マルチファンクションスイッチを回すことで地図の縮尺を無段階に調整できます。

(スクロール地点情報表示)：
カーソル（⌖）を合わせた地点の情報を表示できます。

(周辺施設検索ジャンル設定)：
周辺施設検索の施設ジャンルをお好みに設定できます。

(現在地修正)：
現在地の位置を修正できます。

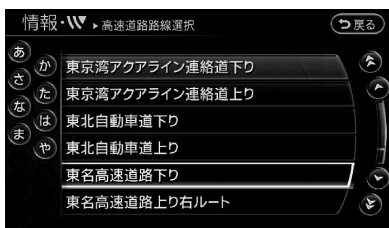
ハイウェイ情報を見る

高速道路上のIC、JCT、SA、PAの名称とその情報が表示されます。

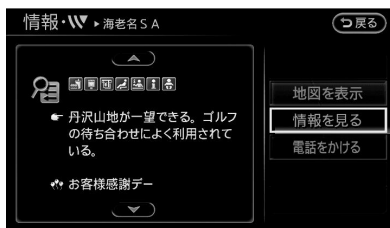
1 情報・Ⓦスイッチを押す

ハイウェイ情報を選ぶ

2 地域を選ぶ

3 路線を選ぶ

4 情報を見たいSAまたはPAを選ぶ

SA/PAマップ画面が表示されます。

5 情報を見るを選ぶ

SA/PA詳細情報画面が表示されます。

地図を表示：
サービスエリア、パーキングエリアの位置を地図上に表示します。

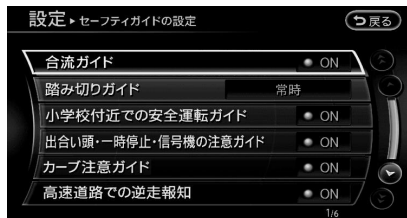
情報を見る：
SA/PA詳細情報画面を表示します。

電話をかける：
施設に電話をかけることができます。電話が接続されていないときは選べません。

セーフティガイドを設定する

1 設定 スイッチを押す

ナビゲーション → セーフティガイドの設定 を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ(※1)

合流ガイド ：
高速道路で合流地点に近づいたときに、音声と合流のマーク表示で案内します。

踏み切りガイド ：
踏み切りに近づいたとき、音声と踏み切りのマーク表示で案内します。

小学校付近での安全運転ガイド ：
小学校に近づいたときに、速度、ブレーキ、アクセルの状態に応じて音声と学校のマーク表示で案内します。

出合い頭・一時停止・信号機の注意ガイド◎ ：
交差点や信号機に近づいたときに、音声と標識やマーク表示で案内します。VICS（ビーコン）対応キット◎接続時のみ表示します。

カーブ注意ガイド ：
カーブに近づいたときに、車の速度に応じて音声で注意を促します。

高速道路での逆走報知 ：
高速道路で逆走してしまったときに、音声と警告のマーク表示で案内します。

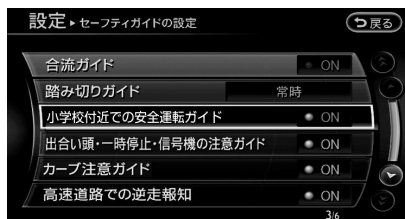
知識

(※1) 地図上の自車位置表示や、走行中の道路状況が実際と異なるときには、ガイドしないことや、ガイド内容が実際の状況と異なることがあります。 常に実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。

■ 小学校付近での安全運転ガイドを設定する

1 設定 スイッチを押す

ナビゲーション → セーフティガイドの設定 を選ぶ

2 小学校付近での安全運転ガイド を選ぶ

● ON が点灯し、小学校付近での安全運転ガイドが設定されます。

小学校付近走行中に、速度、ブレーキ・アクセルの状態に応じて画面表示と音声でガイドします。

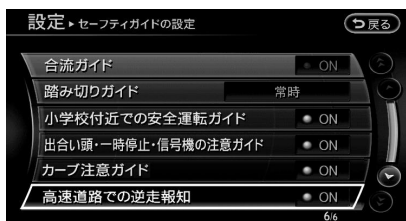
■ 高速道路での逆走報知

⚠ 注意

- 高速道路での逆走報知機能は、状況によって報知しないことや報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走をしてしまった場合は、安全を確保したうえで高速道路上に設置された非常電話等で指示を受けるようにしてください。

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → セーフティガイドの設定を選ぶ

2 高速道路での逆走報知を選ぶ

● ON が点灯し、高速道路での逆走報知が設定されます。

万が一、高速道路上で逆走してしまったときは、画面表示と音声でお知らせし、運転者に注意を促します。(※1)

表示を消すには、現在地または戻るスイッチを押します。

知識

(※1) 以下のような場合には、画面表示、音声で報知しないことや、報知内容が実際の状況と異なることがあります。
- 走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近における逆走
- 周囲に分岐・合流のない本線道路上のUターン
- ダッシュボードの上に物を置いている、またはトンネル、高架橋下や高層ビル群地帯にいるなど、GPS信号が正しく受信できない場合
- 旋回、切り返し、その他の走行条件等により、ナビが正しい道路に自車位置を表示できない場合
- 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行している場合

■ 出合い頭・一時停止・信号機の注意ガイド◎を設定する

出合い頭・一時停止・信号機の注意ガイドの表示を設定できます。この機能は、VICS（ビーコン）対応キット◎の接続が必要です。道路上にDSSS（Driving Safety Support Systems）用の光ビーコンが設置されている場合に、出合い頭、一時停止および信号機の情報を受信すると、走行状況や交通環境に応じて必要性を判断し、音声と画面表示で注意ガイドをします。(※1)注意ガイドの必要性は、ナビゲーションシステムで判断しているため、必ずしも常にガイドするものではありません。

⚠ 注意

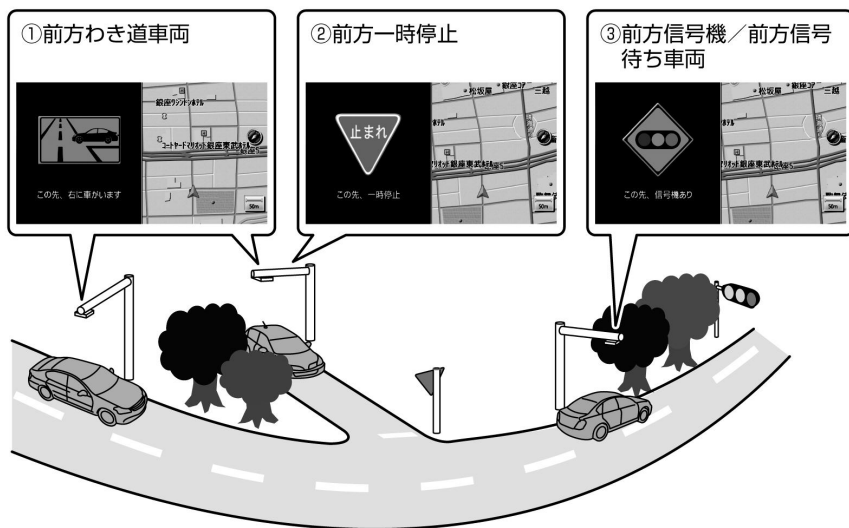
- **常に実際の交通状況や交通規則・標識などに従って注意してください。**

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → セーフティガイドの設定を選ぶ

2 出合い頭・一時停止・信号機の注意ガイドを選ぶ

ONが点灯し、出合い頭・一時停止・信号機の注意ガイドが設定されます。設定がONのときにVICS（ビーコン）対応キット◎がDSSS用光ビーコンとの通信ができるようになり、注意ガイドができる状態になります。(※2)

走行中に速度、ブレーキ、アクセルの状態に応じて、以下の注意を音声と画面表示でガイドします。

① 前方わき道車両

優先道路を走行中に、出合い頭事故の多い見通しの悪い交差点で、見えない位置に車両がいる場合

② 前方一時停止

優先道路でない道路を走行中に、出合い頭事故の多い見通しの悪い交差点の一時停止の標識を見落として、そのまま走行しようとしている場合

③ 前方信号機／前方信号待ち車両

信号機が見づらいなどで赤・黄信号または信号待ちをしている車両を見落として、そのまま走行しようとしている場合

(※1) **DSSSとは？**

DSSSはDriving Safety Support Systemsの略です。道路とクルマが連携し（路車協調）、交通事故の低減を目指すシステムで、警察庁とその所管法人である社団法人新交通管理システム（UTMS）協会が推進しているプロジェクトです。DSSS用光ビーコンによるサービスは、2012年10月1日現在、東京都と神奈川県の全15交差点で実施しております。DSSS用光ビーコンの設置個所につきましては、警察庁のホームページ(http://www.npa.go.jp/)で公開されています。

(※2) 以下のような条件等では、ガイドしないことや、ガイド内容が実際の状況と異なることがあります。

- VICS（ビーコン）対応キット◎の上に物を置いたり、窓が汚れたりしていて、DSSS用光ビー　コンとの赤外線通信が遮られた場合。
- DSSS用光ビーコンが木の葉や雪などの付着により遮られた場合。

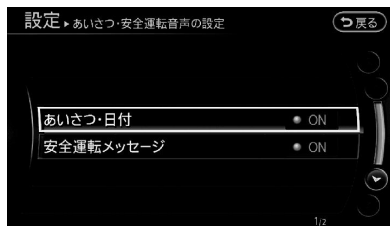
- DSSS用光ビーコンの受光部に太陽光などが入射した場合。
- DSSS用光ビーコンの通信エリアに駐停車車両がある、または機器メンテナンス作業などによって、通信できない場合。
- DSSS用光ビーコンに誤作動、異常、故障などがあり、誤った情報が車両に提供された場合。
- 前方のわき道車両や信号待ち車両の存在を検出する路上に設置したセンサーが、環境条件変化等によって、検出機能が低下し、車両の未検出や誤検出が発生した、またはDSSS用光ビーコンを通過してから、ガイド対象地点に進むまでに、わき道車両や信号待ち車両の状況が変化した場合。

あいさつ・安全運転音声を設定する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーションを選ぶ

2 あいさつ・安全運転音声の設定を選ぶ

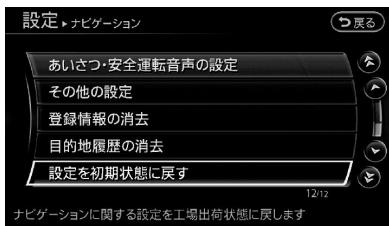
3 設定したい項目を選ぶ

あいさつ・日付：
日付や時間帯に応じたあいさつを表示します。

安全運転メッセージ：
安全に関するメッセージを表示します。

ナビの設定を初期状態にする

1 設定スイッチを押す

ナビゲーションを選ぶ

2 設定を初期状態に戻すを選ぶ

3 表示されたメッセージを確認して、はいを選ぶ

ナビの設定が初期状態になります。

登録した場所やルートなどは、初期状態に戻しても消去されません。

GPS現在地情報を見る

GPSの受信状態を確認できます。

1 情報・Wスイッチを押す

その他情報→GPS現在地情報を選ぶ

GPS現在地情報画面が表示されます。

■ GPS 現在地情報画面

GPS 情報の測位（受信）状態、緯度、経度、概算高度、衛星配置を見ることができます。

① 測位状態
いくつの衛星を使って緯度・経度・高度の計算をしているかを表示します。
3次元測位：4つ以上の衛星から
2次元測位：3つ以上の衛星から
測位不能：GPS 衛星を使った測位ができない

② 衛星アイコン
GPS 衛星の信状態、配置を確認できます。
緑色：衛星情報を捕捉中
灰色：衛星情報を探索中

エコドライブ機能を設定する★

1 設定スイッチを押す

エコドライブを選ぶ

2 項目を選ぶ

ナビ協調機能：

ON（点灯）：ナビ協調機能がONになります。

ON（消灯）：ナビ協調機能がOFFになります。

ナビ協調機能とはナビ情報を考慮し自動でエンジンブレーキを制御して、実用燃費の向上をはかる機能です。

ECOペダル★：

ECOペダル★の運転操作アシストをオフ/弱/標準から設定します。

ECOペダル★とはアクセルの踏みこみに対して、急発進、急加速を抑えるなど、燃費が向上するように運転操作をアシストする機能です。

交通情報を使う

VICS地図情報の見かた

①　②　③

① **VICS受信時刻表示**

② **渋滞情報表示**

渋滞状況を示す矢印が色別に表示されます。矢印は、道路の混み具合によって色分けされ、長さで渋滞の範囲が分かります。

[色]交通状況	VICS 交通情報	プローブ 交通情報
[赤色]渋滞		
[橙色]混雑		
[緑色]順調		

③ **地図情報記号**

交通障害、速度規制、駐車場などの情報を記号で表示します。

<交通障害・規制情報記号>

：事故

：故障車

：障害物・路上障害

：作業

：工事

：凍結

：通行止め・閉鎖

：速度規制（10～80km/h間の10km/hごとに表示）

車線規制

：入口制限

：徐行

：進入禁止

：片側交互通行

：対面通行

：入口閉鎖

：大型通行止め

：チェーン規制

<駐車場／パーキングエリア／サービスエリア>

状況	駐車場	PA/SA
[青色]空車	P	PA
[橙色]混雑	P	PA
[赤色]満車	P	PA
[灰色]不明	P	PA
[赤色]閉鎖	P	-

VICS FM多重情報を見る

FM多重放送から受信したVICS情報を表示します。

1 情報・W スイッチを押す

VICS交通情報 → VICS FM多重情報 を選ぶ

2 表示させたい情報を選ぶ

図形情報：
渋滞情報を簡易図形で表示します。最大5件まで表示できます。

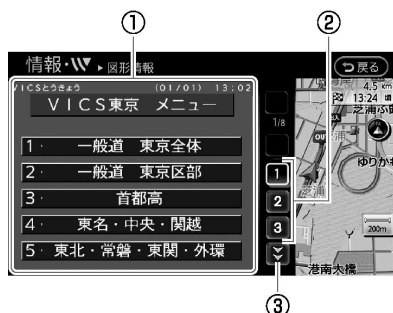
文字情報：
渋滞情報を文字で表示します。最大4件まで表示できます。

所要時間：
現在地に近い区間から所要時間情報が表示されます。

緊急情報：
緊急情報を表示します。(※1)

知識

(※1) 緊急情報は受信すると自動的に表示されます。

■ VICS FM情報画面

① **メニュー画面**
受信したFM多重情報のメニューの一覧です。タッチしても情報画面は表示されません。

② **メニュー番号**
メニューに表示されている番号を選ぶと、情報画面が表示されます。

③ **メニュー番号送り**
選ぶと、表示しているメニュー画面の続きが表示されます。

④ **情報画面**
選択したメニューの図形情報などを表示します。

⑤ **ページ送り**
2ページ以上あるときに、▲ を選んでページをめくることができます。前のページに戻るには ▼ を選びます。

VICSビーコン情報を見る◎

ビーコンからVICS情報を取得します。

ビーコンには、高速道路に設置され、前方の高速道路の道路交通情報を中心に提供する電波ビーコンと、主要な一般道路に設置され、道路交通情報を中心に提供する光ビーコンがあります。

1 情報・W スイッチを押す

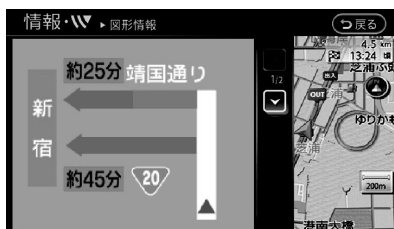
VICS交通情報 → VICS ビーコン情報 を選ぶ

2 表示させたい情報を選ぶ

選んだ情報画面が表示されます。
図形・文字・所要時間・緊急情報を確認できます。

電波ビーコン情報画面（例）

主に進行方向の高速道路の情報やインターチェンジ付近の接続道路、平行する一般道路の、渋滞・リンク旅行時間・規制・障害情報・SA/PA情報・簡易図形などを表示します。

光ビーコン情報画面（例）

主に進行方向の一般道路と高速道路の、渋滞・リンク旅行時間・規制・駐車場情報・区間旅行時間などを表示します。

VICS情報を使いこなす

ここでは、さまざまなシーンでのVICS情報の活用方法を紹介します。

■ 予測交通情報を表示する

指定した日時の交通情報を表示することができます。また、カーウイングス情報センターに接続して最新の予測交通情報をダウンロードすることもできます。

カーウイングス情報センターとの通信には、携帯電話の通信料金がかかります。

1 情報・W スイッチを押す

VICS交通情報 → 渋滞予測表示 を選ぶ

2 日時を入力して 決定 を選ぶ

指定した時刻が現在時刻から2時間以内の場合：
カーウイングスセンターから最新の渋滞情報をダウンロードするかの確認メッセージが表示されます。はい を選ぶとカーウイングス情報センターに接続して、予測交通情報をダウンロードして表示されます。いいえ を選ぶとカーウイングス情報センターには接続せず、統計交通情報が表示されます。

指定した時刻が、現在時刻より2時間以上1年以内の場合：
統計交通情報が表示されます。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

● カーウイングス情報センターの渋滞予測表示

● 統計交通情報表示

時刻変更を選ぶと、設定時刻を変更することができます。設定時刻変更中に地図操作はできません。

■ 駐車場の空き情報を見る

周辺の駐車場の空き情報を確認します。

駐車場を目的地に設定することもできます。

1 情報・W スイッチを押す

VICS交通情報を選ぶ

2 駐車場空き情報を選ぶ

3 駐車場を選ぶ

駐車場の空き情報が表示されます。

■ SA/PA 駐車場の空き情報を見る

高速道路のサービスエリア（SA）/パーキングエリア（PA）の駐車場の空き情報を表示します。

1 情報・W スイッチを押す

VICS交通情報を選ぶ

2 SA/PA駐車場空き情報を選ぶ

3 駐車場を選ぶ

SA/PA駐車場の空き情報が表示されます。

■ 交通障害・規制情報を見る

事故、故障車、路上障害物、工事、作業などのVICSマークを表示します。

画面上のVICSマークを選ぶと、交通障害・規制情報の詳しい内容がわかります。

1 情報・W スイッチを押す

VICS交通情報 を選ぶ

2 交通障害・規制情報 を選ぶ

3 情報を選ぶ

規制などの詳しい情報が表示されます。

■ 付近の渋滞を見る

1 情報・W スイッチを押す

VICS交通情報 を選ぶ

2 付近の渋滞表示 を選ぶ

渋滞確認画面が表示されます。(※1)

知識

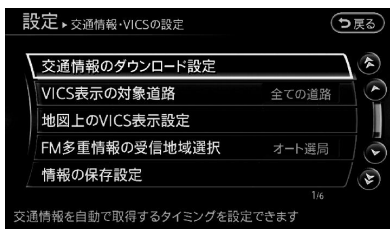
(※1) 渋滞はそれぞれ赤色、混雑は橙色、順調は緑色の矢印で表示され、矢印の長さで混み具合がわかります。

VICSの設定をする

VICSの各種機能を設定します。

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定を選ぶ

2 設定する項目を選ぶ

交通情報のダウンロード設定：
カーウイングス情報センターからの交通情報ダウンロードの設定をします。

VICS表示の対象道路：
VICS情報を表示させる道路を設定します。

地図上のVICS表示設定：
VICSアイコンや渋滞情報が地図上に表示されます。

図形情報の割込み：
VICS（ビーコン）対応キット◎接続時のみ表示されます。ビーコンからの図形情報を割り込み表示します。

図形情報の割込み時間：
VICS（ビーコン）対応キット◎接続時のみ表示されます。図形情報の割り込み時間を設定します。

FM多重情報の受信地域選択：
FM多重情報を受信する地域を設定します。

情報の保存設定：
VICS情報を保存する時間を設定します。

プローブ情報設定：
プローブ情報の送信設定と消去をします。

■ VICS表示の対象道路を設定する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → VICS表示の対象道路を選ぶ

2 VICS情報を表示したい道路を選ぶ

全ての道路：
すべての道路のVICS情報を表示します。

有料道：
有料道路上の交通情報やSA/PAなどのVICS情報を表示します。

一般道：
一般道路上の交通情報や駐車場などを表示します。

表示しない：
VICS情報を表示しません。

■ 地図上のVICS表示を設定する(※1)

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → 地図上のVICS表示設定を選ぶ

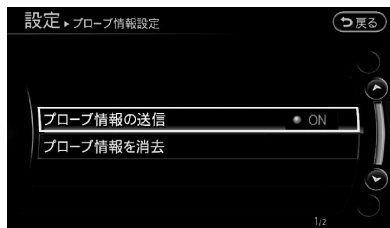
2 設定する項目を選ぶ

● ON が点灯し、地図上に表示されるように設定されます。

■ プローブ情報を設定する(※1)

1 設定 スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → プローブ情報設定 を選ぶ

2 設定する項目を選ぶ

プローブ情報の送信 :
プローブ情報の送信のON/OFFを設定します。

プローブ情報を消去 :
プローブ情報を消去します。

(※1) ● 地図情報提供の対象外になっている道路や、情報提供の対象であっても情報が提供されていないか、不明と送信されている道路の情報は表示されません。
● 地図縮尺が10km以上のときは、渋滞情報やVICS情報は地図表示されません。

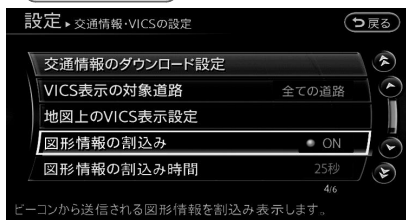
知識

(※1) **プローブ情報とは**
位置、走行距離および燃費などの走行情報のことです。これらの情報は、カーウイングス情報センターに送られ、渋滞情報などに利用されます。プローブ情報の送信をONに設定すると、カーウイングス情報センターから交通情報をダウンロードするときや、最速ルート探索時にプローブ交通情報をダウンロードできます。

■ 図形情報の割り込み表示◎を設定する

VICS（ビーコン）対応キット◎が接続されているときのみの機能です。

1 設定スイッチを押す

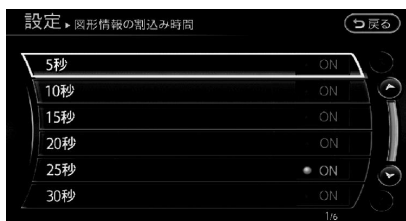
ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → 図形情報の割込みを選ぶ

ON が点灯し、図形情報の割り込み表示が設定されます。走行中にビーコン情報を受信すると自動で図形情報を表示します。

■ 図形情報の割り込み時間◎を設定する

VICS（ビーコン）対応キット◎が接続されているときのみの機能です。

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → 図形情報の割込み時間を選ぶ

2 設定時間を選ぶ

ON が点灯し、図形情報の割り込み時間が設定されます。図形情報の割り込み表示時に、設定時間を過ぎると元の画面に戻ります。

■ FM多重情報の受信地域を選択する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → FM多重情報の受信地域選択を選ぶ

2 項目を選ぶ

オート選局：
自動的に選局します。

過去使用地域履歴1〜3：
過去に使用した地域に設定します。

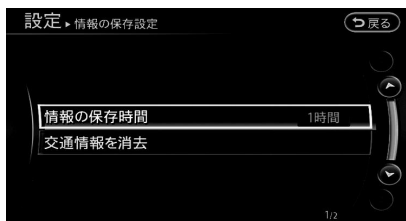
都道府県選択：
都道府県リストから選択します。

■ 情報を保存する／消去する

受信したVISC情報は設定された時間内で保存されます。保存した情報を消去することもできます。

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → 情報の保存設定を選ぶ

2 項目を選ぶ

情報の保存時間：
15分、30分、1時間、2時間から選びます。設定時間を過ぎると情報が消去されます。(※1)

交通情報を消去：
保存してあるリアルタイム交通情報を一括消去します。

(※1) 保存時間内に新しい情報を受信した場合は保存している情報に上書きされます。

オーディオ・テレビ

オーディオ・テレビの基本操作

オーディオをON/OFFする

1 PUSH ON・OFFスイッチを押す

スイッチを押すごとにON、OFFが切り替わります。オーディオをONにすると画面にオーディオ情報が表示されます。

音量を調節する

1 VOLスイッチを回す

画面上に音量調整用バーグラフが表示されます。

曲送り／曲戻しをする

1 SEEK／TRACKスイッチを押す（※1）

知識

（※1） SEEK／TRACKスイッチを長押しすると、再生中の曲の早戻し、早送りをします。

オーディオの設定をする

1 設定スイッチを押す

オーディオを選ぶ(※1)

2 項目を選んで設定する(※2)

BASS：
－または＋を選んで低音を調整します。

TREBLE：
－または＋を選んで高音を調整します。

BALANCE：
LまたはRを選んで左右の音量バランスを調整します。

FADER：
RまたはFを選んで前後の音量バランスを調整します。

Bose® AUDIOPILOT™★(※3)：
Bose® AUDIOPILOT™★のON/OFFを設定します。

Bose® Centerpoint®★(※4)：
Bose® Centerpoint®★のON/OFFを設定します。

サラウンド音量★：
サラウンドスピーカーからの音量を調整します。

DivX機器登録認証番号：
DivXの有料ファイルなどのダウンロードサービスを利用する際に必要な機器の登録コードを確認します。USBメモリやディスクが接続されているときは表示されません。

ジャケット写真表示：
ジャケット写真の画像ファイルがあるメディア再生時の、画像ファイル表示のON/OFFを設定します。

知識

(※1) TUNE/FOLDER／PUSH SOUNDスイッチを押してもオーディオの設定ができます。

(※2) オーディオの設定をキーレスオペレーションキーごとに呼び出すことができます。

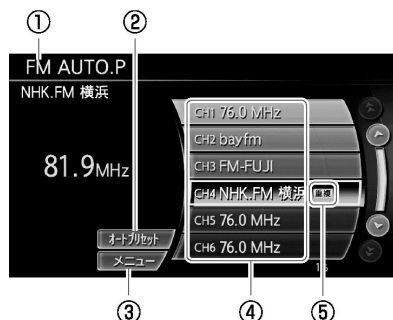
(※3) Bose® AUDIOPILOT™とは車内に設置されたマイクで車内全体の音(音楽とノイズ)をリアルタイムにモニターして、ノイズによってマスキングされた音楽成分のみを自動的に補正する機能です。

(※4) Bose® Centerpoint®とは、CDやMusic Boxなどのステレオ音源を、より臨場感のある音で再生する機能です。

ラジオをきく

ラジオをきくには

FM・AM スイッチを押して、ラジオ操作画面を表示させせます。スイッチを押すごとにモード・ソースが切り替わります。

■ ラジオ操作画面の見かた

① **現在のオーディオモード**
FM1、FM2、AM、FM AUTO.P、AM AUTO.P、のいずれかが表示されます。

② （オートプリセット）
プリセットリストを更新します。プリセットリストを更新するときは、現在地付近で電波の強い放送局を6局まで自動登録します。オーディオモードがFM AUTO.PまたはAM AUTO.Pのときのみ表示されます。

③ （メニュー）
設定画面が表示されます。

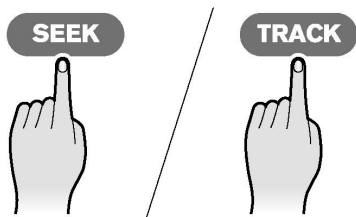
④ **プリセットリスト**
放送局名または周波数が表示されます。

⑤ **重複表示**
同じ地域に同一周波数の放送局が複数あるときに表示されます。選ぶごとに、放送局が切り替わります。

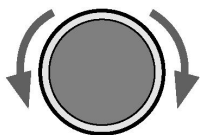
放送局を選ぶ・登録する

■ 放送局を選ぶ

● 自動で選局をする

1 SEEK／TRACK スイッチを押す

自動的に感度の良いチャンネルを受信して表示します。

● 手動で選局をする

1 TUNE/FOLDER スイッチを回す

1ステップずつ周波数が変わります。

● 登録済みの放送局から選ぶ（プリセット選局）(※1)

1 PROG AUTO.P スイッチを押す

PROG AUTO.P を押すごとにプリセットリストが切り替わります。

2 プリセットリストから放送局を選ぶ

選択した放送局に設定されます。

(※1) • メニュー → プリセットリスト切替 を選んで切り替えることもできます。
• プリセットスイッチ 1 〜 6 を押しても、プリセットリストに表示された番号の放送局名に切り替えることができます。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

■ 放送局を登録する

● 手動で登録する（マニュアルプリセット）

1 FM・AMスイッチを押し、登録したい放送局を選局する

2 1〜6スイッチのうち、放送局を登録したい番号のスイッチを長押しする(※1)

「ピッ」という音がして、登録されます。

● 自動で登録する（オートプリセット）

1 PROG AUTO.Pスイッチを長押しする

自動選局を開始します。（「ピッ」という音がしてメッセージが表示されます。）登録が終了するとオートプリセットモード（ソース）画面に切り替わります。

- 受信状態が悪くプリセットリストのすべてに登録できない場合は、空いたプリセットリストにオートプリセットする前の放送局が残ります。

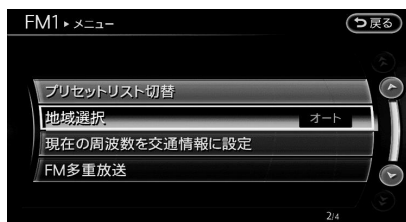
知識

(※1)
- プリセットリストをタッチし続けても同様に登録することができます。
- FMを登録する場合は、FM・AMスイッチを押して登録したいプリセットリスト（FM1またはFM2）を選んで登録します。

ラジオメニューを使う

ラジオ操作画面を表示中に、いろいろな設定をしたり情報を表示したりできます。

1 メニューを選ぶ

2 操作したい項目を選ぶ

プリセットリスト切替：
プリセットリストを切り替えます。

地域設定：
選んだ地域の放送局名を表示します。

現在の周波数を交通情報に設定：
今聞いている周波数を交通情報に登録します。

FM多重放送：
FM放送局の文字情報を表示します。

交通情報をきく

1 [•)))]スイッチを押す

交通情報を受信します。

CDをきく

ディスク挿入口

ディスク挿入口はコントロールパネルのオーディオ操作部にあります。

各部の名称と機能…p.12

CDを再生するには(※1)

ディスクを入れるときは、すでに別のディスクが入っていないことを確認してください。

1 ディスクを入れる

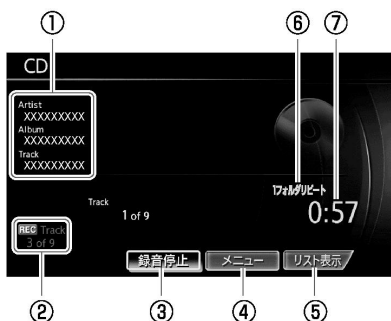
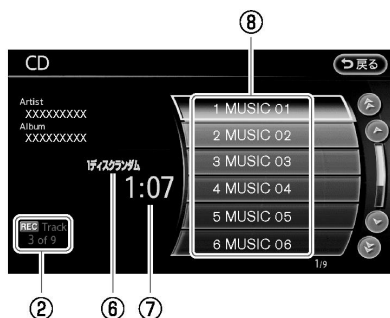
ディスクを読み込み、自動的に再生が始まります。

2 ディスクを取り出す

挿入口の横にある ⏏ スイッチを押すと、ディスクが排出されます。
排出されたディスクをそのままにしておくと、オートリロード機能により、ディスクが再び引き込まれます。

(※1)
- マルチセッションで書き込んだCDやMP3/WMA/AACディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。（セカンドセッションの音楽ファイルは再生できません。）
- すでにディスクが入っている場合はCDの曲情報画面が表示されるまで DISC スイッチを押してください。

CD操作画面の見かた

曲情報画面

トラック選択画面

① **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

② **録音曲数**
CDの録音中に表示します。

③ (全曲録音)／(録音停止)
CDの全曲録音の開始、または録音中に録音停止をします。

④ (メニュー)
プレイモードの選択やCD録音の設定などをします。

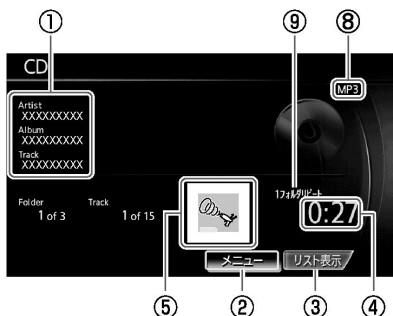
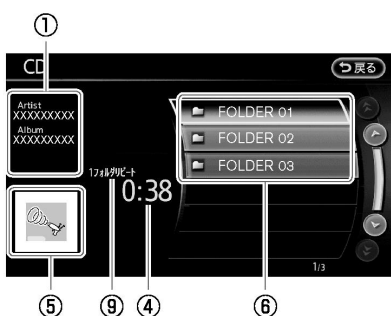
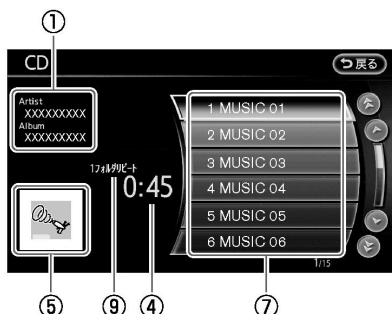
⑤ (リスト表示)
トラック選択画面を表示します。

⑥ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

⑦ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑧ **トラックリスト**
トラックリストを表示します。

MP3/WMA/AAC操作画面の見かた

曲情報画面

フォルダ選択画面

ファイル選択画面

① **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

② （メニュー）
プレイモードの選択をします。

③ （リスト表示）
フォルダ選択画面を表示します。フォルダが1つの場合は、ファイル選択画面を表示します。

④ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑤ **イメージファイル**
画像ファイルがあるとき、表示されます。

⑥ **フォルダリスト（フォルダ選択画面）**
フォルダのリストを表示します。

⑦ **ファイルリスト（ファイル選択画面）**
ファイルのリストを表示します。
フォルダリストから選択して表示します。

⑧ **ファイルフォーマット**
再生中のファイルフォーマットを表示します。

⑨ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

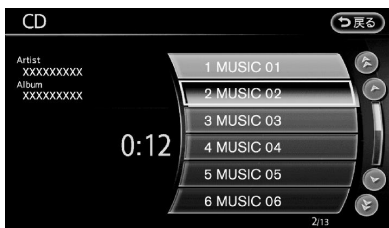
選曲する

再生中に聞きたい曲を画面から選択します。

■ CD操作画面のリストから選曲する

1 曲情報画面を表示する

リスト表示を選ぶ

2 聞きたい曲を選ぶ

選んだ曲が再生されます。

■ MP3/WMA/AAC 操作画面のフォルダから選曲する

1 曲情報画面を表示する

リスト表示を選ぶ

フォルダ選択画面が表示されます。

2 聞きたい曲の入っているフォルダを選ぶ

ファイル選択画面が表示されます。

3 聞きたい曲をタッチする

選んだ曲が再生されます。

プレイモードを切り替える

再生モードを切り替えます。

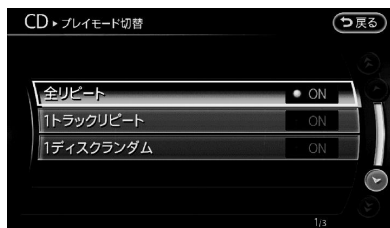
1 曲情報画面を表示する

メニューを選ぶ

Music Box設定画面が表示されます。

2 プレイモード切替を選ぶ

プレイモード切替画面が表示されます。

3 設定したいプレイモードを選ぶ

● ONが点灯し、プレイモードが設定されます。

オーディオ・ビデオ・テレビ

ミュージックボックスを使う

CDの録音をする

■ ハードディスクの容量について

収録可能曲数は、1曲4分、収録可能アルバム数は1枚10曲で換算した場合の数値です。

録音品質	132kbps時	105kbps時
録音可能曲数	約2,400曲	約3,000曲
録音可能アルバム数	約240枚	約300枚

■ 自動で録音する(※1)

1 CDを挿入する

自動的にCD画面に切り替わり、録音を開始します。（オーディオモード時）
録音が完了すると録音終了のメッセージが表示され、自動的に録音を停止します。

知識

(※1) 自動で録音するには、(全曲自動録音する)の設定がONになっている必要があります。初期設定は、(全曲自動録音する)の設定がONになっています。

CD録音の設定をする…p.115

■ 曲を選択して録音する(※1)

1 CDを挿入する

(メニュー) → (曲を選択して録音する)を選ぶ

2 曲を選んで(録音開始)を選ぶ

知識

(※1) 手動で録音するには、(全曲自動録音する)の設定がOFFになっている必要があります。ONの場合でも、一度録音を停止すれば手動録音が可能です。

■ 録音を停止する(※1)

録音を途中で停止することができます。

1 録音停止を選ぶ

録音終了のメッセージが表示され、録音が停止します。

知識

(※1) 録音を停止すると、録音中の曲は保存されません。再度録音を開始すると、現在再生中の曲から開始します。

CD録音の設定をする

CD再生時、Music Boxに再生したデータが収録されていない場合、自動録音の設定ができます。

1 曲情報画面を表示する

メニューを選ぶ

2 Music Box設定 → 全曲自動録音するを選ぶ

選ぶごとに全曲自動録音のON/OFFが切り替わります。

ON（点灯）：自動録音にします。
ON（消灯）：手動録音にします。

タイトル取得の優先設定をする

CD再生時または録音時にどのタイトル情報を使用するか設定します。

1 曲情報画面を表示する

メニュー → タイトル取得の設定をするを選ぶ

2 タイトル情報の取得先を選ぶ(※1)

CDDB：
Gracenoteデータベースで検索されたタイトル情報を使用します。

CD-TEXT：
CDに記録されているタイトル情報を使用します。

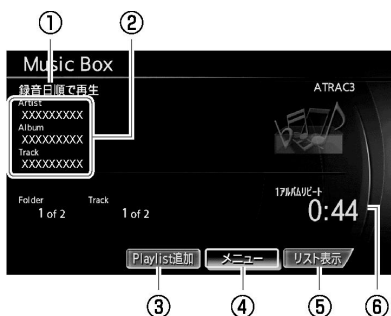
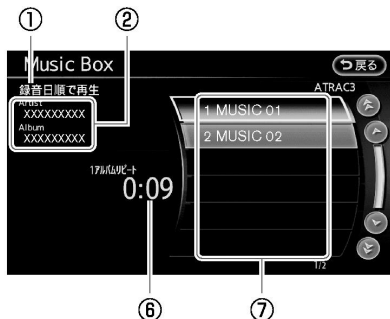
知識

(※1) タイトル情報がどちらか一方しかない場合、設定にかかわらず存在するタイトル情報を使用します。

ミュージックボックスを再生する

DISCスイッチを押すとMusic Box操作画面が表示されます。押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。

■ ミュージックボックス操作画面の見かた

曲情報画面

リスト選択画面

① **再生方法**
再生方法を表示します。

② **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

③ Playlist追加
再生中の音楽ファイルをプレイリストに追加します。

④ メニュー
プレイモードの選択をします。

⑤ リスト表示
アルバム選択画面またはトラック選択画面を表示します。

⑥ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑦ **リスト**
アルバムリストまたはトラックリストを表示します。アルバム名、曲名を選んで再生する曲を選ぶことができます。

■ ミュージックボックスの再生を設定する

● 全曲再生で再生順を変える

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

メニューを選ぶ

2 全曲再生を選ぶ

3 再生順を選ぶ

録音日順で再生：
録音日時順に全曲を再生します。

アルバム順で再生：
アルバム順に全曲を再生します。

アーティスト順で再生：
アーティスト順に全曲を再生します。

曲名順で再生：
曲名順に全曲を再生します。

発売日順で再生：(※1)
発売年が新しい順に全曲を再生します。

Music Navigator：(※2)
走行シーンにマッチした曲を再生します。
Navigator登場頻度がONの場合は、ランダムにシチュエーションにマッチしたDJのセリフが、曲と曲の間に入ります。

知識

(※1) 同じ年に発売された楽曲は、Music Boxに録音した日が新しい順に再生します。

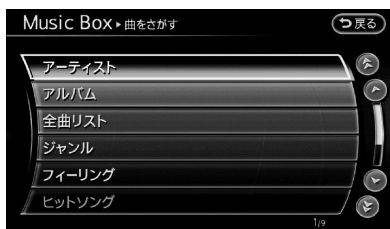
(※2) 自動再生中でも走行時の状況にあった曲が再生されない場合があります。

● 再生方法を選ぶ

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

メニューを選ぶ

2 曲をさがすを選ぶ

3 選曲方法を選ぶ

アーティスト:
アーティストを選んで再生します。

アルバム:
アルバムを選んで再生します。

全曲リスト:
録音されているすべての曲から選曲できます。

ジャンル:
ジャンルを指定して選曲できます。

フィーリング:
明るい曲、いやされる曲、せつない曲、ノリノリな曲の一覧から選曲できます。

ヒットソング:
過去にヒットした曲や今ヒットしている曲を選曲できます。

子供向けの曲:
童謡や子守歌、子供の歌番組で紹介された曲などを選曲できます。

よく聴く曲:
よく聴く曲から順番に再生します。

再生が少ない曲:
再生回数の少ない曲を順番に再生します。

■ プレイモードを切り替える

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

(メニュー)を選ぶ

2 (プレイモード切替)を選ぶ

3 お好みのプレイモードを選ぶ

選曲方法により選べるプレイモードが異なります。

(全リピート)：
全曲を繰り返し再生します。

(1アルバムリピート)：
1アルバムを繰り返し再生します。

(1トラックリピート)：
同じ曲を繰り返し再生します。

(1アルバムランダム)／(1アーティストランダム)：
1アルバムまたは1アーティスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。

(全トラックランダム)：
全曲を自動的に順番を変えて再生します。

(1グループランダム)／(1ジャンルランダム)／(1プレイリストランダム)：
1グループまたは1ジャンルまたは1プレイリスト全曲を自動的に順番を変えて再生します。

曲タイトル情報を取得する

市販の音楽CDを挿入すると、HDD内のタイトル情報データベースを元にタイトル情報を取得します。また、HDD内のデータベースに情報がない場合は、手動で取得することができます。

まれに、実際のタイトルと異なる場合があります。また、新作CDなどの場合、タイトル情報が取得できない場合があります。

■ 取得できるタイトル情報

- アルバムタイトル及び読み
- トラックタイトル及び読み
- アルバムのアーティスト及び読み
- トラックのアーティスト及び読み
- アルバムのジャンル
- トラックのジャンル
- アルバムの発売年

■ タイトル情報を取得するには

HDD内にタイトル情報データがある場合

市販の音楽CDを挿入すると、タイトル情報が表示されます。

HDD内にタイトル情報データがなかった場合

タイトル情報が表示されない場合は、以下の3つの方法でタイトル情報を取得できます。

- **携帯電話を使用してタイトル情報を取得する:**
  一番かんたんにタイトル情報を取得できます。（別途料金がかかります）
- **USBメモリを使用してタイトル情報を取得する:**
  パソコンの使いかたに詳しい方にお勧めです。
- **手動でハードディスクからタイトル情報を更新する:**
  地図更新を行った後に、ご使用していただくと便利です。

■ 携帯電話を使用してタイトル情報を取得する

携帯電話を使用して、インターネットに接続し、タイトル情報を取得します。

アドバイス

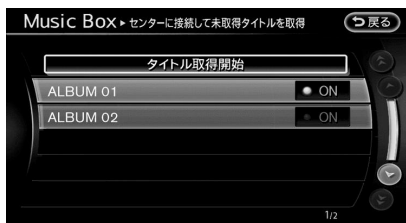
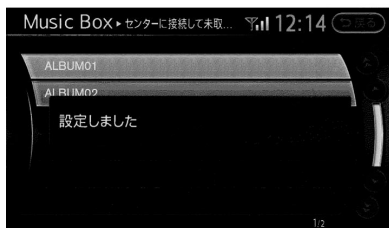
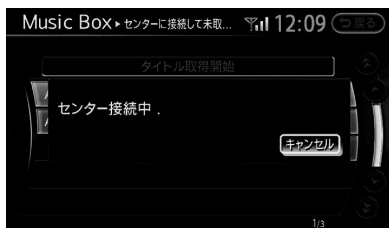
- 携帯電話の通信料金がかかります。また、お使いのプロバイダ利用料金が請求される場合があります。詳しくは、各通信事業者へご確認ください。
- データ通信中は、本機と携帯電話の接続を解除しないでください。

データを取得するには、はじめに本機と携帯電話を接続する必要があります。

携帯電話を接続する…p.33

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

メニュー → 曲情報の編集 → センターに接続して未取得タイトルを取得を選ぶ

2 タイトル未取得のアルバムまたは録音日を選ぶ

3 タイトル取得開始を選ぶ

画面に「設定しました」のメッセージが表示されたら完了です。

■ USBメモリを使用してタイトル情報を取得する

お持ちのパソコンを使用して、タイトル情報を取得します。

まずはUSBメモリとパソコンを使用してタイトル情報を取得する前に以下の準備をします。

● 準備するもの

① **USBメモリ(空き容量2MB以上)**
本機にはUSBメモリが装備に含まれておりません。お客さまご自身でご用意ください。
USBメモリについて…p.295
条件に当てはまらないUSBメモリをご使用した場合、正しく動作しないことがあります。

② **専用ソフト「タイトル情報サーチ」**
お持ちのパソコンを使用して、三菱自動車ホームページにアクセスし、マニュアルとソフトウェアをダウンロードします。

● 手順1：本機から未取得データを転送する

1 車に**USB**メモリを接続する

USBメモリの接続位置…p.125

2 **Music Box** 曲情報画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集 → USBメモリに未取得データを転送を選ぶ

3 タイトル未取得のアルバムを選び、

USBへ転送を選ぶ

データが転送されます。「保存しました」とメッセージが表示されたら、USBメモリへの転送は完了です。USBメモリ内に“export.dat”というファイルができます。

● 手順2：パソコンでタイトル情報を取得する

1 **USB**メモリをパソコンに接続する

未取得データ（export.dat）を取り込んだUSBメモリをお持ちのパソコンに接続します。

2 「タイトル情報サーチ」を使用してデータを取得する

詳しい操作方法については、三菱自動車ホームページのマニュアルをご覧ください。

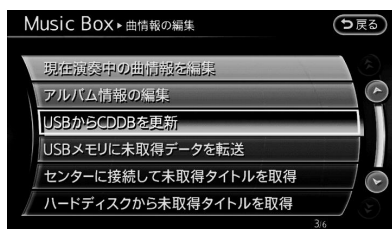
● 手順3：本機のハードディスク内の曲情報を更新する

1 車に**USB**メモリを接続する

USBメモリの接続位置…p.125

2 **Music Box** 曲情報画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集を選ぶ

3 USBからCDDBを更新を選ぶ

データが転送されます。データの転送が完全に終了するまで、USBメモリをコネクタから抜かないでください。

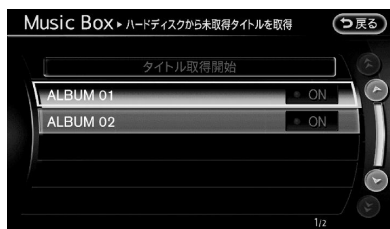
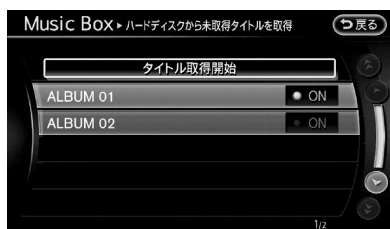
「USBから読み出しが完了しました」とメッセージが表示されたら、タイトル情報の取得は完了です。

■ 手動でハードディスクからタイトル情報を取得する

地図更新を行うと、HDD内のタイトル情報データベースも新しく更新されます。地図更新を行った後に、この機能をご使用いただくと便利です。

1 **Music Box曲情報画面を表示する**

メニュー → 曲情報の編集 → ハードディスクから未取得タイトルを取得を選ぶ

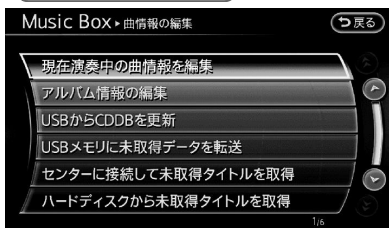
2 タイトル未取得のアルバムまたは録音日を選ぶ

3 タイトル取得開始を選ぶ

HDDのデータベースからタイトル情報の取得を開始します。

ミュージックボックスを使いこなす

曲情報を編集する

■ 演奏中の曲情報を編集する

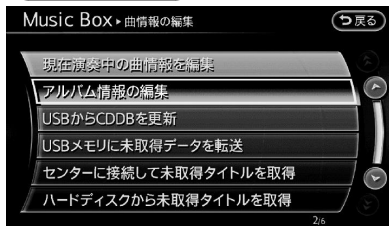
1 **Music Box**曲情報画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集 → 現在演奏中の曲情報を編集を選ぶ

2 編集したい項目を選ぶ

文字／数字の入力のしかた…p.18

■ アルバム情報を編集する

1 **Music Box**曲情報画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集 → アルバム情報の編集を選ぶ

2 編集したいアルバムを選ぶ

3 編集したい項目を選ぶ

文字／数字の入力のしかた…p.18

オーディオ・ビデオ・テレビ

ミュージックボックスの設定をする

1 Music Box曲情報画面を表示する

メニュー を選ぶ

2 Music Box設定 を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

以下の設定をすることができます。

ハードディスクの空き容量を表示する ：

ミュージックボックス容量情報が表示されます。

フィーリングモードの情報を表示する ：

登録されているフィーリングモードの情報を表示します。

全曲自動録音する ：

CDを入れたときに、自動で録音するように設定できます。

音楽を消去する ：

録音した音楽ファイルを消去します。アルバムまたは1曲を選んで消去します。すべての曲を一括で消去することもできます。

録音品質を設定する ：

録音品質を設定します。

録音時のCDDB自動オンライン設定 ：

HDDに収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルの取得をします。

Navigator登場頻度 ：

数曲に1回、ランダムにシチュエーションに応じたDJのセリフが入ります。

CDDBのバージョンを表示する ：

Gracenote データベースのバージョンを表示します。

USBメモリを使う

アドバイス

- 無理な接続や取り外しをすると、USBメモリ本体およびプラグが破損するおそれがあります。プラグの向きにご注意ください。

USBメモリに収録された音楽ファイル、映像データ、写真データを再生することができます。

再生できるフォーマット

- 映像ファイル - DivX、MPEG4（ASF）
- 写真データ - JPEG
- 音楽ファイル - MP3、WMA、MPEG4-AAC

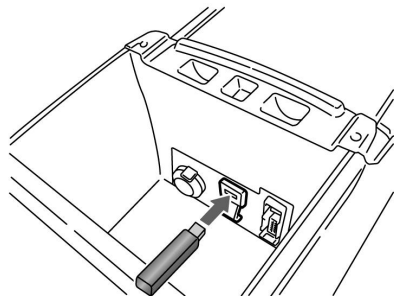
USBメモリは本体に含まれておりません。お客様ご自身でご用意ください。また、USBメモリには一部対応していない機種があります。

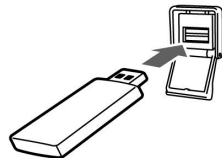
USBメモリについて…p.295

USBメモリの接続位置

アドバイス

- USBメモリを取り外すときにUSB接続口のふたを一緒に引っ張らないでください。
- USBメモリや接続機器が破損する危険があるので、接続中はフロアーコンソールボックス内にできるだけ物を置かないでください。

USBコネクタはフロアーコンソールボックス内にあります。

USBメモリの音楽または映像データの再生をする

1 USBメモリを接続する

USBメモリ内に映像ファイルと音楽ファイルの両方がある場合は、選択画面が表示されます。再生したい方を選び、USBメモリ操作画面を表示します。

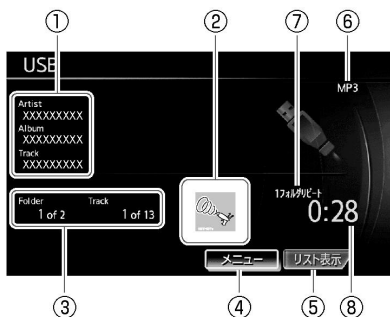
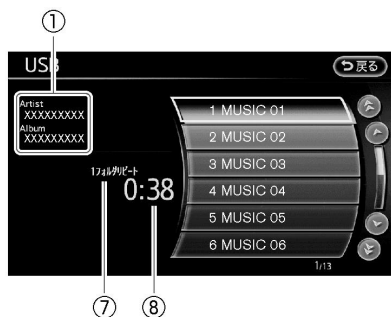
■ USBメモリ操作画面の見かた

スイッチを押すとUSB操作画面に切り替わります。スイッチを押すごとにモード(ソース)が切り替わります。

後席ディスプレイ★で映像ファイルのみ表示することができます。

リヤプライベートシアターシステムを使う★…p.157

● オーディオ操作画面

曲情報画面

トラック選択画面

① **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／曲名を表示します。

② **イメージファイル**
画像ファイルがあるときに表示されます。（MP3のみ）

③ **フォルダ／トラックインデックス**
再生中の曲の入っているフォルダと全フォルダ数を表示します。または再生中の曲と全トラック数を表示します。

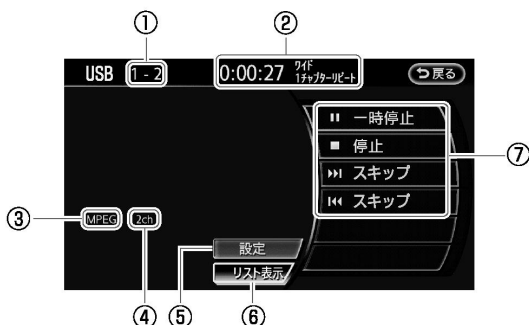
④ メニュー
プレイモードの切り替えをします。

⑤ リスト表示
フォルダリストやファイルリストを表示します。 聞きたい曲やフォルダを選ぶと選んだ曲やフォルダが再生されます。

⑥ **ファイルフォーマット**
再生中のファイルフォーマットが表示されます。（iTunesで作成されたm4aのデータを再生しているときはAACと表示されます。）

⑦ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

⑧ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

● 映像操作画面

① **フォルダ／ファイル番号**

② **再生情報表示**
再生時間、画面サイズ情報、プレイモード情報が表示されます。

③ **音声フォーマット**
音声フォーマットを表示します。

④ **サウンドモード**
ファイルのサウンドモードを表示します。

⑤ （設定）
音声や画質などの設定画面を表示します。

⑥ （リスト表示）
リストを表示します。

⑦ **操作メニュー**
（▶再生）／（II一時停止）
フォルダまたはファイルを再生します。
再生されているときは、再生を一時停止します。再度選ぶと再生を再開します。
（■停止）
再生を停止します。
（▶▶I スキップ）
次のフォルダまたはファイルへ進みます。
長くタッチすると早送りします。
（I◀◀ スキップ）
1回タッチすると、フォルダまたはファイルの最初に戻ります。2回タッチすると、前へ戻ります。長くタッチすると早戻しします。

● リストから映像を選ぶ

アドバイス

- お客様が編集・収録されるDivXフォーマット映像に
  - **視聴回数制限がある場合**
    本機で視聴可能にするには、事前にユーザーアカウントを取得し、本機を再生機器として登録することが必要です。視聴回数制限がかかったDivXファイルをUSBメモリとディスクの両方に保存して、ディスクの挿入およびUSBメモリの接続を行わないでください。視聴回数制限のカウントが正常に行われない場合があります。
  - **視聴回数制限がない（フリーの）場合**
    そのまま本機で視聴できます。

1 映像操作画面を表示して（リスト表示）を選ぶ

2 リストから選ぶ

選んだ映像が再生されます。(※1)

(※1) 視聴回数制限のあるファイルの場合には、最初に残りの使用回数を確認する画面が表示されます。メッセージを確認してご視聴ください。

イメージビューワー★

USBに保存した画像データをディスプレイ画面に表示します。

対応フォーマット ： JPEG（拡張子jpg.、jpeg.）

対応ファイルサイズ：2MB以下

対応サイズ：1536×2048ピクセル以下

- プログレッシブJPEG は表示しません。
- デジカメ等の電子機器でUSBケーブルを使った直接的な接続は使用できません。
- 対応していないフォーマット、サイズのときは画像は表示されません。
- ファイル名が長すぎる場合は省略される場合があります。

■ イメージビューワーを見る★

1 **USB**メモリを接続する

USBメモリの接続位置…p.125

2 設定 スイッチを押す

その他設定 → イメージビューワー を選ぶ

3 フォルダを選ぶ

4 ファイルを選ぶ

選んだ画像が表示されます。
(全画面表示)でイメージビュー画面に切り替わります。

● 全画面表示

① **操作メニュー**

スライドショーを開始します。
設定を(自動で変わらない)にしていると再生は選択できません。

(■)
スライドショーを停止します。

次のファイルへ進みます。

(⏮)
前のファイルへ戻ります。

② **設定**

以下の設定をすることができます。

(次のイメージに変わる時間)
次のイメージに変わる時間を5秒、10秒、30秒、60秒から選択できます。
(自動で変わらない)を選択すると、画像は自動で切り替わりません。

(イメージ表示の順番)
リスト順、ランダムから選択できます

iPodをきく

お使いのiPod®を本機に接続して音楽をきくことができます。

iPod は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

iPodについて

接続可能なiPod、ソフトのバージョンについては、三菱自動車ホームページでご確認ください。

- 動画、静止画表示には対応していません。
- iPodの動作については全てを保証するものではありません。
- iPod nanoをご使用の際、オーディオブックの表示位置にオーディオブックが表示されない場合があります。
- iPodを接続しても操作ができない場合は、iPodを外して時間をおいてから再度接続してください。
- iPodの接続対象機種一覧に記載があっても、ファームウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- iPod内ビデオファイルの再生はできません。
- iPodご使用時の制約事項については、「iPodの制約事項について」をお読みください。

iPodを接続する

アドバイス

- iPodの機種やファームウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- 接続するケーブルが邪魔にならないように整理してください。手や足などにケーブルが引っ掛かり、断線や破損のおそれがあります。

1 iPodを接続する（※1）

iPodのUSBケーブルを接続します。

USBメモリの接続位置…p.125

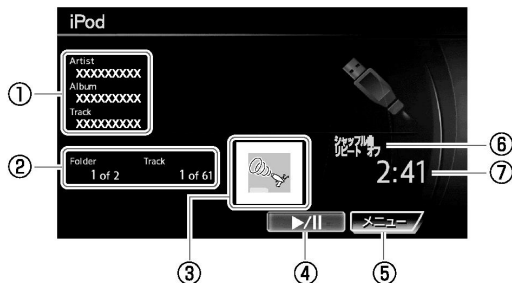
USBケーブルは、装備に含まれておりません。お客さまご自身でご用意ください。

知識

(※1)
- 接続すると、iPodからの操作はできません。
- iPodが正しく接続されるとiPod本体にマークが表示されます。iPodが正しく接続されていないと、マークが点滅します。USBケーブルを差し直してください。
- 本機と接続中、iPodは充電されます。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 接続するiPodの取扱説明書も併せてご覧ください。

iPodをきく

TV・AUX スイッチを押すとiPod操作画面が表示されます。押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。

■ iPod操作画面の見かた

① **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／曲名を表示します。
また、Podcast再生中はアーティスト名の代わりにリリース日を表示します。

② **トラックインデックス**
現在再生中のトラックインデックスと再生曲の含まれる総インデックスを表示します。

③ **イメージファイル**（※1）
画像ファイルがあるとき、表示されます。

④ ▶/II **（再生／一時停止）**
曲を再生または一時停止します。再度選択すると再開します。

⑤ メニュー
再生方法やプレイモードを選ぶことができます。
また、前画面が曲リスト画面のときには、選択すると曲リスト画面に戻ります。

⑥ **プレイモード**
プレイモードを表示します。

⑦ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

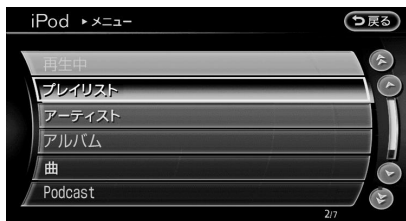
（※1） ジャケット写真に対応した音楽ファイルを再生した場合、iTunesで指定した画像のみが本機に表示されます。

iPodを使いこなす

いろいろな方法で再生します。

1 **iPod**操作画面を表示する

メニューを選ぶ

2 再生方法を選ぶ

再生方法により表示されたリストから曲を選びます。(※1)
以下の再生方法があります。

再生中：再生を開始します。
プレイリスト：プレイリストを表示します。
アーティスト：アーティストリストを表示します。
アルバム：アルバムリストを表示します。
曲：曲名リストを表示します。
Podcast：Podcastリストを表示します。
ジャンル：ジャンルリストを表示します。
作曲者：作曲者リストを表示します。
オーディオブック：オーディオブックリストを表示します。
曲をシャッフル：すべての曲をシャッフルして再生します。
プレイモード切替：プレイモードを切り替えます。

知識

(※1) 曲を選ばないまま2秒以上経過すると、選択されているプレイリスト内の曲を自動的に再生します。

■ プレイモードを切り替える

1 **iPod**操作画面を表示する

メニュー → プレイモード切替を選ぶ

2 好みのプレイモードを選ぶ

シャッフル：曲順を変えて再生します。
オフ／曲／アルバムが選べます。
リピート：曲を繰り返し再生します。
オフ／1曲／すべてが選べます。
オーディオブック：
オーディオブックの再生速度を設定します。やや遅い／標準／やや速いが選べます。

シャッフルとリピートの設定は組み合わせて使用します。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">シャッフル</th></tr>
<tr><th>オフ</th><th>曲</th><th>アルバム</th></tr>
<tr><td rowspan="3">リピート</td><td>オフ</td><td>オフ</td><td>シャッフル</td><td>アルバムシャッフル</td></tr>
<tr><td>1 曲</td><td colspan="3">1 曲リピート</td></tr>
<tr><td>すべて</td><td>全曲リピート</td><td>全曲シャッフルリピート</td><td>全アルバムシャッフルリピート</td></tr>
</table>

Bluetooth®オーディオをきく

Bluetooth®オーディオ機器を初期登録する

車内に別のBluetooth®オーディオ機器がある場合は、電源をOFFにしてください。

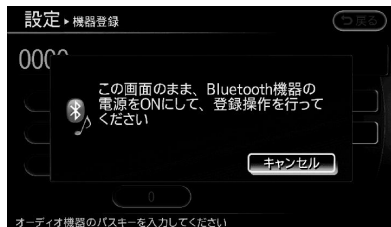
1 設定スイッチを押す

Bluetooth → 機器登録を選ぶ

2 いいえを選ぶ

3 パスキーを入力し、決定を選ぶ(※1)

Bluetooth®オーディオ機器が登録されます。

Bluetooth®オーディオ機器は、Bluetooth®携帯電話機と合わせて5台まで登録することができます。(※2)

上の画面が表示されたらBluetooth®オーディオ機器または携帯電話機で登録操作を行ってください。(※3)

知識

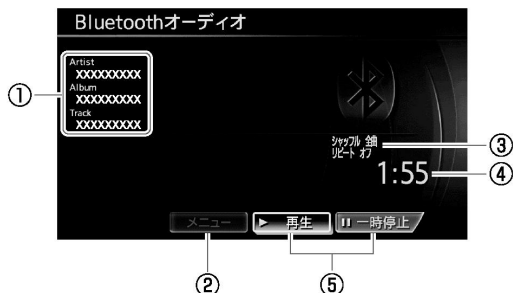
(※1)
- パスキーとは、Bluetooth®オーディオ機器を本機に登録するためのパスワードです。登録機器のパスキーについては、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 入力したパスキーと登録機器のパスキーが異なる場合は、キャンセルを選び、パスキーの変更を行ってください。

(※2)
- すでに5台まで登録してある場合は、登録されているBluetooth®オーディオ機器を1台消去してから登録してください。
- Bluetooth®オーディオ機器を登録すると、自動的に接続するBluetooth®オーディオ機器に設定されます。別の登録機器を使用したい場合は、オーディオ機器の選択を行ってください。

(※3) 操作方法は、Bluetooth®オーディオ機器または携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth®オーディオをきく(※1)

TV・AUXを押すとBluetooth®オーディオ操作画面が表示されます。スイッチを押すごとにモード（ソース）が切り替わります。

■ Bluetooth®オーディオ操作画面の見かた

① **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

② **メニュー**
以下のプレイモードを設定することができます。

シャッフル
自動的に曲順を変えて再生します。オフ、全曲、グループから選ぶことができます。

リピート
曲順に繰り返し再生します。オフ、1曲、全曲、グループから選ぶことができます。

③ **プレイモード**
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

④ **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑤ **操作メニュー**(※2)

▶再生
曲を再生します。
接続するBluetooth®オーディオ機器によっては、再生が開始されるまで、数10秒程度かかることがあります。
曲が再生されているときは、再生を一時停止します。

II一時停止
再生を一時停止します。
再度選ぶと再生を再開します。

知識

(※1) ハンズフリーフォンとして登録された携帯電話のオーディオを使用する場合、携帯電話機で使用するサービスを選択する必要があります。詳しくは携帯電話機の操作手順書を参照ください。

(※2)
- 使用するBluetooth®オーディオ機器の機種によっては、一部の操作メニューが使用できないことがあります。
- 曲送り、曲戻しはSEEK／TRACKスイッチで行います。

Bluetooth®オーディオを使いこなす

Bluetooth®オーディオを活用するために、いろいろな設定をすることができます。

1 設定スイッチを押す

Bluetooth を選ぶ

2 項目を選ぶ

以下の設定をすることができます。

Bluetoothで接続:
Bluetooth®接続のする／しないを設定します。

機器登録:
Bluetooth®オーディオ機器の登録、ユーザー設定をします。

機器の接続切替・編集・消去:
オーディオ機器の選択や名称編集、消去をすることができます。

車載機のBluetooth情報・変更:
車載機のパスキーとデバイス名の変更をします。

■ Bluetooth®接続する/しない(※1)

1 設定スイッチを押す

Bluetooth を選ぶ

2 Bluetoothで接続 を選ぶ

● ON が点灯し、Bluetooth®接続をするように設定されます。

知識

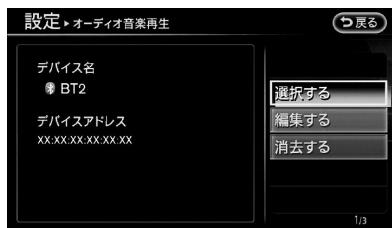
(※1) Bluetooth®接続の設定は、ハンズフリーフォンと共通です。Bluetooth®接続をしない設定にすると、ハンズフリーフォンのBluetooth®接続もできなくなります。

■ 接続するオーディオ機器を切り替える（※1）

1 設定スイッチを押す

Bluetooth → 機器の接続切替・編集・消去 → オーディオ音楽再生を選ぶ

2 機器を選ぶ（※1）

3 選択するを選ぶ（※2）

■ 車載機のBluetooth®情報を見る

1 設定スイッチを押す

Bluetooth → 車載機のBluetooth情報・変更を選ぶ

2 項目を選ぶ

以下の項目を確認、修正することができます。

パスキー：
車載機のパスキーを変更することができます。

デバイス名：
車載機のデバイスの名称を変更することができます。

デバイスアドレス：
車載機のデバイスアドレスを表示します。

知識

(※1) 表示されるリストには、ハンズフリーフォンとして登録した携帯電話機も表示されます。必ずBluetooth®オーディオ機器として登録した機器を選んでください。

(※2) 編集するを選ぶとデバイス名を変更、消去するを選ぶと登録機器を消去できます。

DVDビデオを見る

DVDを再生する

1 ディスクを挿入する

ディスク挿入口はコントロールパネルのオーディオ操作部にあります。

各部の名称と機能…p.12

ディスクを読み込み自動的に再生が始まります。

2 操作画面が表示される

何も操作しないと数秒後に消えます。(※1)

（▲）を押すと、ディスクが排出されます。(※2)

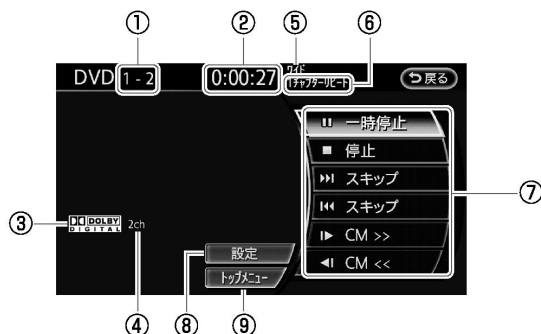
後席ディスプレイ★は専用リモコンで操作します。

リヤプライベートシアターシステムを使う★…p.157

知識

(※1) 再度、操作画面を表示するには DISC スイッチを押すか、再生中に画面を選びます。

(※2) 排出されたディスクをそのままにしておくと、オートリロード機能が働き、ディスクが再び引き込まれます。

■ DVD操作画面の見かた

① **タイトル／チャプター表示（DVD-VIDEO 再生時）**
トラック（VIDEO-CD再生時）
現在再生中のタイトル／チャプター／グループ／トラック番号を表示します。

② **再生時間**
再生の経過時間を表示します。

③ **ディスクの音声フォーマット（記録形式）**
ディスクの音声フォーマットを表示します。

④ **サウンドモード**
ディスクのサウンドモードを表示します。

⑤ **画面設定**
現在の画面設定を表示します。

⑥ **プレイモード**
プレイモードを表示します。

⑦ **操作メニュー**
再生、停止などの操作メニューを表示します。（操作メニューは、ディスクによって異なります。）

⑧ 設定
各種機能の設定画面を表示します。

⑨ トップメニュー
ディスク固有のメニューを表示します。

DVD ビデオを操作する

以下の操作メニューを使って操作します。

(一時停止)：

再生が一時停止します。

一時停止中は(▶再生)に表示が変わります。

(■停止)：

再生が停止します。

停止中は(▶再生)に表示が変わります。

(▶▶|スキップ)：

次のトラック／チャプターに進みます。

長くタッチすると、タッチしている間早送りし、指を離すと再生を始めます。

(|◀◀スキップ)：

1回タッチすると現在のトラック／チャプターの最初に戻ります。

更にタッチすると、タッチした回数だけ前のトラック／チャプターに戻ります。

長くタッチすると、タッチしている間早戻しをし、指を離すと再生を始めます。

(静止画送り)／(静止画戻し)：

タッチした回数だけ、静止画送りまたは静止画戻しをします。

(|▶CM>>)／(◀|CM<<)：

タッチするごとに設定した間隔でジャンプします。 15秒、30秒、60秒から設定します。

(トップメニュー)：

画面にメニューが表示されます。

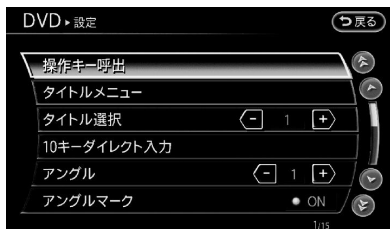
DVDビデオを使いこなす

DVDプレーヤーには音声言語や字幕言語を切り替える機能や、字幕の有無を設定できる機能などがあります。

1 操作画面を表示する

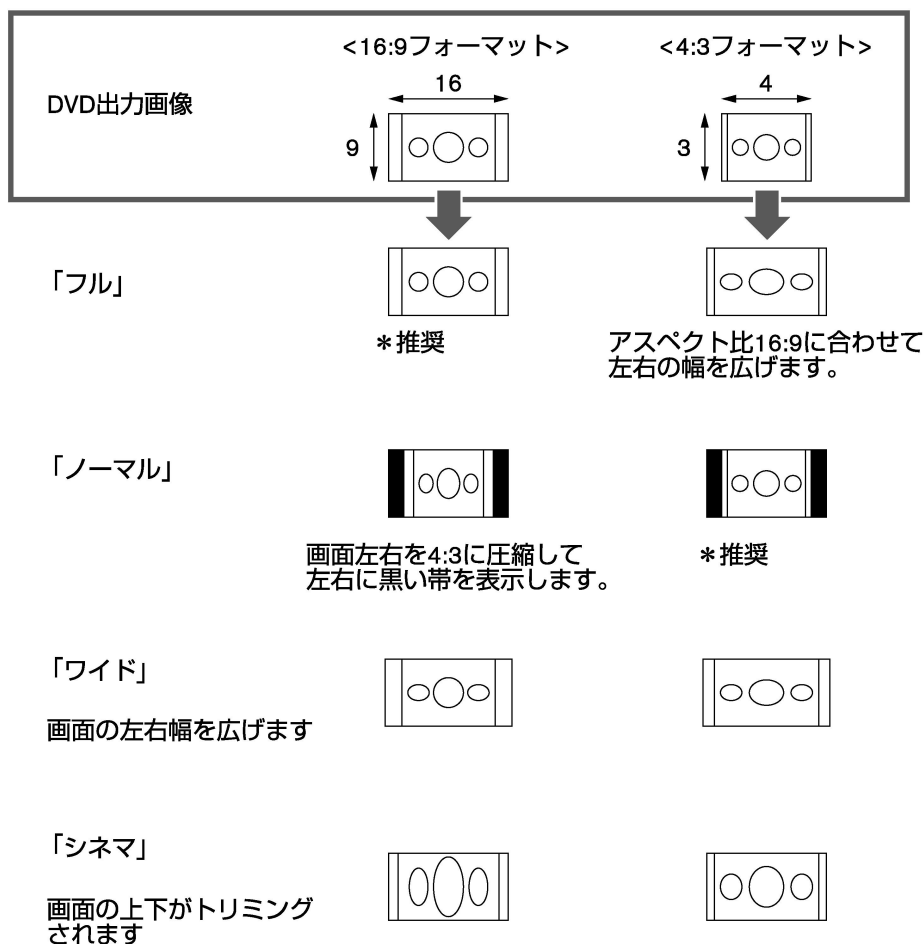
(設定)を選ぶ

2 項目を選ぶ

テレビ・ビデオ・オーディオ

以下の項目を設定することができます。

設定項目	設定内容	適用ディスク
操作キー呼出	画面にメニューを操作するための操作キーを表示します。	DVD-VIDEO VIDEO CD2.0
タイトルメニュー	ディスクに収められている各タイトルのメニューが表示されます。	DVD-VIDEO
タイトル選択	タイトルを選ぶことができます。	DVD-VIDEO DVD-VR
10キーダイレクト入力	見たいグループ／トラック、タイトル／チャプターを指定して再生することができます。（※ DivXの場合は、フォルダ／ファイルを指定します。）	VIDEO CD2.0 のみ非表示
サラウンド情報★	サラウンド情報が表示されます。	DVD-VIDEO dts-CD
アングル	カメラアングルが複数収録されているディスクの場合に別のカメラアングルに切り替えることができます。	DVD-VIDEO
アングルマーク	全画面で映像表示中にアングル操作が可能になったことを知らせるアイコンが表示されます。表示のON/OFFを選ぶことができます。	DVD-VIDEO
メニュースキップ	DVDメニュー（ソフト固有のメニュー）を自動選択することで、選択操作をしなくても本編を再生するように設定できます。（自動選択には5秒ほどかかります。）	DVD-VIDEO
CMスキップ	CMスキップの秒数を設定できます。	DVD-VIDEO
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミックレンジコントロール機能（DRC）のON/OFFを設定できます。	DVD-VIDEO DVD-VR
DOWN MIX★	DOWN MIX機能のON/OFFを設定できます。	DVD-VIDEO dts-CD
ソフトメニュー言語	DVDメニューのトップメニューを表示する言語を切り替えることができます。	DVD-VIDEO
画質調整	明るさ、コントラストなどの画質調整ができます。	すべてのディスク
音声	DVDディスクに収録されている音声を切り替えることができます。	すべてのディスク

設定項目	設定内容	適用ディスク
字幕	DVDディスクに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。	VIDEO CD2.0/1.1のみ非表示
画面設定	ワイド、フル、ノーマル、シネマから選びます。	すべてのディスク
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。	VIDEO CD2.0 のみ 非表示
タイトルリスト	タイトルリストを表示します。	DVD-VR
セレクトNo	VIDEO-CD 2.0のメニュー（セレクション）を指定して再生することができます。	VIDEO CD2.0
PG/PLモード切替	DVD-VRの優先再生モードの設定を切り替える機能です。 ※ PG/PL（プログラム/プレイリスト）	DVD-VR

■ 画面の縦横比について

画面の縦横比率をアスペクト比といいます。家庭用テレビのアスペクト比は、一般的な4:3（1.33:1）とワイドTVの16:9（1.78:1）の2つの規格が存在します。また、DVD（DVD-VIDEO）側に記録されている映像も4:3フォーマットのものと16:9フォーマットのものがあります。そこで、DVD（DVD-VIDEO）では、映像のアスペクト比（画面の縦横比率）を、モニター側のアスペクト比に合わせる処理が行われます。（16:9フォーマットの映像の左右をトリミングしたものを「パン&スキャン」といいます。）

本機では、16:9フォーマットのソフトを利用するときは「フル」、4:3フォーマットのソフトを利用するときは、基本的に「ノーマル」を選択してください。また、お好みに合わせて「ワイド」、「シネマ」を選択することもできます。

DivXファイルを再生する

CD±R/RW、DVD-R/RWに記録されたDivX ファイルを再生できます。

- **視聴回数制限があるデータの場合**

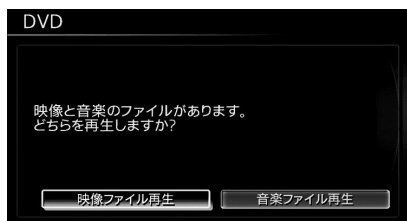
  事前にユーザーアカウントを取得し、再生機器として本機の登録が必要です。視聴回数制限がかかったDivXファイルをUSBメモリとディスクの両方に保存して、同時にディスクの挿入とUSBメモリの接続を行わないでください。視聴回数制限のカウントが正常に行われない場合があります。
- **視聴回数制限がない（フリー）データの場合**

  そのまま本機で視聴できます。

1 ディスクを挿入する

DVDディスクの挿入口はCD挿入口と同じです。

各部の名称と機能…p.12

2 ファイルを選ぶ(※1)

3 フォルダまたはファイルを選ぶ

選んだデータが再生されます。(※2)

知識

(※1)
- 再生後にファイルを切り替える場合は、操作画面の(メニュー)／(リスト表示)／(設定)のいずれかを選んで切り替えます。
- ディスクに映像ファイルか音楽ファイルのどちらかしかない場合には、手順2の画面は表示されずに手順3のフォルダまたはファイル選択画面が表示されます。

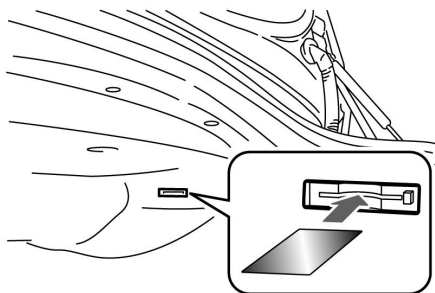
(※2) 視聴回数制限のあるファイルの場合は、最初に残り使用回数を確認する画面が表示されます。メッセージを確認して視聴してください。

テレビを見る

⚠ 注意

- 安全のため走行中に地上デジタルテレビ画面は映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、「画像は停車中にお楽しみください」と表示され、音声のみとなります。

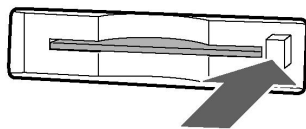
B-CAS カード挿入口の位置

B-CAS カード挿入口の位置はトランク内右側上部にあります。

B-CASカードの入れかた／取り出しかた

エンジンスイッチをOFFにしてから抜き差ししてください。使用中に抜き差しすると視聴できなくなります。

B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからB-CASカードテストを行ってください。

1 **B-CAS**カードを向きに注意して“カチッ”と音がするまで差し込む

2 イジェクトボタンを押す

B-CASカードを取り出します。

テレビ画面を表示する

TV・AUX スイッチを押すとテレビ操作画面が表示されます。(※1)

TV・AUX スイッチを押すごとにTV1→TV2→iPod/USB→Bluetooth®オーディオと切り替わります。また、後席ディスプレイ★は専用リモコンで操作します。

リヤプライベートシアターシステムを使う★…p.157

■ テレビ操作画面の見かた

① **現在のテレビモード**
TV1（自宅エリア）またはTV2（おでかけエリア）のどちらかが表示されます。

② **選局チャンネル**
現在受信中のチャンネルが表示されます。

③ **チャンネルリスト**
プリセットリストに登録されたチャンネルが表示されます。
放送局名がない場合は、3桁のチャンネル番号を表示します。

④ **放送メッセージ消去**
放送メッセージが表示されるとこのスイッチが表示されます。確認した後はこのスイッチで消去することができます。（緊急メッセージなど、消去できないメッセージでは表示されません。）

⑤ **メニュー**
テレビ番組を見るためのメニューと設定メニューを表示します。

⑥ **受信感度バー**
受信状態を表示します。
アンテナ3本：強い
アンテナ1本：弱い
アンテナ0本：受信できません。

(※1) 初めて地上デジタルテレビを見るときは、「自宅のエリア、郵便番号の設定をしてください」というメッセージ画面が表示されます。設定を選んで、受信チャンネルの設定を行ってください。

受信チャンネルを設定する…p.147

■ チャンネルを選ぶ

1 TV・AUX スイッチを押す

テレビ操作画面が表示されます。

2 見たいチャンネルを選ぶ

選んだチャンネルが表示されます。

緊急警報放送（EWS）について

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

本機能は、地上デジタル放送視聴時のみの機能です。視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り替わります。緊急警報放送終了後、90秒で自動的に元のチャンネルに戻ります。

■ テレビのメニュー画面の見かた

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー を選ぶ

2 項目を選ぶ

以下の操作をすることができます。

オートプリセット：
現在地付近の放送局を自動登録します。

系列局サーチ：
走行エリア付近の放送局の系列局を自動的にサーチします。

番組表：
番組表を表示します。

データ放送操作キー呼出：
データ放送の操作キーを表示します。

番組内容：
番組の詳しい内容を表示します。

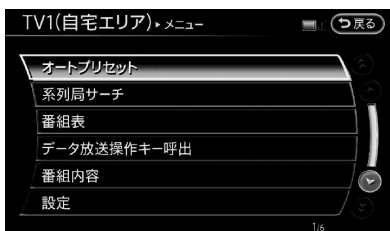
設定：
受信チャンネルやメールの設定また音声、画質などの設定をします。

■ オートプリセット

現在地で受信可能な放送局を自動的に取得します。TV1、TV2に12局ずつ、最大24局まで自動的に登録されます。

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー を選ぶ

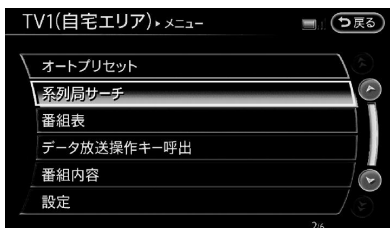
2 オートプリセット を選ぶ

放送局を自動で探します。

■ 系列局をサーチする

受信している放送局のエリア圏外に入ったときなどに、走行エリア付近の系列局を探します。

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー を選ぶ

2 系列局サーチ を選ぶ

系列局を探します。

受信チャンネルを設定する

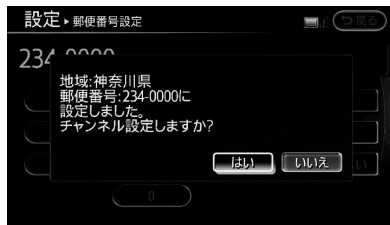
■ 自宅エリアを設定する

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 設定 →
自宅エリア、郵便番号設定（TV1） を選ぶ

2 自宅地域を選ぶ

3 郵便番号を入力し、決定 を選ぶ

4 メッセージが表示されたら はい を選ぶ

自宅エリアのチャンネル設定が登録されます。

オーディオ・ビデオ・テレビ

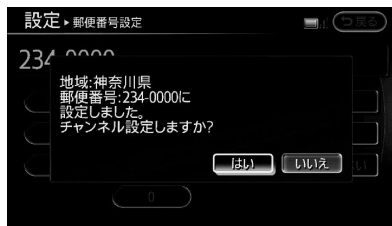
■ おでかけエリアを設定する

1 TV・AUXスイッチを押す

メニュー → 設定 → おでかけエリア、郵便番号設定（TV2）を選ぶ

2 お出かけ先の地域を選ぶ

3 郵便番号を入力し、決定を選ぶ

4 メッセージが表示されたらはいを選ぶ

お出かけ先のチャンネル設定が登録されます。

テレビを使いこなす

■ 1セグと地デジ放送を切り替える

1 TV・AUXスイッチを押す

メニュー → 設定 → 1セグ/地デジ切替を選ぶ

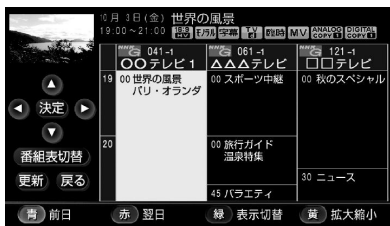
2 ◀または▶を選んで項目を切り替える

再度1セグ／地デジ切替を選ぶと設定が確定されます。

■ 番組表を表示する

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 番組表 を選ぶ

2 項目を選ぶ

● 番組表の見かた

① **現在受信している番組**

② 決定

選択した項目を決定します。

③ ◀ ▼ ▶ ▲

カーソルを上下左右に移動して、項目を選択します。

④ 番組表切替

1セグと地上デジタル放送の番組表を切り替えます。（1セグ／地デジ切替が自動に設定されている場合のみ、切替操作できます。）

⑤ 更新

番組表を更新します。

⑥ 戻る

前画面に戻ります。

⑦ **選択している番組**

⑧ **番組表**

⑨ 青

前日の番組表を表示します。

赤

翌日の番組表を表示します。

緑

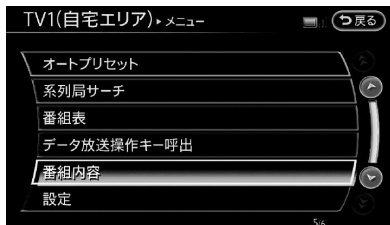
全ての番組表表示と主要な番組表表示とを切り替えます。

黄

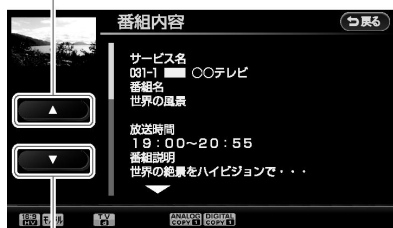
番組表を拡大または縮小します。（4段階）

■ 番組の詳しい内容を見る

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 番組内容 を選ぶ

1セグ受信中は番組内容やデータ放送の視聴はできません。

● 番組内容画面

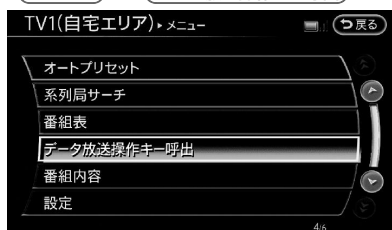
上方向に表示をスクロールします。

下方向に表示をスクロールします。

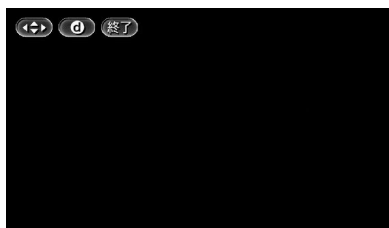
■ データ放送を見る(※1)

データ放送のある番組からはいろいろな情報を見ることができます。アイコンが表示された番組にはデータ放送があります。

アイコン一覧…p.156

1 TV・AUX スイッチを押す

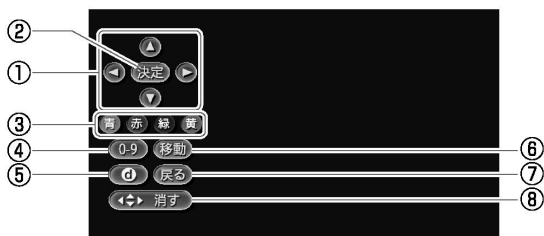
メニュー → データ放送操作キー呼出 を選ぶ

2 操作キーを選ぶ

（◁▷）：
データ放送操作画面を表示します。

（d）：
データ放送に切り替わります。(※1)情報量が多いときは、表示に時間がかかります。

終了：
通常のデジタル放送に戻ります。

知識

(※1) チャンネル切り替え直後は、データ放送に切り替わらない場合があります。画面下に「データ取得中」とメッセージが表示された後にもう一度を選んでください。

● データ放送操作画面の見かた

① ◀ ▼ ▶ ▲
カーソルを上下左右に移動します。

② 決定
選択した項目を決定します。

③ 青、赤、緑、黄
データ放送のコンテンツに依存した動作をします。

④ 0-9
10キー入力の操作キーが表示されます。

⑤ d
データ放送を終了します。

⑥ 移動
操作キーの表示位置を左右に移動させます。

⑦ 戻る
データ放送のコンテンツに依存します。

⑧ ◀◆▶消す
操作キーを元の表示に戻します。

■ 各種機能の設定をする

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 設定 を選ぶ

2 項目を選ぶ

以下の項目を設定することができます。(※1)

1セグ／地デジ切替：
1セグ固定／地デジ固定／自動切替を設定します。

音声：
日本語／英語など言語を切り替えます。

主・副：
主音声と副音声を切り替えます。

字幕：
字幕言語を切り替えます。

イベントリレー：
視聴している番組のイベントリレーを設定します。

画質調整：
画面の明るさやコントラストなど、画質の調整をします。
チャンネル番号入力：
3桁チャンネル番号を入力して、選局できます。
自宅エリア、郵便番号設定（TV1）：
自宅周辺の受信チャンネルを設定します。
おでかけエリア、郵便番号設定（TV2）：
旅行先など、お出かけになる地域の受信チャンネルを設定します。
放送メール：
放送局からのお知らせや情報を見ることができます。
B-CASカード情報：
B-CASカードの情報を見ることができます。
設定情報初期化：
設定した情報を消去し、設定を初期設定の状態に戻します。

(※1) 自宅エリア、郵便番号設定（TV1）、おでかけエリア、郵便番号設定（TV2）を除き、TV1、TV2とも共通の設定となります。

■ 音声と字幕の設定をする

1 TV・AUXスイッチを押す

メニュー → 設定を選ぶ

2 音声／主・副／字幕を選ぶ

3 ◀または▶を選んで項目を切り替える

以下から選び、再度1セグ／地デジ切替を選ぶと設定が確定されます。
音声：
日本語／英語／その他の対応言語に音声を切り替えます。
主・副：
主・副／主音声／副音声を切り替えます。
字幕：
非表示／第一言語／第二言語から字幕を切り替えます。

オーディオ・ビデオ・テレビ

■ イベントリレーを設定する

同じ番組内容でチャンネルが別のチャンネルへ移行する場合、チャンネルを移行先のチャンネルへ自動で切り替え、番組の視聴を継続できます。

1 TV・AUXスイッチを押す

メニュー → 設定→を選ぶ

2 イベントリレーを選ぶ

● ON が点灯し、イベントリレーが設定されます

■ 画質の調整をする

1 TV・AUXスイッチを押す

メニュー → 設定 → 画質調整を選ぶ

2 調節したい項目を選ぶ

以下の画質調整をすることができます。

画面消し：
画面表示のON/OFFを切り替えます。

明るさ：
画面の明るさを調整します。

コントラスト：
画面のコントラストを調整します。

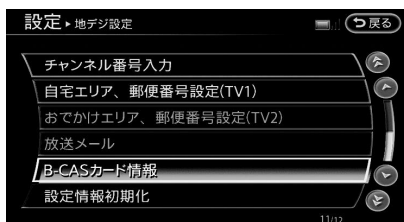
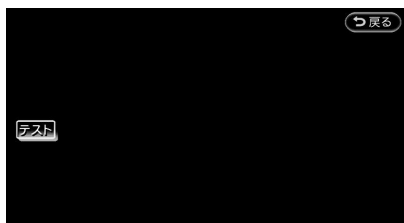
黒レベル：
画面の黒レベルを調整します。

■ B-CAS カードの情報を見る

B-CASカードのナンバーなど、情報を見たり、B-CASカードのテ ストをしたりできます。(※1)

1 TV・AUXスイッチを押す

メニュー → データ放送操作キー呼出を選ぶ

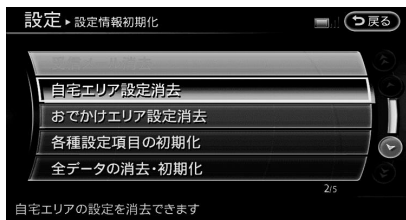
2 B-CAS カード情報を選ぶ

3 テストを選ぶ

テストの結果が表示されま す。

(※1) カードナンバーが表示されない場合は、B-CASカードの挿入状態を確認してください。

■ 設定を初期化する

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 設定 → 設定情報初期化を選ぶ

2 消去したい設定を選ぶ

受信メール消去：
放送メールを消去します。

自宅エリア設定消去：
自宅エリアの設定を消去します。

おでかけエリア設定消去：
おでかけエリアの設定を消去します。

各種設定項目の初期化：
音声、字幕などの各種設定を初期化します。

全データの消去・初期化：
全データを消去し、設定を初期状態にします。

■ アイコン一覧

- 本機はアイコンによって、表示画面の情報をお知らせします。
  アイコンは番組内容の表示であり、「デジタル1COPY」など本機の機能と関連のないものもあります。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

● 番組内容画面

アイコン	内容
TV	テレビ放送（映像＋音声）の番組。
データ	データ放送の番組。
1 SEG	1セグ放送の番組。
地デジ DIGITAL	地上デジタル放送の番組。
TV +d	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
TV d	番組とは別のデータ放送を行っている番組。
モノラル	モノラル音声の番組。
2カ国	2カ国語放送の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。
DIGITAL 出力 ☒	デジタル出力していない番組。
字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組。
DIGITAL COPY ☒	デジタルコピーガードが、かかっている番組。（デジタルで録画できません）
ANALOG 出力 ☒	アナログ出力していない番組。
臨時	臨時放送時に表示されます。
ANALOG COPY ☒	アナログコピーガードが、かかっている番組。（アナログで録画できません）
DIGITAL COPY 1	1回のみデジタルコピーが可能な番組。（録画後、ダビングできません）
16:9 HV	ワイド画面のハイビジョン放送の番組
4:3 HV	ノーマル画面のハイビジョン放送の番組。
16:9 SD	ワイド画面の通常放送の番組。
4:3 SD	ノーマル画面の通常放送の番組。
AUTO	1セグ／地デジ切替の設定が自動の場合に表示されます。
EWS	緊急警報放送（EWS）時に表示されます。

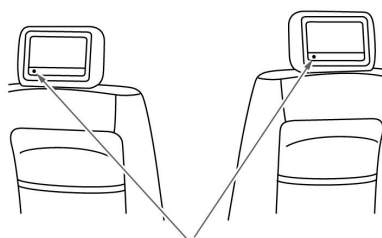
リヤプライベートシアターシステムを使う★

アドバイス

- 使用後はリモコンやヘッドフォンをヘッドフォン袋に入れるなどして邪魔にならない場所に格納してください。
- 故障の原因になりますので、リモコンやヘッドフォンを濡らさないでください。

テレビ・オーディオ

ヘッドレスト一体型ディスプレイ

前席のヘッドレスト背面に設置されたディスプレイでテレビ、DVD、USB映像データを表示します。(※1)

専用リモコンで後席操作を行います。

後席操作を行うときは、専用リモコンの発光部を後席ディスプレイ付近にある受光部に向けてスイッチを押して操作します。

前席、左右後席ディスプレイで違うメディアを見るときには専用ヘッドフォンで音声をきくことができます。

(※1) 後席ディスプレイではナビ画面表示はできません。

■ リモコンの使い方

後席ディスプレイの操作は、付属のリモコンで行います。

① **リモコン発光部**
後席ディスプレイの受光部に向けてスイッチを押します。

② **電源**(左席モニター)
左席ディスプレイ電源をON/OFFします。

③ 外部入力 (左席モニター)
左席ディスプレイの映像ソースを切り替えるときに使います。

④ 設定 (左席モニター)
左席ディスプレイの明るさや色合いなどを変更します。

⑤ DVD
前席、左右両席同時にDVD画面に切り替えます。(※1)

⑥ **セレクトスイッチ**◀ ▼▶ ▲
設定画面の各項目を選択します。

⑦ TV
前席、左右両席同時にテレビ画面に切り替えます。(※1)

⑧ **受信切替** 12/1セグ切替
押すごとに、地上デジタル放送→1セグ放送→AUTOに切り替わります。
前席、左右両席同時にテレビ画面に切り替えます。(※1)

⑨ 番組表
番組表を表示します。

⑩ **スピーカー音量** ∧ VOL ∨
車内のスピーカーの音量を調整します。

⑪ **トラック/チャンネル** ∧TRACK CH∨
テレビ画面のときは、短く押すとチャンネルを切り替えます。長く押すと放送局をサーチします。
DVD再生のときは、短く押すとチャプターを切り替えます。長く押すと早送り／早戻しをします。
USB画面のときは、短く押すと動画ファイルを切り替えます。長く押すと早送り／早戻しをします。

⑫ **電源** (右席モニター)
右席ディスプレイ電源をON/OFFします。

⑬ 設定 (右席モニター)
右席ディスプレイの明るさや色合いなどを変更します。

⑭ 外部入力 (右席モニター)
右席ディスプレイの映像ソースを切り替えるときに使います。

⑮ USB
前席、左右両席同時にUSB画面に切り替えます。(※1)
後席はビデオファイル再生時のみ画面が切り替わります。

⑯ 戻る
設定中の各画面で、一つ前の画面に戻ります。

⑰ 決定
各項目の設定を決定します。

⑱ **データ放送** d
データ放送画面を表示します。

⑲ **カラーボタン** 青 赤 緑 黄
テレビ画面上で指示が出たときに使います。

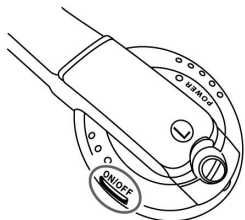
⑳ A〜F
テレビ画面のときは、登録されているテレビのチャンネルに切り替えます。
DVD/USB再生のときは、各スイッチに割り当てられた機能を実行します。

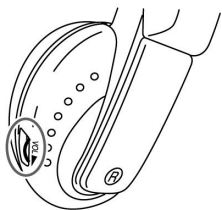
㉑ 音声
DVDソフト、地上デジタル放送、USBの動画ファイルの音声言語を切り替えます。
テレビ画面上で指示が出たときに使います。

㉒ メモリ **AUTO**
長押しすると、受信可能なテレビチャンネルを自動で登録します。

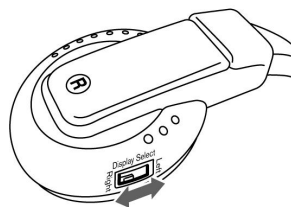
(※1) 後席がAUXモードになっている場合にはテレビ、DVD、USBビデオファイル画面には切り替りません。

■ ヘッドフォンの使い方

電源をON/OFFする

- 電源スイッチは、L側のヘッドフォンにあります。
- 電源をONにするとヘッドフォンの電源ランプが点灯し、ヘッドフォンから音声が流れます。
- ディスプレイがオフの時はヘッドフォンも自動的に電源オフになります。
- 長時間連続で使用すると(約4時間)自動的にヘッドフォンの電源がオフになります。一度ヘッドフォンの電源をOFFし、再度ONしてください。

音量を調整する

- R側のヘッドフォンに音量調整用のダイヤルがあります。
- ダイヤルを回して調整します。

音声チャンネルを切り替える

左右のディスプレイがそれぞれ違う画面を表示しているときに、どちら側の音声をきくかを設定します。

- R側ヘッドフォンの切り替えスイッチで切り替えます。

■ 電池の交換をする

⚠ 注意

- **電池の＋、－の向きを間違えたり、新しい乾電池と消耗した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用したりすると、液漏れや破損により火災やけがの原因になることがあります。**
- **電池は幼児の手の届かないところにおいてください。また、万が一飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。**

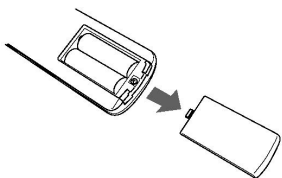
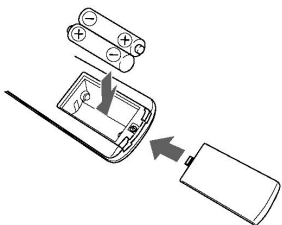
アドバイス

- 液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 付属の電池は充電できません。
- 電池の＋－極が汗や油などで汚れていると、接触不良などを起こす原因になります。乾いた布などで汚れをふき取ってからご使用ください。

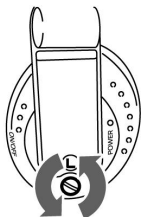
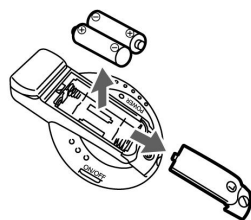
テレビ・オーディオ

● リモコンの電池を交換する

単3乾電池を2本使用します。

1 リモコンのふたを開けて、古い乾電池を取り出す

2 乾電池の＋、－の向きを確認して、正しくセットする。乾電池を入れたら、ふたを閉める

● ヘッドフォンの電池を交換する

単4乾電池を2本使用します。

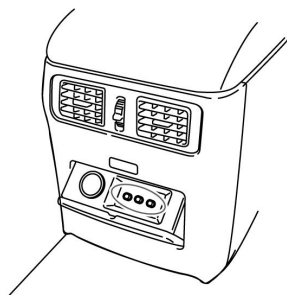
1 マイナスドライバーなどでヘッドフォンの**L**側のネジを外す

2 ふたを外し古い乾電池を取り出す

3 乾電池の＋、－の向きを確認して、正しくセットする。乾電池を入れたら、ふたを閉める

4 ネジを締める

■ 後席用AUX（外部機器）の接続口

- 外部機器の接続を行うときは、あらかじめオーディオの電源をOFFにしておきます。また、接続する外部機器の電源も切っておきます。
- ピンジャックは同じ色の入力端子に接続します。画像や音声がうまく出ない場合は接続を確認してください。

後席用AUX（外部機器）の接続口は、フロアーコンソールボックスの背面にあります。

後席ディスプレイのみ外部入力端子から接続したソースを再生することが可能です。

■ 後席ディスプレイを操作する

⚠ 注意

- ディスプレイのガラス部分を押したり、物をぶつけたりしないでください。思わぬけがや故障の原因となります。

● 後席ディスプレイをON/OFFする

リモコンでの操作

1 表示したい側のディスプレイ電源を**ON**にする。

前席でテレビ、DVDまたはUSB映像再生中に、ディスプレイをONにすると前席と同じ映像ソースが再生されます。

コントロールパネルでの操作

1 設定 スイッチを押す

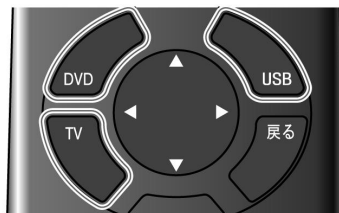
後席 → 後席ディスプレイ を選ぶ

2 表示したいディスプレイを選ぶ。

● ON 点灯：点灯している側の電源がオンになります。

● ON 消灯：消灯してる側の電源がオフになります。

● 映像ソース(モード)を切り替える

1 リモコンの TV 、 DVD または USB を押す

前席、左右後席のディスプレイが同時に指定したソースに切り替わります。(※1)

テレビ・オーディオ

● 前席のみ映像画面以外の画面に切り替える

1 テレビ、**DVD**または**USB**映像ファイル表示中に、コントロールパネル上の TV・AUX または DISC を押す

前席が再生したいソースに切り替わります。

後席でテレビ、DVDまたはUSB映像ファイルを再生したまま、前席のみラジオやCD、USB(音声のみ)、Bluetooth Audio、Music boxに切り替えることができます。

● 後席でAUX（外部機器）を表示する

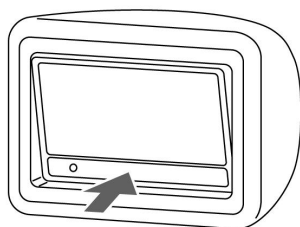
1 リモコンで切り替えたいディスプレイ側の 外部入力 を押す

選択したディスプレイでAUX（外部機器）再生に切り替わります。

AUX（外部機器）再生中は、リモコンの TV / USB / DVD ボタンを押しても再生は切り替わりません。外部入力 を押して、AUX（外部機器）表示をOFFにしてからテレビ、DVDまたはUSBを再生してください。

知識

(※1) USBメモリに映像データがない場合には後席で再生はできません。
前席は外部入力したメディアを再生することはできません。後席は左右どちらも音声ののデータ、ナビゲーション画面を表示することはできません。

● 後席ディスプレイの角度を調節する

矢印部分を軽く押すことにより、角度の調節ができます。いっぱいまで押すと調節が解除されて元の位置まで戻ります。

後席でテレビを見る

■ テレビ画面の操作

● 画面メニューを操作する

1 TV スイッチを押す

2 ◀ ▶を押して項目を選び、決定 スイッチを押す

3

次の項目を設定することができます。

番組表	番組表を表示します。
データ放送	データ放送画面を表示します。
番組内容	番組内容画面を表示します。
音声	日本語／英語／その他の対応言語に音声を切り替えます。
字幕	非表示／第一言語／第二言語から字幕を切り替えます。
主・副	主・副／主音声／副音声を切り替えます。
系列局サーチ	走行エリア付近の系列局を探します。
CH番号入力	チャンネル番号を入力することができます。
数字入力	データ放送画面を表示中に数字の入力をすることができます。

■ チャンネルを変更する

1 TV→A～F スイッチを押す

- TV操作メニュー表示中、リモコンのTVを押すたびに、TV1画面とTV2画面が切り替わります。
- セレクトスイッチの▼を押して、カーソル<<または>>の出ている方向へ画面をスクロールすると、A～Fに登録されているチャンネルが切り替わります。

■ チャンネルを登録する

● 手動で登録する（マニュアルプリセット）

1 TVスイッチを押してエリアを選ぶ

テレビ・オーディオ

2 チャンネルを選ぶ

3 A〜Fスイッチを長押しする

「ピッ」と音が鳴り、チャンネルが登録されます。

● **自動で登録する（オートプリセット）**(※1)

1 TVスイッチを押してエリアを選ぶ

2 メモリスイッチを長押しする

「ピッ」という音が鳴ると、自動登録が開始します。自動登録が終了すると、操作画面が表示されます。

知識

(※1) 電波の強い放送局を順に登録します。TV1 ・TV2 に12局ずつ、最大24局まで自動的に登録されます。

後席で映像を見る（DVD/USB）

■ 映像画面の操作

1 DVDまたはUSBスイッチを押す

2 項目を選ぶ(※1)

画面上部の項目は、リモコンの◀ ▶を押して選び、決定を押します。

DVDメニュー	DVDソフト固有のメニューが表示されます。詳細については、各ソフトをご覧ください。
タイトルメニュー	ディスクに収められている各タイトルのメニューが表示されます。詳細については、各ソフトをご覧ください。
音声	DVDディスクに収録されている音声を切り替えることができます。
字幕	DVDディスクに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。
サラウンド情報	サラウンド情報が表示されます。

アングル	カメラアングルが複数収録されているディスクの場合に別のカメラアングルに切り替えることができます。
タイトル選択	タイトルを選ぶことができます。
10キー入力	見たいグループ／トラック、タイトル／チャプターを指定して再生することができます。
Select No.	VIDEO-CD 2.0のメニュー（セレクション） を指定して再生することができます。

画面下部の項目は、左上のアルファベットに対応したリモコンのA～Fを押します。

一時停止／再生	停止中は再生を開始します。再生中は、一時停止します。もう一度押すと一時停止を解除します。
停止	停止します。
スキップ+	チャプターやトラックを送ります。
スキップ−	チャプターやトラックを戻します。
CM+／CM−	押した回数ごとに前席で設定した間隔でジャンプします。

フォルダ+	ファイルやフォルダを送ります。
フォルダ−	ファイルやフォルダを戻します。

(※1) 表示される操作項目は、再生されるメディアやデータによって異なります。

画質を調整する

1 設定スイッチを押す

2 設定したい項目を▽△で選ぶ

以下の項目を設定することができます。

画面モード	画面サイズをノーマル／ワイド／シネマ／フルに切り替えます。(※1)
ピクチャーモード	ピクチャーモード設定画面を表示します。 ピクチャーモードは、ノーマル／ダイナミック／シネマ／ゲームの4モードから設定します。 また、それぞれのモードごとに、明るさ／色合い／色の濃さ／コントラスト／黒レベルを調整できます。(※2)
カラーシステム	AUTO/NTSC/PAL/PAL60/PAL-Mに切り替えます。
3次元Y/C	ONにすると画面のにじみやチラつきを低減します。
AUX音量レベル設定★	AUXを選択している時にのみ、AUX音量レベルを大/中/小から選べます。(※3)

知識

(※1) テレビ表示時には自動的にフルが選択されます。

(※2) 明るさをオートに設定すると、周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に変化します。
各項目の設定を変更すると“初期化”が白く表示され、選択、決定を押すと初期の設定値に戻ります。

(※3) テレビ/DVD/USB再生時と違和感が無い音量を選択してください。

車両情報

燃費情報を見る

航続可能距離、平均燃費、瞬間燃費を確認できます。平均燃費は履歴も確認できます。

アドバイス

- 航続可能な距離が十分であっても、燃料計が空量に近かったり、燃料残量警告が点灯した場合には、すみやかに燃料を補給してください。

1 情報・W スイッチを押す

車両情報 を選ぶ

2 燃費情報 を選ぶ

燃費情報画面が表示されます。

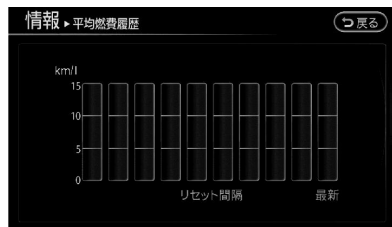
燃費情報画面

① **航続可能距離**
現在の燃料残量と平均燃費から航続可能な距離を表示します。

② **平均燃費**
リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費を表示します。

③ **瞬間燃費**
走行を開始してからの瞬間燃費を表示します。

④ 平均燃費リセット
表示されている平均燃費をリセットします。リセットすると、平均燃費履歴に保存されます。

⑤ 平均燃費履歴
平均燃費履歴画面を表示します。過去10回分の平均燃費履歴が表示されます。

常時表示に設定する

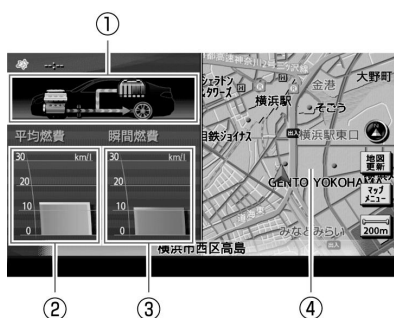
燃費情報を常に表示できます。

1 決定スイッチを押す

地図ビューの設定→常時表示設定→常時燃費表示を選ぶ

ガソリン車★

① 航続可能距離
② 平均燃費
③ 瞬間燃費
④ 現在地の地図画面

ハイブリッド車★

① エネルギーモニター
現在のエンジン、バッテリーおよびタイヤ間のエネルギーの流れを表示します
エネルギーモニターを見る★…p.173

② 平均燃費
③ 瞬間燃費
④ 現在地の地図画面

車両情報

メンテナンス情報を設定する

走行距離を設定してメンテナンスをお知らせする画面を表示します。4 種類の項目に対して設定ができます。

アドバイス

- お知らせはあくまで目安です。
- 安全のため日常点検は必ず行ってください。

1 情報・W スイッチを押す

車両情報 → メンテナンス情報 を選ぶ

2 項目を選ぶ

設定画面が表示されます。

3 設定をする

以下の項目を設定できます。

距離設定：
「お知らせ表示」を表示したい距離を設定します。500kmごとに30,000kmまで設定できます。

お知らせ表示：
● ON が点灯すると設定がONになります。設定距離に達すると、エンジンを始動したとき（ガソリン車）、ハイブリッドシステムを始動したとき（ハイブリッド車）またはエンジンスイッチをACCにしたときにお知らせ画面を表示します。表示を消すには走行距離をリセットするか、お知らせ表示をOFFにします。

走行距離リセット：
走行距離をリセットします。

ドライブ情報を見る★

走行時間、走行距離、平均車速を確認できます。データは、リセットしない限り保持されます。

1 情報・W スイッチを押す

車両情報 → ドライブ情報 を選ぶ

2 ドライブ情報を確認する

走行時間：リセットからの走行時間を表示します。

走行距離：リセットからの走行距離を表示します。

平均車速：リセットからの平均車速を表示します。

リセット：各項目をリセットします。

オールリセット：全ての項目のデータを同時にリセットします。

車両情報

タイヤ空気圧情報を見る

装着されているタイヤの空気圧が確認できます。(※1)

タイヤ空気圧警報システムの詳細については車両取扱説明書をご覧ください。

1 情報・W スイッチを押す

車両情報 → タイヤ空気圧情報 を選ぶ

2 タイヤ空気圧情報を確認する

はじめは「**」で表示され、しばらく走行すると各タイヤの空気圧が表示されます。

- タイヤ空気圧が不足すると、表示色が変わります。
- システムに異常があるときは、しばらく走行してもタイヤの空気圧が「**」のまま具体的な数値を表示しません。

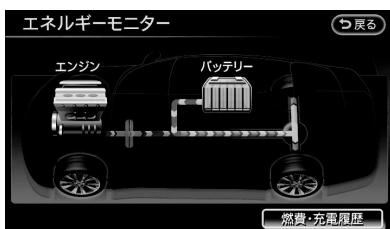
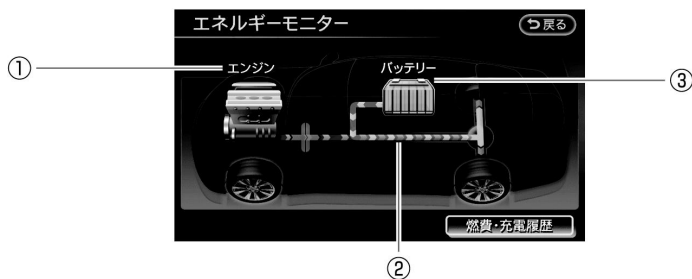
(※1)
- タイヤの空気圧は、車両の走行状況や気温によって、数値が増減する場合があります。
- 単位切替 を選択すると、単位切り替え画面を表示し、kPaとkgf/cm^{2}から選べます。

エネルギーモニターを見る★

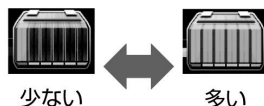
ハイブリッド車のエンジン、リチウムイオンバッテリー、タイヤ間のエネルギーの流れを表示します。

1 情報・W スイッチを押す

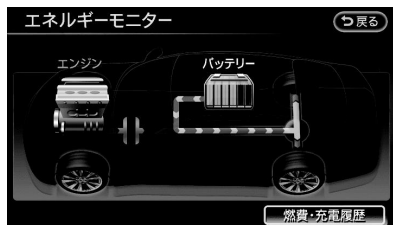
車両情報 → エネルギーモニター を選ぶ

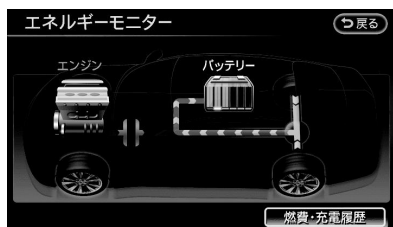
2 エネルギーモニターを確認する

エネルギーモニター画面の見かた

① **エンジンのON/OFF状態**
ON/OFF状態に応じて「エンジン」の文字が点灯/消灯します。

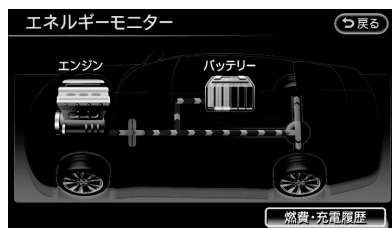
② **エネルギーの流れ**
でエネルギーの流れを表します。 橙色はエンジン、青色はバッテリーのエネルギーを表します。

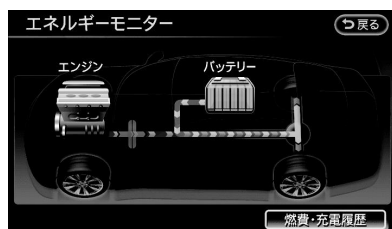
③ **リチウムイオンバッテリー**
ON/OFF状態に応じて「バッテリー」の文字が点灯/消灯します。
バッテリー残量を表示します 。

エネルギーモニター表示例

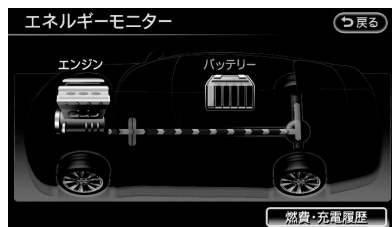
画面は、実際の表示とは異なる場合があります。

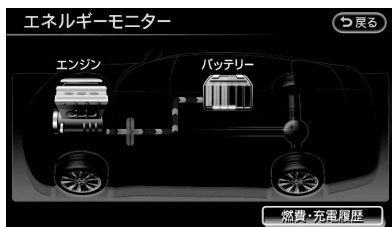
リチウムイオンバッテリーのエネルギーで走行している状態

矢印 [青色]
エンジン [消灯]
バッテリー [点灯]

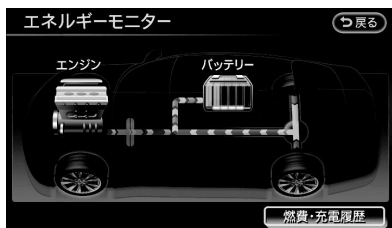
回生ブレーキを使って、リチウムイオンバッテリーを充電している状態

矢印 [青色]
エンジン [消灯]
バッテリー [点灯]

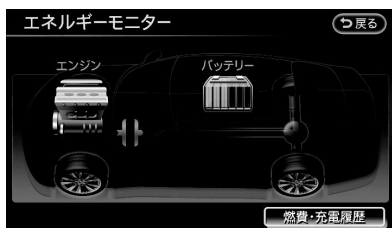
エンジンのエネルギーで走行と充電の両方をしている状態

矢印 [橙色]
エンジン [点灯]
バッテリー [点灯]

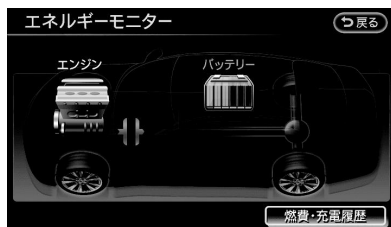
エンジンとリチウムイオンバッテリー、両方のエネルギーで走行している状態

矢印 [青色/橙色]
エンジン [点灯]
バッテリー [点灯]

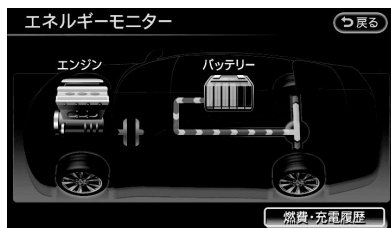
エンジンのエネルギーで走行している状態

矢印 [橙色]
エンジン [点灯]
バッテリー [消灯]

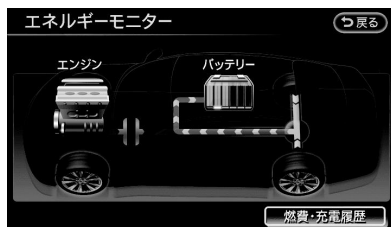
エンジンのエネルギーでリチウムイオンバッテリーを充電している状態

矢印 [橙色]
エンジン [点灯]
バッテリー [点灯]

エンジンと回生ブレーキ、両方のエネルギーで充電している状態

矢印 [青色/橙色]
エンジン [点灯]
バッテリー [点灯]

エネルギーの流れがない状態

矢印 [なし]
エンジン [消灯]
バッテリー [消灯]

エンジンがアイドリング状態でエネルギーの流れがない状態

矢印 [なし]
エンジン [点灯]
バッテリー [消灯]

エンジンがアイドリング状態で、リチウムイオンバッテリーのエネルギーで走行している状態

矢印 [青色]
エンジン [点灯]
バッテリー [点灯]

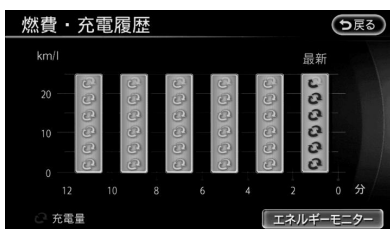
エンジンブレーキ状態、回生ブレーキでリチウムイオンバッテリーを充電している状態

矢印 [青色]
エンジン [点灯]
バッテリー [点灯]

燃費・充電履歴を見る★

ハイブリッド車の燃費・充電履歴を確認します。

1 情報・W スイッチを押す

車両情報 → 燃費・充電履歴 を選ぶ

2 燃費・充電履歴を確認する

灰色、黄緑色のバーがガソリンを消費した量です。

のマークは充電した量を表します。

エネルギーモニター を選ぶと、エネルギーモニター画面を表示します。

エネルギーモニターを見る★…p.173

エコスコアを見る★

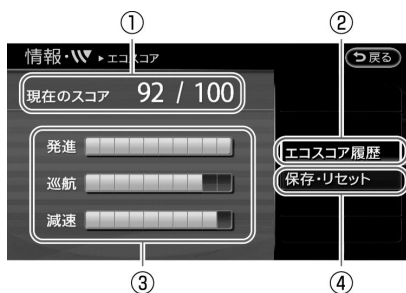
理想的なエコ走行を100 点として、お客さまの走行を得点化して表示します。

発進時は、ふんわりアクセル。巡航時は、加減速の少ない運転。減速時は、早めにアクセルオフすることによりスコアがアップします。

1 情報・W スイッチを押す

エコスコア を選ぶ

エコスコア画面が表示されます。

エコスコア画面

① **現在のスコア**
すべての走行シーンに対するエコスコアです。

② エコスコア履歴
エコスコア履歴を最新から10件表示します。

③ **個別エコスコア**
発進時、巡航時、減速時のエコスコアです。

④ 保存・リセット
現在のエコスコアを履歴として保存し、リセットします。USBメモリ挿入時に選ぶと、運転診断情報をUSBメモリに保存できます。USBメモリに保存したデータを使って、E1 Grand Prixに参加できます。

■ E1 Grand Prixのご案内

E1 Grand Prixとは、燃費やエコスコアを競いながら、みんなのクルマをエコカーにしていくプロジェクトです。他のドライバーと競争しながら楽しくエコ運転を続けることができます。

以下のサイトから無料でドライバー登録し、E1 Grand Prixに参加できます。

E1 Grand Prix: http://e1gp.jp

※ E1 Grand Prixに関しては、E1 Grand Prix運営事務局（http://e1gp.jp/e1gp/cgi/Manage.cgi）へお問い合わせください。

■ スコアアップのポイント

エコスコアは、車の速度や加速度から計算されます。以下の点に注意して運転をするとスコアがアップします。

急な坂道など、走行環境によりエコスコアが低く計算される場合がありますのでご了承ください。

- **発進**：

  ゆるやかなアクセルの踏み込みを推奨します。発進後の5秒間は、20 km/h程度の走行が目安です。
- **巡航**：

  通常走行時は、加減速の少ない一定した速度維持を推奨します。車間距離に余裕を持ち、速度にムラのない走行をしましょう。
- **減速**：

  スムーズな減速を伴う停止を推奨します。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を放し、エンジンブレーキを利用して減速しましょう。

エコスコアを常時表示する

エコスコア画面を常に表示できます。

1 地図画面上の(マップメニュー)をタッチする

(地図ビューの設定) → (常時表示設定) → (常時エコスコア表示)を選ぶ

地図の左側にエコスコア画面が表示されます。

車両情報を使いこなす

時計を設定する

時計を画面上に表示させたり、時刻を調整できます。

時計に表示されている時刻は、GPSシステムにより、ほぼ正確に表示されます。

1 設定スイッチを押す

その他設定→時計を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

常時表示：
画面上の時計表示のON/OFFを設定します。

ON（点灯）：
時計を画面上に表示させます。

ON（消灯）：
時計を画面上に表示させません。

24時間表示：
12時間／ 24時間表示を切り替えます。

ON（点灯）：24時間表示になります。

ON（消灯）：12時間表示になります。

オフセット調整：
時間を調整します。

◀：1分単位で時間を戻します。

▶：1分単位で時間を進めます。

ナビソフトのバージョン情報を見る

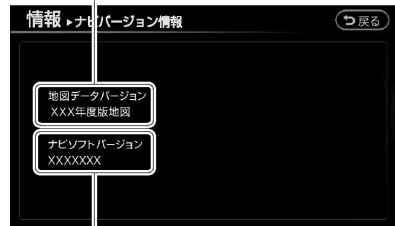
地図データおよびナビソフトのバージョンを確認できます。(※1)

1 情報・Wスイッチを押す

その他情報→ナビバージョン情報を選ぶ

2 バージョン情報を確認する

車両情報

知識

(※1) 地図データは、原則として年2回程度更新しています。 新しい地図データへの更新は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

車両の機能を設定する

ナビ画面から車両の各機能を設定できます。

1 設定スイッチを押す

その他設定 → 車両を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

以下の設定ができます。各機能の詳細は車両の取扱説明書をお読みください。

ドアロック解除 自動ルームランプ点灯：
キー連動室内照明システムをON/OFFします。

オートライト感度調整★：
オートライトコントロールの感度を調整します。

降車時ステアリング跳ね上げ★：
ハンドルの退避・復帰機能をON/OFFします。

降車時シート退避★：
シートの退避・復帰機能をON/OFFします。

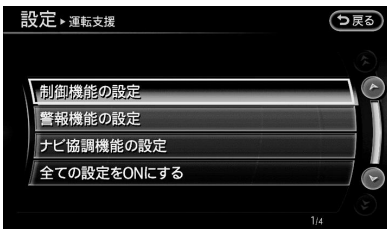
車両設定の初期化：
上記の車両設定を初期設定に戻します。

運転支援の設定をする

運転支援の各機能の設定をすることができます。

1 設定スイッチを押す

運転支援を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

以下の設定を行うことができます。
各機能の詳細については車両取扱説明書をご覧ください。

制御機能の設定

- DCA（インテリジェントペダル）

  インテリジェントペダル（ディスタンスコントロールアシスト）について設定します。

  ON(点灯)：機能をONにします。

  ON(消灯)：機能をOFFにします。

- LDP（車線逸脱防止支援システム）

  LDP(車線逸脱防止支援システム)について設定します。

  ON(点灯)：機能をONにします。

  ON(消灯)：機能をOFFにします。

警報機能の設定

- FCW（前方車両接近警報）

  FCW(前方車両接近警報)について設定します。

  ON(点灯)：機能をONにします。

  ON(消灯)：機能をOFFにします。

- LDW（車線逸脱警報）

  LDW（車線逸脱警報）について設定します。

  ON(点灯)：機能をONにします。

  ON(消灯)：機能をOFFにします。

ナビ協調機能の設定

- インテリジェントクルーズコントロール協調

  インテリジェントクルーズコントロールのナビ協調機能について設定します。

  ON(点灯)：機能をONにします。

  ON(消灯)：機能をOFFにします。

- DCA（インテリジェントペダル）協調

  インテリジェントペダル(ディスタンスコントロールアシスト)のナビ協調機能について設定します。

  ON(点灯)：機能をONにします。

  ON(消灯)：機能をOFFにします。

全ての設定をONにする★
全ての運転支援機能をONにします。

車両情報

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

エアコンの設定をする★

ナビゲーション画面を使ってエアコンの設定をします。

1 エアコンスイッチを押す

2 項目を選んで設定する

以下の設定を行うことができます。
エアコンのスイッチ位置およびエアコンの各機能については車両取扱説明書をお読みください。

A/C
エアコンのON・OFFを設定します。

左右独立
運転席と助手席の設定温度と吹き出し口を別々に調整できるようになります。

Upper Vent
Upper Vent(上部送風口) のON/OFFを設定し、上半身に間接的な送風をします。

フォレストエアコン設定

- ゆらぎ風

  ゆらぎ風のON/OFFを設定します。

- ゆらぎ強さ

  ゆらぎ風の風量変化の強弱を設定します。

- 排気・臭いセンサ感度

  車外の臭気センサの感度調節を行います。

- オートデフロスタ調整

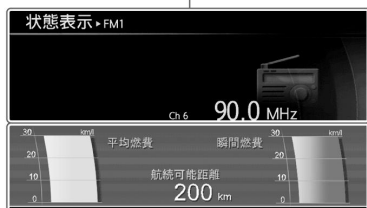
  窓曇りに対して自動でデフロスタを作動させるタイミングを調整します。

- アロマ

  アロマデフューザーの ON/OFF を設定します。

フォレストエアコン表示
フォレストエアコンの作動状態を表示します。

状態表示

状態表示スイッチを押すと、現在使っているオーディオや車両情報を確認できます。

ハンズフリーフォン

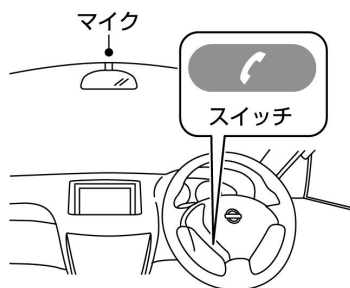
ハンズフリー電話について

携帯電話の接続のしかた

本機と携帯電話の接続は、Bluetooth®接続と通信ケーブル接続の2種類があります。

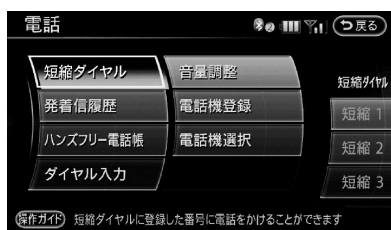
携帯電話を接続する…p.33

操作スイッチとマイク位置

ハンズフリーフォンの操作は、ステアリングスイッチで行います。通話は専用マイクで行います。

ハンズフリーフォンの基本操作

電話をかける

1 ステアリングスイッチの（電話）スイッチを押す

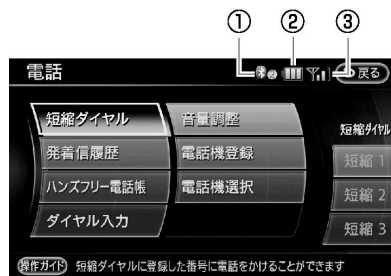
2 方法を選ぶ

(短縮ダイヤル)：
短縮ダイヤルに登録した番号で電話をかけます。

(発着信履歴)：
発着信履歴から電話をかけます。

(ハンズフリー電話帳)：
ハンズフリー電話帳から電話をかけます。

(ダイヤル入力)：
電話番号を入力して電話をかけます。

(短縮1)／(短縮2)／(短縮3)：
短縮ダイヤルの登録番号1，2，3に登録された電話番号に、ワンタッチで、相手先に電話をかけます。

■ 電話操作画面の見かた

① **Bluetooth®アイコン**
Bluetooth®携帯電話を接続すると表示されます。(※1)

② **バッテリー表示**
携帯電話の電池の状態を表示します。

③ **アンテナ表示**
電波の受信状態を表示します。

(※1) 数字は登録番号です。

■ 番号を入力してかける

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す
ダイヤル入力を選ぶ

2 市外局番から入力し、電話をかけるを選ぶ

短縮登録：
入力した電話番号を短縮ダイヤルに登録します。
修正：
短くタッチすると、1文字消します。長くタッチすると、すべての文字を消します。

3 通話する

通話を終了するには、電話を切るを選ぶか、ステアリングスイッチの スイッチを押します。

■ 短縮ダイヤルからかける

あらかじめ短縮ダイヤルに電話番号を登録する必要があります。

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す
短縮ダイヤルを選ぶ

2 相手先を選ぶ

走行中は短縮ダイヤルリストの1〜10番までを選ぶことができます。

3 電話をかけるを選ぶ

編集する：短縮ダイヤルを編集できます。
消去する：短縮ダイヤルを消去します。

4 通話する

通話を終了するには、電話を切るを選ぶか、ステアリングスイッチの スイッチを押します。

■ 発信／着信履歴からかける

発信／着信／不在着信履歴はそれぞれ最新の30件までが自動的に保存されます。

1 ステアリングスイッチの [電話] スイッチを押す
[発着信履歴]を選ぶ

2 相手先を選ぶ(※1)

[発信/着信切り替え]を選ぶと、発信履歴→着信履歴→不在着信履歴に切り替わります。
走行中は発信／着信／不在着信の履歴リストの1～5番までを選ぶことができます。

3 [電話をかける]を選ぶ

[短縮登録する]：
短縮ダイヤルに登録します。
[消去する]：
発着信履歴を消去します。

4 通話する

通話を終了するには、[電話を切る]を選ぶか、ステアリングスイッチの [電話] スイッチを押します。

知識

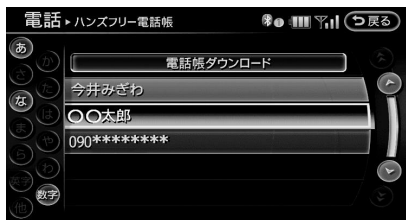
(※1) 電話番号が登録されている相手先は登録名が表示され、登録されていない場合は電話番号が表示されます。また「非通知」に電話をかけることはできません。

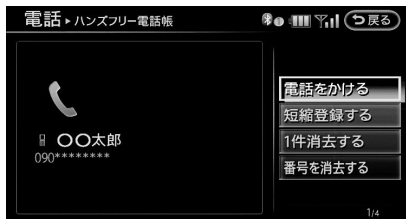
■ ハンズフリー電話帳からかける

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録する必要があります。

携帯電話を接続する…p.33

1 ステアリングスイッチの［電話］スイッチを押す
（ハンズフリー電話帳）を選ぶ

2 相手先を選ぶ(※1)

3 電話番号を選ぶ

4 （電話をかける）を選ぶ

（短縮登録する）：
短縮ダイヤルに登録します。

（1件消去する）：
発着信履歴を消去します。

（番号を消去する）：
電話番号を消去します。

5 通話する

通話を終了するには、（電話を切る）を選ぶか、ステアリングスイッチの［電話］スイッチを押します。

知識

(※1) 携帯電話のメモリ読み出しをせずに操作をすると、「携帯メモリを読み出しますか？」というメッセージが表示されます。
（電話帳ダウンロード）を選ぶと、携帯メモリの読み出しができます。

■ 施設に電話をかける

施設情報やテナント情報に電話番号情報がある場合、情報表示画面から電話をかけられます。

1 施設情報画面を表示する

電話をかけるを選ぶ

施設に電話がかかります。

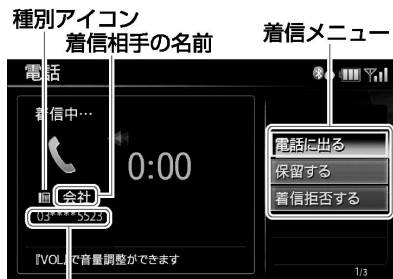
2 通話する

通話を終了するには、電話を切るを選ぶか、ステアリングスイッチの スイッチを押します。

電話を受ける

電話がかかってくると、呼び出し音が鳴り、自動的に着信画面になります。

■ 着信画面の見かた

着信応答画面には、短縮ダイヤルもしくはハンズフリー電話帳に着信相手の電話番号が登録されている場合は、種別アイコンと相手の名前が表示されます。

電話に出る：電話に出ます。

保留する：電話を保留にします。

着信拒否する：電話を拒否します。

■ 電話に出る

1 電話に出るを選ぶか、ステアリングスイッチの スイッチを押す(※1)

2 通話する

通話を終了するには、電話を切るを選ぶか、ステアリングスイッチの スイッチを押します。

ハンズフリーフォン

知識

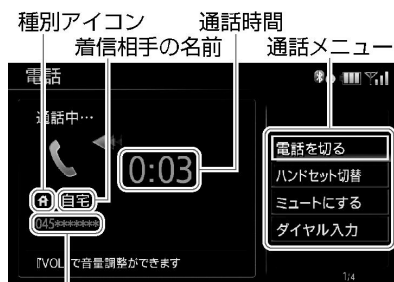
(※1) Bluetooth®接続時に電話機本体で電話を受けた場合、電話の機種によりハンズフリー通話にならない場合があります。

通話中の操作

通話中にいろいろな操作ができます。

■ 通話中画面の見かた

通話中は、短縮ダイヤルもしくはハンズフリー電話帳に通話相手の電話番号が登録されている場合は、種別アイコンと相手の名前が表示されます。

また、目安として通話時間が表示されます。

(電話を切る)：

電話を切ります。

(ハンドセット切替)：

Bluetooth®接続のときに、携帯電話本体での通話に切り替えます。再びハンズフリー通話に戻すには、( )スイッチを押します。(※1)

(ミュートにする)：

相手に声が聞こえないようにします。

(ダイヤル入力)：

通話中の番号入力に使用します。入力画面から通話中画面に戻るには(戻る)をタッチします。

(※1)
- 携帯電話本体で切り替えできる機種もあります。また、機種によって切り替えができないものもあります。
- エンジンを切った（ガソリン車）または、ハイブリッドシステムを停止した（ハイブリッド車）あとも通話を続けたい場合は、あらかじめ携帯電話での通話に切り替えてからエンジンを切る（ガソリン車）または、ハイブリッドシステムを停止（ハイブリッド車）させてください。

■ 別の画面を表示する

着信中、通話中、保留中に地図画面など別の画面に切り替えられます。

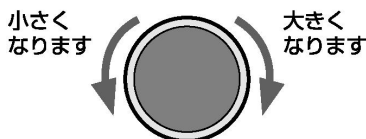
1 通話中にコントロールパネル上のスイッチを押す

地図画面やメニュー画面が表示されます。

（電話）を押すと再び電話画面が表示されます。

音量を調整する

着信中は着信音量が、通話中は受話音量が調整されます。

音量の調整はコントロールパネルのVOLスイッチで調整します。

ステアリングスイッチのVOLスイッチでも音量の調整ができます。

音量を設定する

電話音量をあらかじめ設定できます。

1 設定スイッチを押す

電話・通信→電話→音量調整を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

着信音量：
着信音の音量を調整します。

受話音量：
通話先相手の声の大きさを調整します

送話音量：
自分の声の送話音量を調整します。

自動応答保留：
電話がかかってきたときに、自動的に保留することができます。保留中は電話がつながり、かけた人に応答できないことを音声で案内します。走行中などですぐに応答できないときに設定しておくと便利です。

車載機の着信音使用：
携帯電話をBluetooth®接続している場合、着信時に車載機の持っている着信音を鳴らします。

ハンズフリーフォン

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

電話番号を登録する

短縮ダイヤルを登録／編集する

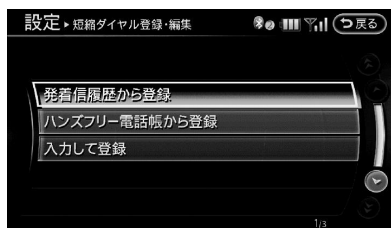
短縮ダイヤルに登録しておくと簡単に電話をかけることができます。40件まで登録できます。

1 設定スイッチを押す

電話・通信→電話→短縮ダイヤル登録・編集を選ぶ

2 新規登録を選ぶ

すでに登録済みの項目を選ぶと、内容を編集できます。

3 登録方法を選ぶ

発着信履歴から登録：
発着信履歴から選びます。

ハンズフリー電話帳から登録：
ハンズフリー電話帳から選びます。

入力して登録：
直接電話番号を入力します。

携帯電話の電話帳を登録する

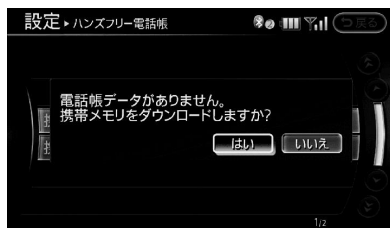
携帯電話のメモリを読み出して、ハンズフリー電話帳に登録します。ケーブル接続の携帯電話5台、Bluetooth®登録された携帯電話5台まで登録できます。（1台あたり最大1000件）

1 設定スイッチを押す

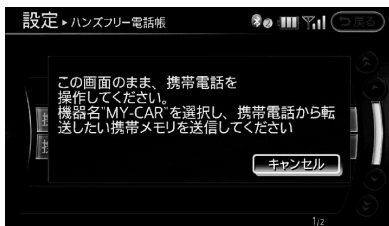
電話・通信→電話→ハンズフリー電話帳を選ぶ

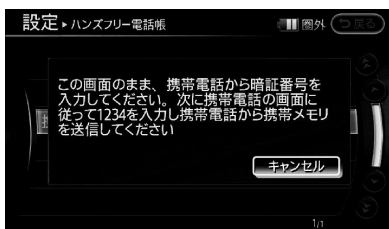
2 携帯メモリ一括ダウンロードを選ぶ

すでに携帯電話のメモリが登録されている場合は、メッセージが表示されます。
メモリを1件ずつしか送信できない携帯電話の場合は、携帯メモリ追加ダウンロードをタッチして、1件ずつ登録してください。

3 はいを選ぶ

メモリの読み出しを開始します。携帯電話の接続方法によって異なります。

4 メモリの送信をする

Bluetooth®接続の場合

お使いの携帯電話を操作します。(※1)

通信ケーブル接続（FOMA）の場合

携帯電話に端末暗証番号を入力します。(※2)

次に画面に表示される4桁の数字を入力します。

通信ケーブル接続（WIN）の場合

端末暗証番号を入力し、決定を選びます。(※2)

知識

(※1) お使いの電話番号によっては自動的にメモリ読出しが開始される場合があります。

(※2) 携帯電話の端末暗証番号は、操作用暗証番号になります。暗証番号を特に設定していない場合は、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧になり、初期値を入力してください。

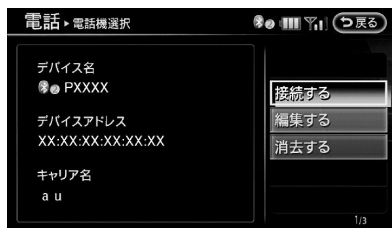
ハンズフリーフォンを使いこなす

ハンズフリーフォンを活用するために、様々な機能を設定できます。

電話機を選択する

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す
電話機選択を選ぶ

2 使用する電話機を選ぶ

3 接続するを選ぶ

接続する：
選択した電話機に切り替わり、ハンズフリーに接続します。

編集する：
選択した電話機を編集できます。

消去する：
選択した電話機の登録を消去します。

登録した電話番号を消去する

1 設定スイッチを押す
電話・通信→電話→メモリ消去を選ぶ

2 消去したい項目を選ぶ

短縮ダイヤル：
短縮ダイヤルを一括消去または1件消去できます。

発着信履歴：
発着信履歴（発信履歴、着信履歴、不在着信履歴）を一括消去、履歴ごとの消去、1件消去できます。

ハンズフリー電話帳：
ハンズフリー電話帳を一括消去または1件消去できます。

メモリ全消去：
接続されている携帯電話の短縮ダイヤル、発着信履歴、ハンズフリー電話帳の登録内容をすべて消去します。

ケーブル接続電話機情報の消去：
ケーブル接続時のみ表示されます。接続中の電話機以外の情報をケーブル接続機器単位に一括消去します。

Bluetooth®の設定をする

1 設定スイッチを押す

Bluetoothを選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

Bluetoothで接続：
Bluetooth®で接続します。

機器登録：
Bluetooth®機器の登録、ユーザー設定をします。

機器の接続切替・編集・消去：
接続するBluetooth®機器の切り替えや名称の編集、登録の消去ができます。

車載機のBluetooth情報・変更：
車載機のBluetooth®情報の変更をします。

■ Bluetooth®携帯電話の登録をする

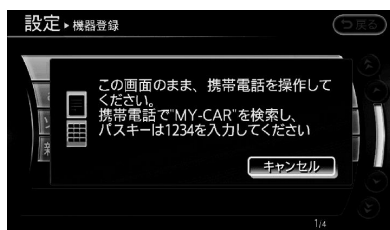
1 設定スイッチを押す

Bluetooth→機器登録を選ぶ

2 メッセージを確認して、はいを選ぶ

3 登録する携帯電話のキャリア名を選ぶ

メッセージが表示されます。

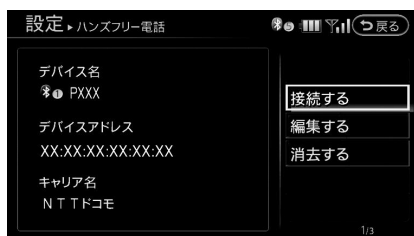
4 携帯電話を操作する

操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

■ Bluetooth®携帯電話の切替・編集をする

1 設定スイッチを押す

Bluetooth→機器の接続切替・編集・消去→ハンズフリー電話を選ぶ

2 電話機を選ぶ

3 接続するを選ぶ

接続する：
別の電話機に接続を切り替えることができます。

編集する：
登録されているBluetooth®携帯電話の名称やキャリア名を変更でします。

消去する：
Bluetooth®携帯電話の登録を消去します。

■ Bluetooth®情報の確認と変更をする

1 設定スイッチを押す

Bluetooth→
車載機のBluetooth情報・変更を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

パスキー：
車載機のパスキーを変更します。

デバイス名：
車載機のデバイス名称を変更します。

デバイスアドレス：
車載機のデバイスアドレスを表示します。

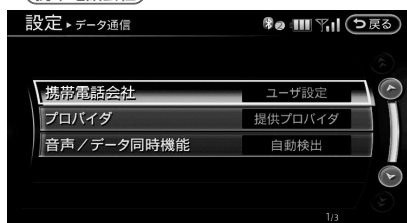
3 登録内容を確認し、決定を選ぶ

データ通信を設定する

■ 携帯電話会社を設定する

通常は、携帯電話を接続すると自動でデータ通信用の設定を行います。データ通信ができないなどの場合は、設定を確認し、必要に応じて手動で設定します。

1 設定スイッチを押す

電話・通信 → データ通信 → 携帯電話会社を選ぶ

設定に失敗していると、携帯電話会社の右側が空欄になっています。その際は手動設定を行います。

2 手動設定 →携帯電話会社選択を選ぶ(※1)

3 携帯電話会社を選ぶ(※2)

● ON が点灯し携帯電話会社が設定されます。

知識

(※1) 通常は自動設定に設定されています。

(※2) 新規登録を選んで、携帯電話のプロバイダ以外を設定することもできます。携帯電話会社以外のプロバイダを登録すると、リストには「ユーザー設定」と表示されます。

■ プロバイダを設定する

携帯電話会社の提供プロバイダ以外のプロバイダを登録して使用できます（通常は登録しなくても接続できます）。

登録できるプロバイダは1件のみです。

登録したプロバイダを選んで使用できます。

1 設定 スイッチを押す

電話・通信 → データ通信 → プロバイダ → 新規登録 を選ぶ

2 各項目を設定する

以下の項目を設定します。

電話番号の登録 ：
ダイヤルアップ接続するアクセスポイントを入力します。

ユーザ名の登録 ：
接続時に使用するユーザ名（ログイン名）を入力します。

パスワードの登録 ：
パスワードを入力します。

DNSの登録 ：
センターから取得する の ● ON 点灯時はDNSアドレスを自動取得します。
プライマリDNSの登録 および セカンダリDNSの登録 を入力して登録するには、センターから取得する の ● ON を消灯します。

プロキシサーバの登録 ：
プロキシサーバを利用する場合はアドレスを入力します。

プロキシサーバポートの登録 ：
プロキシサーバを利用する場合はポート番号を入力します。

ユーザ設定の消去 ：
設定した内容を消去します。

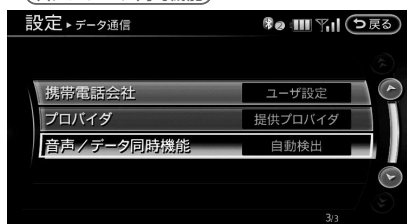
■ 音声／データ同時機能を設定する

接続された携帯電話によっては、カーウイングスでオペレータに接続したときにダウンロード操作をしなくてもデータを取得できます。また、データの自動通信中に電話をかけたり受けたりできます。通常は設定する必要はありません。

携帯電話会社の選択でユーザー設定を選んでいるときは機能を利用できません。携帯電話会社を選択してから設定してください。

携帯電話によっては機能を設定しても使用できない場合があります。

1 設定スイッチを押す

電話・通信 → データ通信 → 音声／データ同時機能を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

以下の設定ができます。

自動検出（推奨）：
接続された携帯電話が機能を利用可能であれば自動で機能をONにします。

同時機能を利用する：
機能をONにします。

同時機能を利用しない：
機能をOFFにします。

カーウイングス

カーウイングス

カーウイングスは、携帯電話を接続し、カーウイングス情報センターと通信することで、車内で必要とするさまざまな情報を提供するサービスです。

アドバイス

- 車をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。また本機に保存されている情報（メールなど）は消去してください。詳しくは、カーウイングスお客さまセンターにご相談ください。
- サービスを提供するうえで必要となる情報（例えば、車の位置や車載機ID、携帯電話番号など）はご利用時にカーウイングス情報センターへ自動的に送られます。
- カーウイングスのサービスをご利用になると、携帯電話の通信料金がかかります。

カーウイングスをお使いになる前に

■ サービスのお申し込みについて

サービスのご利用にはカーウイングスへのお申込みが必要です。詳しくは三菱自動車販売会社またはカーウイングスお客さまセンターへお問い合わせください。

■ ご使用上の注意

- カーウイングスをご利用になるときは、必ず本機に携帯電話を接続してください。(※1)
- 接続する携帯電話によって、一部ご利用できない機種がありますので、詳しくは、カーウイングスお客さまセンターでご確認ください。
- 携帯電話の電波状態などによっては、情報センターに接続できない場合や、途中で通信が途切れる場合があります。電波状態が良好になってから再度通信を行ってください。

メニュー項目の詳細などについては、カーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。
カーウイングスお客さまセンター：
0120-981-523
受付時間9:00～ 17:00（年末年始を除く）
ホームページアドレス
http://drive.nissan-carwings.com/CW

(※1) au WINをケーブル接続でご使用の場合には、機種によってUSB接続設定がありますので、「データ転送モード」または「Packet WINモデムモード」に設定してください。（設定方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）

こんなことができます

カーウイングスでは、次のようなサービスをご利用いただけます。メニュー項目の詳細などについては、カーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。

最速ルート探索（p.209）

カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードすることにより最速ルートを探索します。

情報チャンネル（p.211）

交通情報や天気など、ドライブに役立つ情報を提供します。

おまかせ再生（p.215）

カーウイングス情報センターがおすすめ情報を、場所や時間に応じて自動的に提供するサービスです。

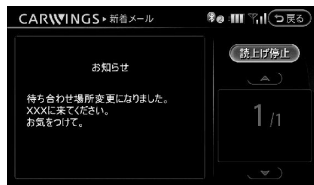
オペレータ（p.206）

オペレータにご要望を伝えるだけで目的地や経由地または登録地の設定、施設情報検索、電話接続がご利用いただけます。

この街ガイド（p.214）

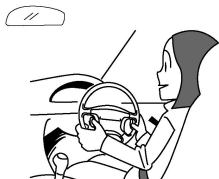
施設情報をさまざまな分類で検索することができます。

メール（p.215）

メールを受信します。受信したメールを音声で読み上げます。車の現在地をメールで送ることもできます。

オペレータを活用する

オペレータの基本操作

1 オペレータスイッチを押す

口頭で要望を伝える

電話機本体での操作は行わないでください。

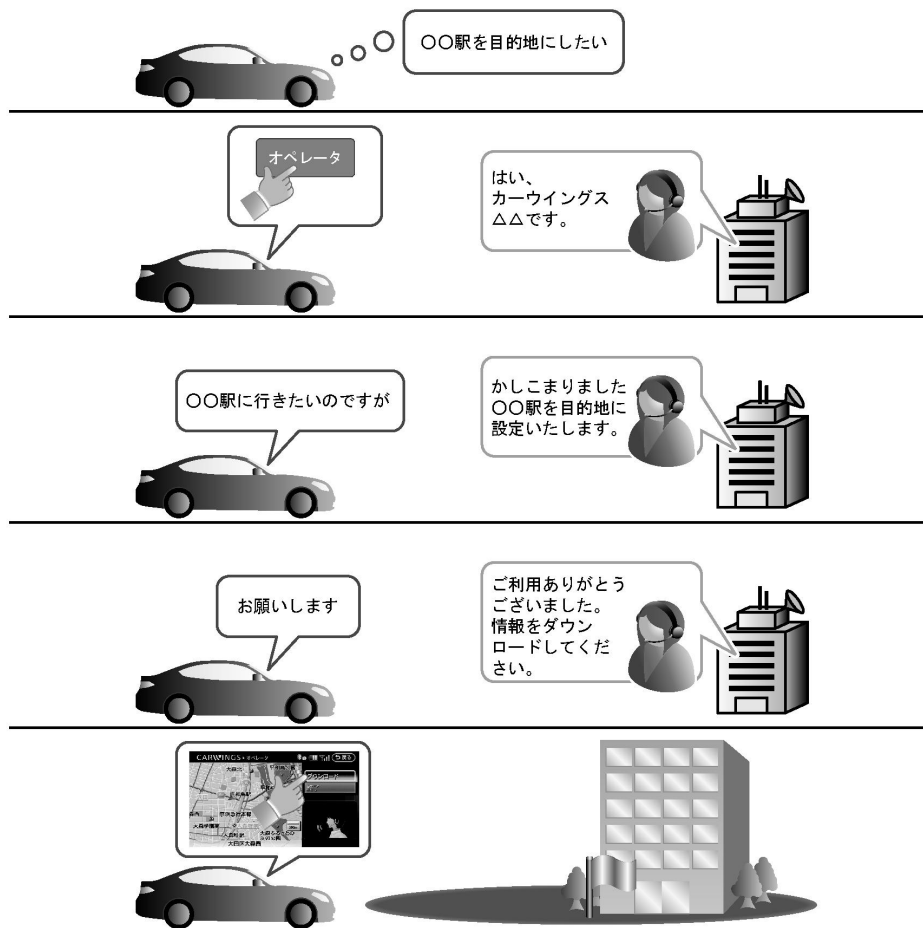
2 オペレータの指示があってから、ダウンロードを選ぶ(※1)

オペレータとの会話中にダウンロードを選んでもデータはダウンロードされません。オペレータの指示があってからダウンロードを選んでください。

オペレータとの通話中に スイッチを押すか、終了を選ぶと電話回線を切断し、終了することができます。回線切断には時間がかかる場合があります。

知識

(※1)
- カーウイングス情報センターとの通信中に終了を選ぶと、電話回線を切断し終了することができます。
- ご利用の携帯電話の機種や通信設定の状態により、自動的にダウンロードを行う場合があります。

オペレータにおねがいできること（通話例）

例えばこんなふうにお使いいただけます

目的地設定:

目的地を伝えるだけでオペレータが目的地や経由地を設定します。

電話接続:

電話番号をお調べし、お客さまの携帯電話から直接接続できるように設定することができます。

情報検索:

ご要望に応じたさまざまな情報をお調べします。

ロードサービスの取り次ぎ:

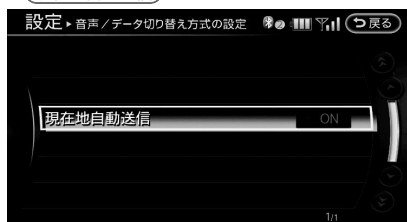
ドライブ中に故障など予期せぬトラブルが発生した場合は必要に応じてロードサービス業者へのお取次をいたします。

オペレータの設定をする

オペレータ接続時に現在地の情報を自動的に送信するかを設定できます。

1 設定 スイッチを押す

電話・通信 → CARWINGS → オペレータ設定 を選ぶ

2 音声／データ切り替え方式の設定 → 現在地自動送信 を選ぶ

● ON が点灯し、オペレータ接続時に現在地情報が通知されます。

最速ルート探索

最速ルートを探索する

アドバイス

- 最速ルート探索を利用すると、携帯電話の通信料金がかかります。

1 ルート スイッチを押す

最速ルート探索 を選ぶ

最新の交通情報がダウンロードされます。

2 ルートを選ぶ

ルートガイドを開始します。

■ 最速ルート探索の設定をする

アドバイス

- 自動ダウンロードを設定すると、設定したタイミングで通信を自動的に行います。カーウイングス情報センターとの通信には、携帯電話の通信料金がかかります。

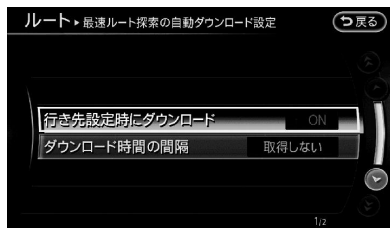
● 行き先を設定したときに自動でダウンロードする場合

1 ルート スイッチを押す

探索条件設定 →
最速ルート探索の自動ダウンロード設定 を選ぶ

2 行き先設定時にダウンロード を選ぶ

● ON が点灯し、設定されます。

カーウイングス

● 自動接続時間を設定する場合

最新の交通情報などをダウンロードするため定期的にダウンロードする間隔を設定できます。

1 ルートスイッチを押す

探索条件設定 →
最速ルート探索の自動ダウンロード設定 →
ダウンロード時間の間隔を選ぶ

2 ダウンロードしたい間隔を選ぶ

以下の設定ができます。
ダウンロードしない：
自動でダウンロードしません。
5分ごとにダウンロードする：
5分ごとに自動でダウンロードします。
10分ごとにダウンロードする：
10分ごとに自動でダウンロードします。
30分ごとにダウンロードする：
30分ごとに自動でダウンロードします。
1時間ごとにダウンロードする：
1時間ごとに自動でダウンロードします。

情報チャンネルを見る

カーウイングスでは、情報を受信すると画面に表示し、音声で読み上げます。（オートプレイ）オートプレイとは、カーウイングス情報センターから受信した情報やメールを順に表示し、自動的に内容を音声で読み上げる機能です。(※1)

知識

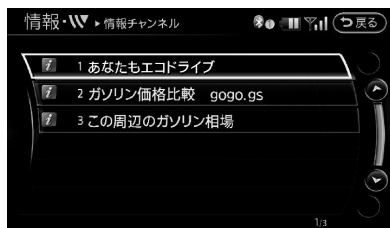
(※1)
- オートプレイはダウンロードが完了した情報／メールから随時読み上げが開始されます。読み上げ中も残りの情報／メールがある場合は継続してダウンロードが行われます。
- 1度に受信できる情報／メールは最大6件です。オートプレイが終了した後に、残りの情報／メールがある場合は、残りの情報／メールをダウンロードするか、確認するメッセージが表示されます。

情報チャンネルの基本操作

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → 情報チャンネル を選ぶ

2 見たいジャンルのフォルダを選ぶ

3 チャンネルリストを選ぶ

カーウイングス情報センターに接続され、選んだチャンネルの最新情報が表示されます。

カーウイングス

■ 情報画面の見かた

（▲）：前の情報を読み上げます。

（▼）：次の情報を読み上げます。

1/2：情報番号/情報件数

（旗アイコン）：位置データがあるときに表示されます。

（電話アイコン）：電話データがあるときに表示されます。

（読上げ停止）：オートプレイを停止します。

■ オートプレイ停止中にできる操作

1 （読上げ停止）を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

オートプレイ停止中に、以下の項目を設定できます。

（読上げ再開）：

オートプレイを再開します。

（地図を見る）：

情報に位置データがある場合に表示されます。表示中の情報の地図を見ることができます。

（ここに行く）：

目的地に設定できます。

（ルートに追加）：

目的地が設定されている場合は、情報の場所をルートに追加できます。

（電話する）：

情報に電話番号データがある場合に表示されます。表示中の情報先に電話をかけることができます。

（画像を見る）：

情報に画像データがある場合に表示されます。画像を見ることができます。

（詳細を見る）：

情報に詳細な説明がある場合に表示されます。詳細情報を見ることができます。

（現在地表示）：

現在地の地図を見ることができます。

（チャンネル保護／保護解除）：

履歴に保存されている情報の中で残したい情報を保護したり、保護を解除することができます。保護解除は、保護が設定されている場合に表示されます。

（チャンネル消去）：

履歴に保存されている情報を消去します。

■ お気に入りに登録する

1 情報・Wスイッチを押す

CARWINGS → 情報チャンネルを選ぶ

2 お気に入り → （未登録）新規登録を選ぶ

フォルダ→チャンネルを選び、メッセージにしたがって登録操作をします。

■ 読み上げ音量を調整する

1 設定スイッチを押す

音量調整を選ぶ

2 CARWINGS音量を選ぶ

－、＋にタッチして調整します。

各種サービスを利用する

交通情報を取得する

■ 自車位置周辺の情報を取得する

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → 渋滞情報ダウンロード を選ぶ

渋滞情報をダウンロードします。

■ 地図を動かして情報を取得する

1 情報を取得したい場所に⊕を合わせる

2 決定 スイッチを押す

または マップメニュー →
渋滞情報ダウンロード を選ぶ

渋滞情報をダウンロードします。

この街ガイド

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → この街ガイド を選ぶ

2 見たいメニューを選ぶ

カーウイングス情報センターに接続され、この街ガイドを開始します。

ガイドが開始すると、地図画面に「この街ガイド」と表示されます。

リスト：施設リストを表示します。

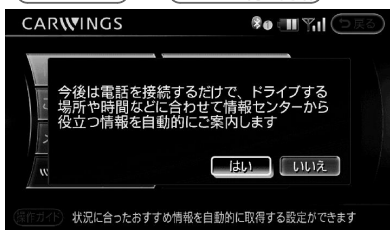
終了：この街ガイドを終了します。

おまかせ再生

アドバイス

- 自動通信により、接続するごとに携帯電話の通信料金がかかります。

1 情報・W スイッチ

CARWINGS → おまかせ再生開始 を選ぶ

メッセージが表示されるので はい をタッチすると、おまかせ再生が設定されます。

設定すると、地図画面に「おまかせ再生」と表示されます。再生が開始すると、「おまかせ再生接続中」と表示されます。終了するときは、画面上の 終了 を選びます。

メール

アドバイス

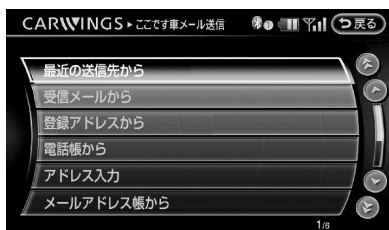
- メールを受信するには、受信用のメールアドレスをカーウイングスホームページの会員専用ページで登録する必要があります。詳しくはカーウイングスお客さまセンターへお問い合わせください。

■ メールを送信する

車の現在地と電話番号をメールで送信できます。初期設定時の送信元メールアドレスは、kokomail@club.nissan-carwings.comとなります。送信されるメールのタイトルは「ここにいます」となります。また現在地を表示するためのURLを添付して送信されます。

1 情報・W スイッチ

CARWINGS → メール を選ぶ

2 ここです車メール送信 を選ぶ

最近の送信先から：
送信メールから選択して送信します。

受信メールから：
受信メールから選択して送信します。

登録アドレスから：
登録アドレスから選択して送信します。

電話帳から：
ハンズフリー電話帳から選択して送信します。

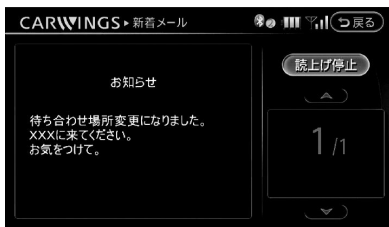
アドレス入力：
メールアドレスを入力して送信します。
メールアドレス帳から：
カーウイングスホームページに登録されているメールアドレス帳から選択して送信します。

■ メールを受信する

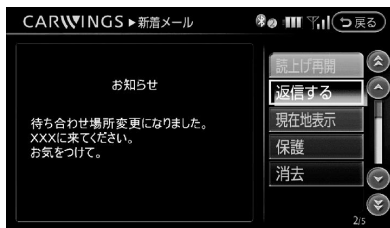
メールの本文は、全角文字で約1000文字まで受信できます。受信可能な文字数を超えた分の文字は表示されません

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → メール を選ぶ

2 新着メール を選ぶ

カーウイングス情報センターに接続され、新着メールを受信してオートプレイが始まります。

■ メールを返信する

1 読み上げ停止 → 返信する を選ぶ

2 返信文を選ぶ

■ 受信履歴を見る(※1)

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → メール を選ぶ

2 受信メール履歴 →メールを選ぶ

オートプレイが始まります。

知識

(※1)
- 履歴は、最大50件まで保存されます。
- 保存しているメールがすでに最大件数に達している場合は、新着メールを受信するたびに古いメールから順番に消去されます。
- 残しておきたいメールは10件まで保護できます。

カーウイングスを使いこなす

カーウイングスの履歴から情報を見る

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → CARWINGS履歴 を選ぶ

2 確認したい項目を選ぶ

下記の履歴を確認することができます。

情報チャンネル履歴：
情報チャンネルの履歴を確認できます。

この街ガイド履歴：
この街ガイドの履歴を確認できます。

オペレータ履歴：
オペレータ情報の履歴を確認できます。

カーウイングスの各種設定をする

■ 情報チャンネルの設定をする

1 設定 スイッチを押す

電話・通信 → CARWINGS → 情報チャンネル設定 を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

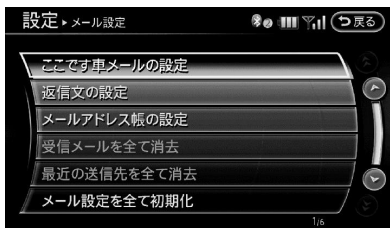
自動的に取得する：
自動接続する時間や情報チャンネルの選択を設定できます。

表示リストの変更：
情報チャンネルをお気に入りに登録できます。また、表示リストを更新、初期化できます。

■ メールの設定をする

1 設定スイッチを押す

電話・通信 → CARWINGS → メール設定 を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

ここです車メールの設定：
送信先の登録と消去をします。また送信文の登録と初期化をします。

返信文の設定：
返信文の登録と初期化をします。

メールアドレス帳の設定：
メールアドレス帳の更新と消去をします。

受信メールを全て消去：
受信メールを全て消去します。

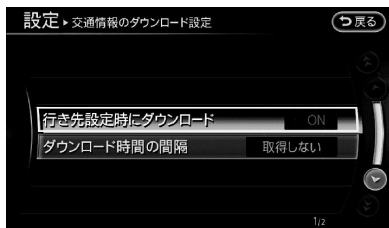
最近の送信先を全て消去：
最近の送信先を全て消去します。

メール設定を全て初期化：
メール設定を全て初期化します。

■ 交通情報のダウンロードを設定する

1 設定スイッチを押す

電話・通信 → CARWINGS → 交通情報のダウンロード設定を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

行き先設定時にダウンロード：
ON（点灯）に設定すると、ルートガイド開始時、自動で最速ルート探索を行います。

ダウンロード時間の間隔：
定期的に交通情報をダウンロードするように設定できます。

■ 車載機 IDを表示させる

1 設定スイッチを押す

電話・通信 → CARWINGSを選ぶ

2 車載機IDの表示を選ぶ

車載機のIDが表示されます。

戻るを選ぶとカーウイングス設定画面に戻ります。

■ おまかせ再生を設定する

1 設定スイッチを押す

電話・通信 → CARWINGS → おまかせ再生を選ぶ

ON が点灯し、おまかせ再生が開始します。

■ プライバシー保護設定をする

ダウンロード・編集したカーウイングス情報を、同じ携帯電話を接続している間だけ表示するように設定します。

設定した携帯電話を接続すると、自動でプライバシー保護設定がONになります。

プライバシー保護は5件まで設定できます。

1 設定スイッチを押す

電話・通信 → CARWINGSを選ぶ

2 プライバシー保護設定を選ぶ

ON が点灯し、使用する電話機にプライバシー保護設定がされます。

● プライバシー保護される情報

情報チャンネル	お気に入り、ダウンロードしたチャンネル
メール	受信したメール、ここです車メールの登録アドレス・送信文、最近の送信先、返信文、メールアドレス帳

上記以外は、プライバシー保護設定にかかわらず、常に表示されます。

■ カーウイングスの履歴を消去する(※1)

1 設定スイッチを押す

電話・通信 → CARWINGS → CARWINGS履歴設定を選ぶ

2 消去したい項目を選んではいを選ぶ

以下の履歴を消去できます。

情報チャンネル履歴を全て消去：
情報チャンネルの履歴を消去します。

この街ガイド履歴を全て消去：
この街ガイドの履歴を消去します。

オペレータ履歴を全て消去：
オペレータの履歴を消去します。

CARWINGS履歴を全て消去：
全てのCARWINGSの履歴を消去します。

知識

(※1)
- 消去した履歴は元に戻せません。
- 受信メール履歴は消去されません。

カーウイングス

■ カーウイングスの設定を全て初期化する(※1)

1 設定スイッチを押す

電話・通信 → CARWINGS → CARWINGS設定を全て初期化を選ぶ

はいを選択するとカーウイングスの設定が初期状態に戻ります。
以下の項目を消去・初期化することができます。

- **消去されるもの**

  情報チャンネル履歴、この街ガイド履歴、オペレータ履歴、受信メール履歴、メール送信先履歴、メールアドレス帳、ここです車メール登録送信先

- **設定が初期化されるもの**

  情報チャンネルの設定、メールの設定、オペレータの設定、おまかせ再生の設定、交通情報のダウンロード設定、プローブ情報設定、プライバシー保護設定

(※1) 初期化された設定および消去された履歴は元に戻すことはできません。保護されている履歴も消去されます。

音声操作

音声操作の基本操作

基本的な操作の流れ

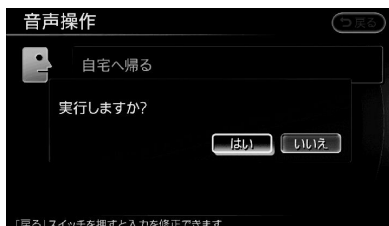
ここでは自宅へのルートガイドを設定する操作を例に説明します。

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す(※1)

音声操作画面が表示されます。
「ピッと鳴ってからお話しください」“ピッ”というガイドのあと、音声待ち受け状態になります。

2 アイコンがからになったときに『自宅へ帰る』と発話する(※2)

ボイスコマンドを認識すると、「自宅に帰るルートを探索します。」とガイドします。

3 はいを選ぶ

ボイスコマンドが実行され、自宅までのルートガイドを開始します。

知識

(※1) ガイド音声の音量は、ステアリングスイッチの − + スイッチで調整できます。

(※2)
- ステアリングスイッチの スイッチを押すと、1つ前のコマンド画面に戻ります。始めの画面では、音声操作をキャンセルします。
- を長く押すと、音声操作がキャンセルとなり終了します。を短く押すと、音声操作がポーズ状態になります。もう一度を押すと操作を再開します。

音声操作を上手に操作するには

ボイスコマンドを正しく認識させて、スムーズにコマンドを実行させるには、以下の点に注意してください。

- 同乗者がいる場合は、発話をするのを避けてもらってください。
- マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢でボイスコマンドを発話してください。
- 大きな声でハッキリと正確に発話するなど、呼びかけかたを変えてお試しください。また、音声を登録すると正しく認識させることができます。
- ボイスコマンドは、正しく発話してください。コマンド以外の言葉を発話しても、正しく認識されません。
- 「えーと」などの声を発したりすると、ボイスコマンドが正しく認識されないことがあります。
- ステアリングスイッチの スイッチを押した後、“ピッ”という音が鳴ってからお話しください。話し始めるまでに時間がかかったときは、「コマンドをどうぞ」と再度ガイドされます。
- リストに表示されている行き先やチャンネル名などは、リストの番号を発話してください。
- 画面上に橙色で表示されている言葉がコマンドとして認識できる言葉です。白または灰色で表示されているものは発話しても認識することができません。
- ボイスコマンドは自然な速さで発話してください。ゆっくり話しすぎると正しく認識されません。

■ 音声マイクの位置

音声操作用のマイクはハンズフリーフォン用マイクと共用です。

操作スイッチとマイク位置…p.186

音声操作の便利な使いかた

それぞれの機能について、実際の音声操作の使い方について説明しています。

音声操作で場所を探す

ここでは、神奈川県横浜市○○区△△1の2の3を検索する操作を例に説明します。

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す

音声操作が始まり、「ピッと鳴ってからお話しください」“ピッ”というガイドがあります。

2 『行き先を探す』と発話する

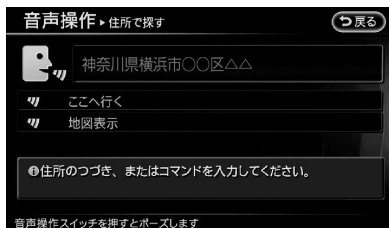
「行き先を探す」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

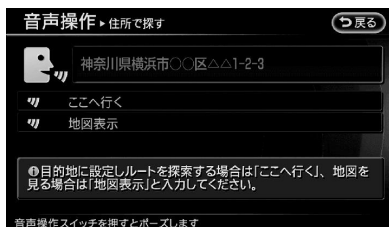
3 『住所』と発話する

「住所」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

4 『神奈川県横浜市○○区△△』と発話する

「神奈川県横浜市○○区△△」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

5 『1の2の3』と発話する

「1の2の3」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

6 『ここへ行く』と発話する

ガイドが流れ、目的地までのルートが探索されます。

■ 住所や電話番号の発話のポイント

- 音声入力しているときにステアリングスイッチの[戻る]スイッチを押すと、最後に音声で入力した内容を消去しますので、途中から入力をやり直すことができます。
- 住所を入力するときは、「都道府県名から大字（おおあざ）まで」を発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから小字（こあざ）がある場合は「小字、丁目、番地、号」、ない場合は「丁目、番地、号」を発話してください。
- 「都道府県名」と「市名」、「市名」と「町名」の間などは、区切って入力もできます。

  例1）『かながわけんよこはまし』と続けて発話。

  例2）『かながわけん』と発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから『よこはまし』と発話。
- 政令指定都市、および東京23区については、都道府県名を省略して入力できます。
- 番地を入力する際、1丁目23番地4号（1-23-4）を入力する場合は、『いち の に さんの よん』または『いち にさんよん』と発話します。23を『にじゅーさん』と発話しても入力できます。
- 番地を入力しなくても、大字（おおあざ）まで入力後、『行き先にする』と発話すると、付近までのルートを探索します。
- 地域によっては小字（こあざ）の入力に対応していない場合があります。
- 丁目、番地、号には、一部入力できないものがあります。

音声操作で電話をかける

ここでは「045-523-5523」に電話をかける操作を例に説明します。

1 ステアリングスイッチの[音声]スイッチを押す

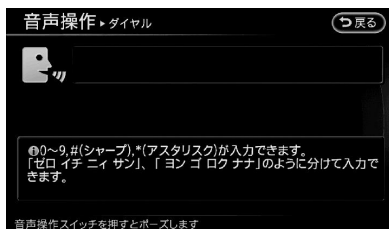
音声操作が始まり、「ピッと鳴ってからお話しください」“ピッ”というガイドがあります。

2 『電話を使う』と発話する

「電話を使う」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

3 『ダイヤル』と発話する

「ダイヤル」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

4 『**045 523 5523**』と発話する(※1)

「045 523 5523」とコマンドを認識し、「コマンドをどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

5 『開始』と発話する

ガイドが流れ、メッセージが表示されます。

6 はい を選ぶ

相手先に発信します。

知識

(※1) 1度に全ての電話番号を発話するのではなく、初めに市外局番、認識できたら市内局番、最後に残りの番号と、3回に分けて認識させると、より正確に認識できます。

リストから番号を選んで操作する

登録地や短縮ダイヤルなど、コマンドによってはナビに保存された情報がリスト表示され、番号を発話して操作します。

ボイスコマンド一覧…p.320

ここでは登録地への目的地設定を例に説明します。

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す

音声操作が始まり、「ピッと鳴ってからお話しください」“ピッ”というガイドがあります。

2 『登録地へ行く』と発話する

登録地リストが表示されます。リスト表示されるの は5件までです。(※1)

3 『いちばん』と発話する

ガイドが流れ、ルート探索が始まります。

(※1) リストに表示されない登録地を目的地に設定するには、登録地のヨミを発話します。

ヨミを活用する

登録地やハンズフリー電話帳など、登録されている情報にヨミが含まれているものは、ヨミを発話して操作できます。

ここではハンズフリー電話帳を例に説明します。

1 ステアリングスイッチの[音声]スイッチを押す

音声操作が始まり、「ピッと鳴ってからお話しください」“ピッ”というガイドがあります。

2 『ハンズフリー電話帳』と発話する

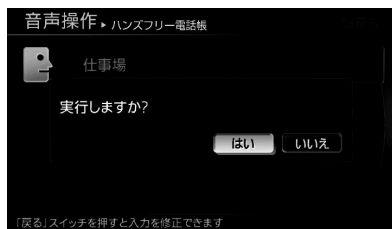
「ハンズフリー電話帳」とコマンドを認識し、「電話帳の登録名をどうぞ」“ピッ”というガイドがあります。

3 登録先のヨミを発話する(※1)

ガイドが流れ、ルート探索が始まります。

4 (はい)

相手先に発信します。

(※1)
- ハンズフリー電話帳に登録されているヨミは、半角カタカナ18　文字まで発話できます。記号や英数　字が含まれたヨミは、正しく認識されません。
- ヨミが短すぎる場合や似たようなヨミが複数ある場合は、正しく認識されないことがあります。

音声をシステムに学習させる

声を登録してコマンドを認識しやすくすることができます。最大3名まで登録できます。

1 [設定]スイッチを押す

(その他設定) → (音声操作) → (声を覚えさせる)を選ぶ

2 ユーザーを選ぶ

3 (ナビゲーション学習)を選ぶ

4 登録したいコマンドを選ぶ

ガイドにしたがって発話します。

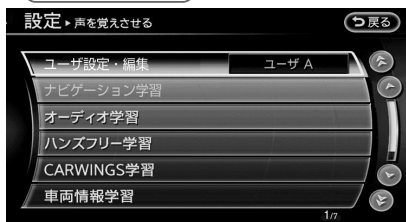
音声が登録されているとリストの右枠に「登録済み」と表示されます。

■ 音声登録を設定・編集する

1 設定スイッチを押す

その他設定 → 音声操作 → 声を覚えさせるを選ぶ

2 ユーザーを選び

ユーザー設定・変更を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

以下の項目を設定できます。

ユーザー名の編集：
ユーザー名を入力します。

声を覚えさせる：
登録した音声を使ってコマンドを認識します。

覚えた声を消去する：
登録した音声を消去します。

連続学習：
コマンドを選ばず連続で音声登録できます。

音声操作の使い方を覚える

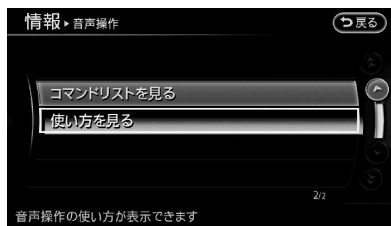
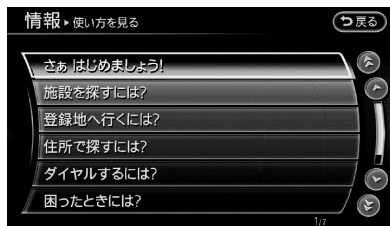
音声操作の使い方や発話できるボイスコマンドは、ナビゲーション画面でも確認できます。初めて音声操作をご使用になるときや使い方を忘れてしまったときなどに確認されると便利です。

使い方ガイドを表示する

音声操作のいろいろな使い方を説明する画面を表示できます。

1 情報・W スイッチを押す

その他情報→音声操作を選ぶ

2 使い方を見るを選ぶ

3 表示したい項目を選ぶ

さぁ はじめましょう!：
音声操作の基本的な使い方を確認できます。

施設を探すには?：
目的地の施設検索を音声操作で行う場合の使い方をシミュレーションで説明します。

登録地へ行くには?：
目的地の登録地検索を音声操作で行う場合の使い方をシミュレーションで説明します。

住所で探すには?：
目的地の住所検索を音声操作で行う場合の使い方をシミュレーションで説明します。

ダイヤルするには?：
電話の発信を音声操作で行う場合の使い方をシミュレーションで説明します。

困ったときには?：
音声操作の使い方のポイントを確認できます。

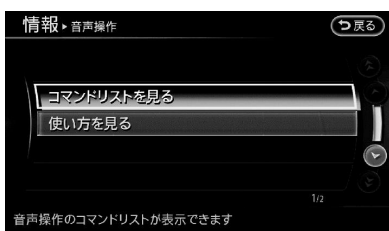
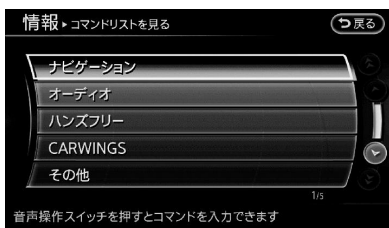
学習するには?：
音声をあらかじめシステムに学習させて、コマンドを認識しやすくする設定をシミュレーションで説明します。

コマンドリストを表示する

音声操作で発話できるボイスコマンドのリストを表示できます。

1 情報・W スイッチを押す

その他情報 → 音声操作 を選ぶ

2 コマンドリストを見る を選ぶ

3 表示したい項目を選ぶ

ナビゲーション：
ナビゲーション操作に使用できるコマンドリストを表示します。

オーディオ：
ミュージックボックス、ラジオ、テレビ、DVD、CDなどの操作に使用できるコマンドリストを表示します。

ハンズフリー：
電話操作に使用できるコマンドリストを表示します。

CARWINGS：
カーウイングスの操作に使用できるコマンドリストを表示します。

その他：
ヘルプなどその他の情報を確認できるコマンドリストを表示します。

4 表示したいリストを選ぶ

コマンドリストが表示されます。

カメラシステム

カメラシステムについて

安全にお使いになるために

⚠ 注意

- **カメラシステムは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。**
- **目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。あくまでも目安としてお使いください。**

アドバイス

- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えることがあります。
- カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、カメラ映像が見づらくなることがありますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。

カメラ画面の調整について

リヤビューカメラ、サイドブラインドビューカメラ、ノーズビューカメラ◎の画面の明るさ、コントラストなどの画質を調整することができます。

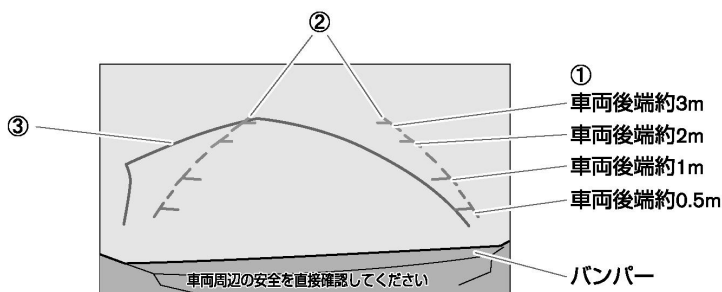
カメラ画面を表示中に 設定 スイッチを押します。

リヤビューカメラを使う

表示線の見かた

リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため表示線は多少右にずれて見えます。

アドバイス

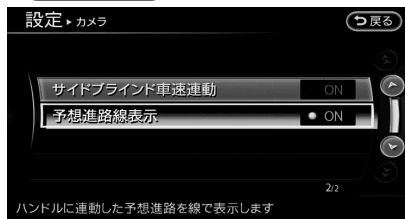
- バッテリーを外すと実際の予想進路線と異なる軌跡を表示する場合があります。その場合は、カーブなどが少ない道を5分以上走行してください。
- リヤビューカメラの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた鏡像です。

① **距離目安ライン**
車両後方の距離の目安を示します。

② **車幅目安ライン**
後退したときの車幅の目安を示します。

③ **予想進路線**
ハンドルを切った角度のまま後退したときの予想進路を示します。ハンドルが中立になると消えます。

■ 予想進路線表示をON／OFFする

1 設定スイッチを押す

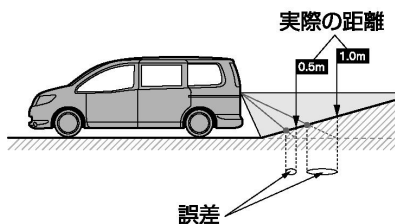
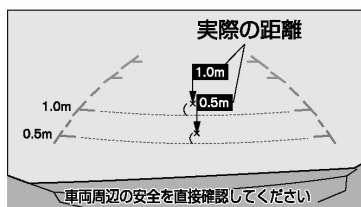
その他設定 → カメラ → 予想進路線表示を選ぶ

● ON が点灯し、予想進路線を表示します。

カメラシステム

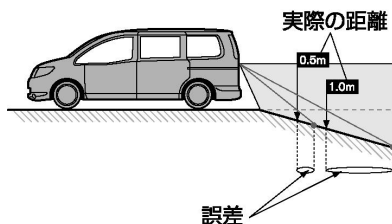
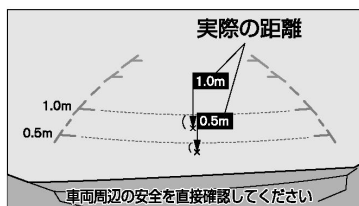
■ 映像と実際の路面との誤差について

急な上り坂が後方にあるとき

距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。

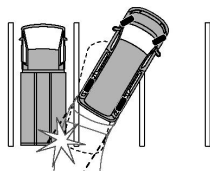
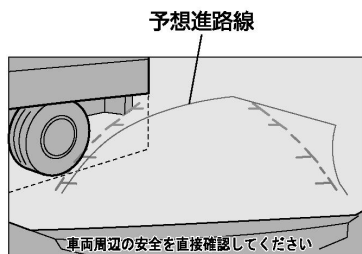
また、障害物が実際よりも遠くにあるように見えます。

急な下り坂が後方にあるとき

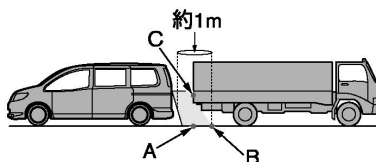
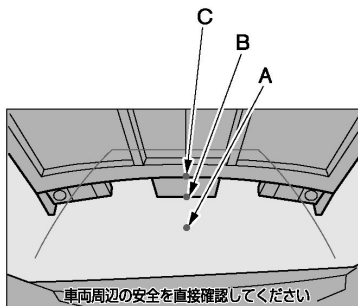
距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。

また、障害物が実際よりも近くにあるように感じます。

立体物が近くにあるとき

立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。

例1）

予想進路線はトラックの車体に触れていないため、ぶつからないように見えます。しかし、実際は車体が進路上に張り出しているため、ぶつかることがあります。

例2）

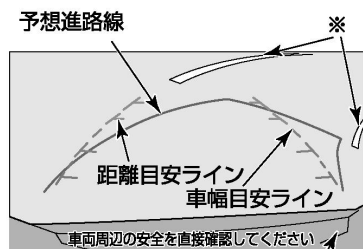
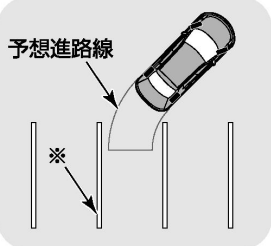
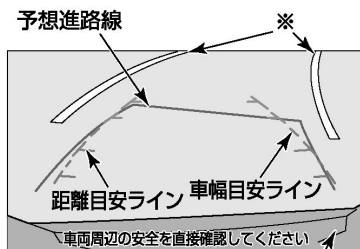
Cの位置はBの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はAの位置と同じ距離です。Aの距離まで下がるとぶつかることがあります。

リヤビューカメラを使って駐車する

アドバイス

- 画面では車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行に見えても、実際には平行ではない場合があります。

1 セレクターレバーを R にする

モニター画面が表示されます。

2 予想進路線が駐車スペースに入るようにハンドルを操作しながら、ゆっくりと後退する

※：直線上の区画線です。

3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅目安ラインと駐車スペースの左右の区画線が平行になるようにハンドルを操作する

※：直線上の区画線です。

4 車幅目安ラインと駐車スペースの区画線が平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、ゆっくりと後退する

サイドブラインドビューカメラを使う

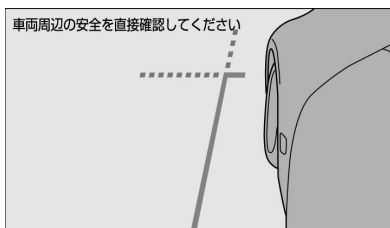
⚠ 注意

- **サイドブラインドビューカメラは、障害物などの確認を補助するシステムです。前進、右左折するときは直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。また、左折時には内輪差に注意してください。**
- **ドアミラーを格納した状態では使用しないでください。適切な範囲を映すことができません。**

サイドブラインドビューカメラを表示する

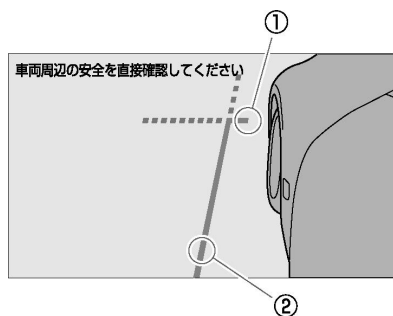
エンジンスイッチがACC又はONのとき使えます。

1 カメラスイッチを押す

サイドブラインドビューカメラが作動します。

再度カメラスイッチを押すと、前の画面に戻ります。

■ 3分タイマー機能

サイドブラインドビューカメラの表示は、他の画面に移らないと3分後、自動的に元の画面に戻ります。

表示線の見かた

① 前端目安ライン
車両前方の位置の目安を示します。延長部分が破線で表示されます。

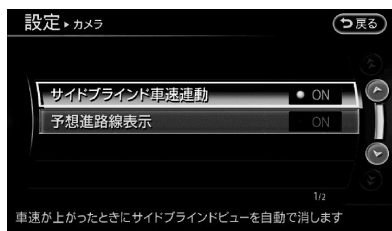
② 側方目安ライン
ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。延長部分が破線で表示されます。

自動OFF機能を設定する

自動OFF機能の設定がONのときは、車速が約18km/h以上になると自動的にサイドブラインドビューカメラ画面から前に表示されていた画面に戻ります。

1 設定スイッチを押す

その他設定 → カメラを選ぶ

2 サイドブラインド車速連動を選ぶ

ON（点灯）： 自動OFF機能が設定されます。

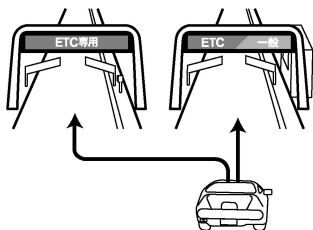
ON（消灯）： 自動OFF機能が解除されます。

料金所の通過方法

⚠ 注意

- **ETCゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。**
- **ETCゲートでも、何らかの理由で先行車両が停止する場合があります。ゲート通過時は、車間距離を保持し、速度を落とし（20km/h以下）、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。**

- ETCゲート、料金所、お知らせ／予告アンテナ付近では、ETCカードを抜かないでください。カード内のデータが破損するおそれがあります。

1 速度を落とし、**ETC**ゲートに進入する

料金所は「ETC専用」又は「ETC／一般」表示ゲートに進入してください。

2 開閉バーが開いたらゲートを通過する(※1)

- 入口料金所の場合

  「ピンポン」という音とともに「ETCは正常に処理されました」と画面に表示されます（表示は、条件によって異なります）。

- 出口料金所の場合

  画面に、利用金額と利用年月日、利用時刻が表示されます（表示は、条件によって異なります）。また表示と同時に「料金は○○円です」という音声ガイドが流れます。(※2)

スマートIC

SAやPAなどから一般道路への出入りが可能なETC専用のインターチェンジを「スマートインターチェンジ（スマートIC）」と呼びます。

- ETCユニット搭載車のみ通行可能です。
- スマートICの中には、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がある場合があります。

(※1)
- 入口料金所がETC未対応だった場合は、入口で通行券を受け取り、出口では一般ゲートで通行券とETCカードを収受員にお渡しください。
- 出口料金所がETC未対応だった場合は、入り口でETCゲートを通過したときは、出口でETCカードだけを収受員にお渡しください。
- 料金所の入口と出口では同一のETCカードを使用してください。

(※2) 音声や画面で案内される通行料金は、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。

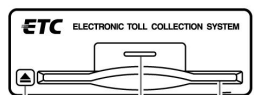
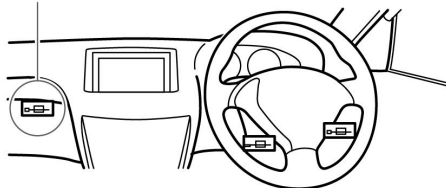
ETCの使いかた

アドバイス

- 車を離れるときは、ETCカードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETCカードを挿入したまま運転席ドアを開けると、1分間カード抜き忘れ警報が鳴ります。
- インストルメントパネルの上に物を置かないでください。内蔵されたETC用アンテナの感度が低下し、正常な作動ができないおそれがあります。
- ETCカードが確実にETCユニットに挿入されていることと正常に作動していることを確認してください。
- ETCカードの取り扱いについては、ETC発行会社の提示する注意事項をお読みください。
- 必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。有効期限が切れていると開閉バーは開きません。
- 車種、仕様により、ETC音声ガイドをONにしておくと、ETCカードの有効期限を簡易的にお知らせします。

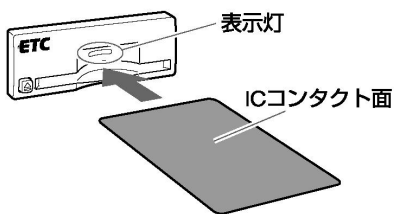
ETCの各機能を確認・設定する…p.246

ETCの設置場所

ETCユニットはグローブボックス内にあります。

ETCカードの入れかた／取り出しかた

1 エンジンスイッチを**ON**にする

カード忘れ警告の設定がONの場合、現在地画面に「ご利用になる場合にはETCカードを挿入してください」と表示され、チャイム音が鳴ります。画面の指示に従って、ETCカードを挿入してください。

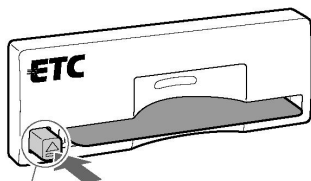
2 **ETC**カードをユニットに差し込む

ETCカードのICコンタクト面が上面・挿入口側になるようにして挿入してください。

カードが正しく挿入されると、“ピッ”と音がします。

挿入後「ETCカードを確認しました。」と表示されます。

数秒後、画面右上に紫色のETCアイコンが表示され、利用可能な状態となります。(※1)

ETCカードの読み込みなどが正常に行えなかったときはチャイム音とともに、灰色のETCアイコンが点灯し、「ETCカードが読み取れません。ETCサービスが利用できませんのでカードを抜いて確認してください。」と表示されます。

3 イジェクトボタンを押す

ETCユニットのイジェクトボタンを押して、ETCカードを取り出します。

(※1) ETCユニット、ETCカードなどの条件及び状態に異常があった場合（画面にエラーが表示された場合）には、ETCによる料金所通過はできません。収受員のいる車線へ入り、指示に従って通行してください。

ETCを使いこなす

ETCの各機能を確認・設定する

ETCの利用履歴やセットアップ情報の表示、各機能の設定などを行うことができます。(※1)

1 情報・Wスイッチを押す

その他情報→ETC情報を選ぶ(※2)

2 項目を選ぶ

以下の表示および設定を行うことができます。

ETC利用履歴：
利用日時や料金の利用状況を確認できます。(※3)

ETC利用積算額：
ETCの利用積算額とその積算期間の表示や、リセットをすることができます。(※4)

カード忘れの警告設定：
カードを入れ忘れたときや抜き忘れたとき、ルート探索時のカード入れ忘れの警告ON/OFFを設定できます。

セットアップ情報：
ETCユニットのセットアップ時に必要な情報を表示します。

ETC音声ガイド：
ETCシステムを利用するとき、音声ガイドを行うか設定できます。

アイコン表示：
ETCの利用の準備が整っていることを表示するか設定できます。

知識

(※1)
- ETCカードの情報読み取り中は、カードを取り出さないでください。
- ETCユニットがセットアップ（ETCユニットを利用可能にする手続き）されていない場合は、 セットアップ情報以外は選べません。

(※2) 車種により、情報・Wスイッチ→ETC情報でETCの各機能を確認することができます。

(※3) 利用履歴は、最新20件までの利用状況が日時の新しい順に表示されます。

(※4) 利用積算額は、あくまでも目安として活用してください。

故障かな？と考える前に

本体関係

■ 液晶モニター関係

症状	原因	処置方法
画面が暗い。	車内の温度が低温である。	車内の温度が適温になるまでお待ちください。
	液晶モニターの明るさ調節が暗い方へいっぱいに設定されている。	液晶モニターの明るさを調節してください。
画面が眩しい。	液晶モニターの明るさ調節が明るい方へいっぱいに設定されている。	液晶モニターの明るさを調節してください。
画面の中に小さな黒点、輝点が現われる。	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
画像に、はん点や、シマ模様がでる。	ネオンサイン、高圧電線、アマチュア無線、他の自動車などからの電波を発する機器からの電磁波の影響を受けている。	故障ではありません。
表示画面内容が残る。（残像現象）	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
低温のとき、画像の動きが遅い。	車内の温度が0℃以下になっている。	使用温度範囲（0℃～＋50℃）に戻れば復帰します。
斜め方向から見ると画像が白っぽく見えたり、黒っぽく見える。	液晶モニターの特性である。	液晶モニターの明るさを調整してください。

■ ハードディスク関係

ハードディスクの動作などに異常が起きたときは、画面に以下のメッセージが表示されます。処置方法にしたがってください。

画面表示	処置方法
HDDに異常が検出されました。販売店に連絡してください。	すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

画面表示	処置方法
高温のためHDDが動作できず、一部機能が使用できません。温度が下がれば復帰します。	温度が下がれば復帰します。 しばらくしてから再度操作してください。
低温のためHDDが動作できず、一部機能が使用できません。温度が上がれば復帰します。	温度が上がれば復帰します。 しばらくしてから再度操作してください。

ナビゲーション関係

■ 地図表示／メニュー画面関係

症状	原因	処置方法
画面が表示されない。	地図以外の画面が表示されている。	現在地を押してください。
	画面消しの設定がONになっている。	画面消しの設定をOFFにして、画面表示を復帰させてください。
画面下部に一時的に表示が割り込み、画面の操作が妨げられる。	表示の割り込みによって表示が重なることがある。	戻るや決定または割り込み表示の上を選ぶと元の画面に戻ります。
スタンダードビュー（平面地図）とバードビューで地名表示が異なる。	画面が煩雑にならないように文字情報の間引き処理を行っているため。また道路や地名などを複数表示することもあり、処理の経緯から毎回同じ内容が表示されるとは限らない。	故障ではありません。
細街路が地図上に表示されない。	安全のため、走行中は細街路は表示されない。	故障ではありません。停車してパーキングブレーキをかけると表示されます。
	幅3m以下の道路は表示されないことがある。	故障ではありません。
ライトスイッチをON にしても「夜画面」にならない。	ライト点灯時の地図の表示色が、「昼画面」になっている。	ライト点灯時に設定スイッチ→画質・画面消し→地図の表示色切替で画面を「夜画面」に設定し直してください。
メニュー項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

■ 自車位置・自車マーク関係

症状	原因	処置方法
自車位置が正しく表示されない。	エンジンスイッチをOFFにしてから車を移動した。 例）フェリーや車両運搬車などでの移動。	GPS受信状態でしばらく走行してください。
	ナビゲーションシステムの位置算出精度により、現在位置や進行方向は、走行条件などによってずれることがある。	故障ではありませんのでしばらく走行を続けると、正常な表示に戻ります。
	駐車場など、道路以外の場所にいる。	故障ではありません。道路上をしばらく走行すると正常な表示に戻ります。
	GPS衛星からの電波が受信できていない。	しばらく走行してください。 それでも受信できない場合は、販売会社または相談窓口にご相談ください。
	タイヤチェーンの装着、タイヤ交換などにより、車速信号からの車速推定にずれ（進みや遅れ）が発生した。	約30km/h以上の速度で30分程度走行すると自動的に調節されます。それでも進みや遅れが発生する場合は、販売会社または相談窓口にご相談ください。
	市街地図使用時、自車位置精度に対し画面表示が大きいため表示誤差が拡がる。	地図の縮尺を拡大すると症状が緩和されます。
	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS信号が受信できない。	室内に取り付けたGPSアンテナ上には、物を置かないでください。
住宅地図を表示しているとき、反対車線上を走行しているように見えることがある。	表示上ずれが生じることがある。	故障ではありません。
市街地図使用時、自車マークが位置ずれを起こす。	自車位置精度に対し画面表示が大きいため表示誤差が拡がる。	故障ではありません。地図の縮尺を拡大すると症状が緩和されます。

症状	原因	処置方法
新しい道を走ると自車マークが近くの道にとぶ。	新しい道が地図データに未登録のため、登録されている近くの道路に自車マークを補正する。	地図データは、原則として年2回程度更新版が発売されます。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
自車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地を押してください。
自車マークが表示されない。		
GPS衛星がいつまでも灰色のまま。	屋内や建物の陰にいるためGPS信号がさえぎられている。	屋外の見通しの良い場所に移動してください。
	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS信号が受信できない。	室内に取り付けたGPSアンテナ上には、物を置かないでください。
	GPS衛星の配置が悪い。	配置が改善されるまでお待ちください。
自車位置精度が悪い。	GPS衛星からの電波が受信できていない。	「GPS衛星がいつまでも灰色のまま。」（症状）の各項目（原因）、（処置方法）を参照してください。
	地形データに誤り、または欠落がある（常に同じ場所でずれる）。	地図データは、原則として年2回程度更新版が発表されます。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
	低速走行や発進、停止を繰り返した。	しばらく（およそ30km/h以上の速度で30分程度）走行すると自動的に調節されます。それでも進みや遅れが発生する場合は、販売会社または相談窓口にご相談ください。

■ 目的地／経由地設定できない

症状	原因	処置方法
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由地にしたい場合は、再度ルート探索を行ってください。
自動迂回路探索（または迂回路探索）をしたが、前回探索したルートと同じ結果になってしまう。	各種条件を考慮した探索を行ったが、同じ結果になった。	故障ではありません。
経由地が設定できない。	経由地がすでに5カ所設定してある。	設定できる経由地は5カ所までです。数回にわけて探索を行ってください。
行き先の設定で出発地が選べない。	行き先の設定での出発地は、常に現在地になる。	故障ではありません。

■ 音声ガイド関係

症状	原因	処置方法
音声ガイドしない。	音声ガイドはある一定の条件を満たすのマークが付いている交差点でしか行わないため、それ以外の場所では音声ガイドをしない場合がある。	故障ではありません。
	ルートを外れている。	ルートに戻るか、再度ルート探索してください。
	音声ガイドがOFFになっている。	音声ガイド設定をONにしてください。
	ルートガイドがOFFになっている。	ルートガイドをONにしてください。
	音量が小さくなっている。	音量を大きくしてください。
実際の道路と案内が異なる。	音声ガイドの内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合がある。	実際の交通ルールに従って走行してください。

症状	原因	処置方法
ETCゲートで案内される料金と実際の料金が異なる。	ETCユニット（ナビと連動しないもの）を装着している場合、各種有料道路の料金割引が考慮されないため、案内した料金と実際の料金が異なる場合があります。	故障ではありません。
	地図データの収録時期などの関係で、最新の料金が反映されていない場合があるため。	

■ ルート探索関係

症状	原因	処置方法
ルートが表示されない。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。
	現在地、目的地付近に条件規制（曜日、時間）がある。	規制情報利用の探索条件をOFFにする。探索条件内の規制道路を「規制情報を使わない」に設定してください。
ルートが途切れて表示される。	探索では、細街路を含むその他一般道を使用しないエリアがあるため、現在地、または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりする。	故障ではありません。
通りすぎたルートが消去されてしまう。	ルートは区間ごとに管理されているため、経由地1を通過すると、出発地から経由地1までのデータを消去する（エリアによっては消去されない場合もある）。	故障ではありません。

症状	原因	処置方法
大回りなルートを探索する。	探索では、細街路を含むその他一般道を使用しないエリアがあるため、大回りなルートになることがある。	故障ではありません。
	出発地、目的地付近の道路に規制（一方通行など）があるときに遠回りのルートを出すことがある。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。または、通りたいルートに経由地を設定してみてください。
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがある。	地図データは、原則として年2回程度更新版が発表されます。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルートガイドの開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし近くの道路が細街路を含むその他一般道（灰色の道路）の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。
設定した探索条件と異なる条件のルートが表示される。	場合によっては、設定した探索条件に合わないルートが探索されることがある。	故障ではありません。
自動再探索が行われない。	探索ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度ルート探索をしてください。
	オートリルートの設定がOFFになっている。	オートリルートの設定をONにしてください。
規制のあるルートが引かれる。	どうしても通らないと到着できない場合は、規制を通すことがある。	設定を確認してください。
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。
	ルート上を走行していない。	ルート上を走行してください。
	ルートガイドがOFFになっている。	ルートガイドをONにしてください。
	細街路のルートは、ルート情報を表示しない。	故障ではありません。

症状	原因	処置方法
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークがルートを走行していない（案内記号は、ルート内容に関係があるマークのみを表示）。	ルート上を走行してください。
自動再探索ができない。	探索ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度ルート探索をしてください。
	設定がOFFになっている。	設定をONにしてください。

オーディオ関係

■ CD関係

症状	原因	処置方法
音声が聞こえない。	音量のボリュームが最小になっている。	オーディオ側の音量をご確認ください。
再生が始まらない。	ディスクの裏表が間違っている。	タイトル面を上にして入れ直してください。
	本体内に結露が生じている。	結露がおさまるまで、しばらく（約1時間程度）お待ちください。
	車内の温度が高くなっている。	プレイヤーの温度が常温に戻ると再生可能になります。
	ディスクに傷や汚れがついている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。傷がついていると再生できない場合があります。
	ディスクが劣化している。	ディスクは、車室内に保管していた場合など、保管状態により劣化して読めなくなることがあります。また、レーベル面のヒビや浮きが発生することがあります。そのようなディスクは使用しないでください。レーベル面が剥がれる場合があります。

症状	原因	処置方法
音声圧縮再生ができない。	音楽CD（CD-DAデータ）と音声圧縮ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	音楽CD（CD-DAデータ）とMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。
	ファイル名が間違っている。	フォルダ名、ファイル名は規格に準拠した文字種、文字数で入力してください。また、必ず拡張子「.mp3」「.wma」「.MP3」「.WMA」「.m4a」を付けてください。
音声圧縮再生が始まるまでに時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。音声圧縮以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。
音質が悪い。	ディスクに汚れが付いている。	ディスクに付着した汚れをふき取ってください。
CDの再生時間は表示されているが、音がでない。	ミックスモード（第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット）のディスクの第1トラックを再生した。	第2トラック以降の音楽データを再生してください。
音切れ、音飛びする。	書き込み速度が速い状態で記録されている。	ソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度、書き込みの深さ、幅などの規格が合わない可能性があります。
音飛びする。	高ビットレートで記録されたファイルを再生している。	高ビットレートで書き込みしたデータの場合は、音飛び（コマ落ち）する場合があります。
再生時すぐ次の曲に移る。	MP3、WMA、AACでないファイルの拡張子を「.mp3」「.wma」「.MP3」「.WMA」にしている。	MP3、WMA、AACのファイルをご用意ください。 ファイルの拡張子は、「.mp3」「.wma」「.MP3」「.WMA」にしてください。
	著作権保護により再生が禁止されているファイルを再生しようとした。	著作権保護により再生が禁止されているファイルは再生できません。約5秒間無音再生し、次の曲に移ります。

症状	原因	処置方法
曲順が意図した順序に再生されない。	書き込み時にライティングソフトがフォルダの位置を変えて書き込んでいる。	ライティングソフトで書き込まれた順序で再生されるため意図した順序で再生されない場合があります。

■ Bluetooth®オーディオ関係

症状	原因	処置方法
登録できない。	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	三菱自動車販売会社へお問い合わせいただき接続対象機器をご確認ください。
	パスキーが間違っている。	登録するBluetooth®オーディオ機器のパスキーをご確認ください。
		Bluetooth®オーディオ機器のパスキーと、車載機のパスキーが一致しているかご確認ください。
	車内に登録機以外のBluetooth®機器がある。	登録する機器以外のBluetooth®機器は、登録が完了するまで、電源をOFFにしてください。
再生できない。	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	三菱自動車販売会社へお問い合わせいただき接続対象機器をご確認ください。
	本機とオーディオ機器が接続できない。	TV・AUXを押して、Bluetooth®オーディオモードが選択されているか、ご確認ください。
		オーディオ機器にBluetooth®アダプターをつけて使用する場合は、TV・AUXを押して、Bluetooth®オーディオモードを選択してから、Bluetooth®アダプターの電源をONにしてください。

症状	原因	処置方法
音が停止する。	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	三菱自動車販売会社へお問い合わせいただき接続対象機器をご確認ください。
	携帯電話の接続をしている。	故障ではありません。
	カーウイングスを使っている。	故障ではありません。
	交通情報ダウンロードをしている。	故障ではありません。
	Bluetooth®オーディオ機器本体を操作している。	お使いのBluetooth®オーディオ機器によっては本体操作で音がとぎれることがあります。TV・AUXを押してBluetooth®オーディオモードを再度選択してください。
音が飛ぶ。	Bluetooth®オーディオ機器の置き場所によっては、音が飛ぶことがあります。	置き場所を変えてください。
	車内に他の無線機器があると、音が飛ぶことがあります。	他の無線機器の電源をOFFにしてください。
音質が悪い。	音楽データが低ビットレートでBluetooth®オーディオ機器に保存されている。	Bluetooth®オーディオ機器に保存するビットレートをより高レートに変更してください。
操作メニューが使用できない。	接続しているBluetooth®オーディオ機器によっては、使用できない操作があります。	オーディオ機器の取扱説明書で使用できる操作をご確認ください。

■ iPod関係

症状	原因	処置方法
iPodが認識されない。	コネクタケーブルが正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	コネクタケーブルを接続し直してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
	使用しているiPodが、接続対応していない。	iPodの対応機種およびバージョンを確認してください。
	iPodファームウェアが最新でない。	iPodを最新のファームウェアにバージョンアップしてください。
	USB延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB延長ケーブルを使用しないでください。
	USB接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。
iPodをコントロールできない。	iPodにヘッドフォンなどが接続されたまま、ナビ本体に接続した。	iPodをナビ本体から一旦取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから再度接続し直してください。
	iPodが正しく動作していない。	iPodをナビ本体から一旦取り外し、iPodをリセットしてから再度接続し直してください。
	特定のアルバムアートが存在するアルバム／曲を再生した。	iPodをナビ本体から一旦取り外し、iPodをリセットしてください。合わせて対象のアルバムアートを使用しない状態で再度接続し直してください。
レスポンスが悪くなった。	1つのカテゴリ内の曲数が多い。さらに、シャッフル機能をオンにしている。	1つのカテゴリ内の曲数を少なくしてください（3,000曲以下）。また、曲数が多い状態ではシャッフル機能をオンにしないでください。
iPodの曲をプレイできない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまでしっかり接続してください。
曲再生の音が途切れる。	iPodの取り付けが不安定で、振動により音飛びしている。	走行中にiPodが転がらないよう、車内にしっかりと取り付けし直してください。
音が歪む。	iPodのEQ機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。

症状	原因	処置方法
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	iPodを接続するケーブルが断線している可能性がある。	ケーブルをご確認ください。
ナビゲーションシステムに接続すると、iPodの操作ができなくなる。	—	本機と接続中は、iPodの操作はナビゲーションシステム側から行ってください。
音飛びする。	周辺環境（ノイズなど）により、音が飛ぶことがあります。	故障ではありません。
	USB延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB延長ケーブルを使用しないでください。

● **iPod の制約事項について**

症状	処置方法
iPod nano 3GでChapter分割されているPodcastを再生すると、プレイタイムの表示がずれる場合がある。	この機能には対応していません。
Audiobookの件数が正しく表示できない場合がある。	この機能には対応していません。 いったんiPodをはずしてリセットすると、表示されます。
iPod nano 3GおよびiPod Classicでジャケット写真を再生すると、iPodがフリーズまたはリセットされる場合がある。	この機能には対応していません。

■ USB接続関係

症状	原因	処置方法
USB機器を認識しない。	USB専用ケーブルが正しく接続されていない。	USB専用ケーブルの接続状態を確認してください。
	USB延長ケーブルを使用している。	USB延長ケーブルを使用しないでください。
	HUBを使用している。	HUBを使用しないでください。
	使っているUSB機器が、接続対応していない。	USB機器の仕様を確認してください。
	USB接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。
映像データが正しく再生されない。	USB2.0ハイスピードに対応していないUSBメモリを用いて、映像データを再生した。	USB2.0ハイスピード対応のUSBメモリをご使用ください。
	USB3.0を使用している。	

■ DivX関係

症状	原因	処置方法
映像が映らない。	走行中である。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてください。
DivXを再生しない。	対応していないフォーマットのファイルを再生しようとした。	AVI形式で作成されたDivX（拡張子aviまたはdvix）ファイルを使用してください。
	使用された動画作成ソフトが対応していない。	対応している動画ソフトを使用してください。
音飛び・音ずれ・コマ落ちが発生する。	ビットレートが高すぎる場合や、フレーム数／秒が多すぎる場合などに、再生ができなかったり、音飛び・音ずれ・コマ落ちが発生する場合がある。	ビットレートやフレーム数／秒を適正にしてください。

付録

■ DVD関係

症状	原因	処置方法
映像が映らない。	走行中である。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてください。
操作どおりに動作しない。	ディスク制作者の意図により、操作どおりに動作しないDVDディスクがある。	故障ではありません。
操作を受け付けない。	操作した動作が禁止されている（ディスクによってはメッセージが表示されない場合もあります）。	操作可能な画面になるまでお待ちください。
音声が聞こえない。	音量のボリュームが最小になっている。	オーディオ側の音量を調節してください。
再生が始まらない。	ディスクの裏表が間違っている。	タイトル面を上にして入れ直してください。
	音量のボリュームが最小になっている。	オーディオ側の音量をご確認ください。
	本体内に結露が生じている。	結露がおさまるまで、しばらく（約1時間程度）お待ちください。
	DVDメニューが表示されている。	メニュー項目を選び、決定を選んでください。
	リージョンコードの異なるディスクを入れた。	リージョンコードの異なるディスクは再生できません。ディスクをご確認ください。
	DVDソフトによっては、DVDの規格を厳密には満たしていないことがあるため、本機での再生ができない場合があります。	故障ではありません。
再生がとぎれたり、画面が乱れる。	ディスクに傷が付いている。	傷の大きさによっては、エラー訂正できない場合があります。
	ディスクに汚れが付いている。	ディスクに付着した汚れをふき取ってください。

症状	原因	処置方法
字幕が表示されない。	字幕の表示設定がOFFになっている。	設定の字幕を選んで字幕の設定をしてください。
	字幕が収録されていないソフトを再生している。	ディスクをご確認ください。
設定している音声言語で再生されない。	設定している音声言語がディスクに収録されていない場合は、ディスク側の推奨言語で再生されます。	ディスクをご確認ください。
設定している字幕言語で再生されない。	設定している字幕言語がディスクに収録されていない場合は、ディスク側の推奨言語で再生されます。	ディスクをご確認ください。
アングルを変えることができない。	複数のアングルが記録されていないソフトを再生している。	マルチアングル対応のディスクであるか、ご確認ください。
画面表示がおかしい。	DVDソフトの出力用アスペクト比に対する適正な表示モードを選んでいない。	表示モードを切り替えてください。
画像が乱れる。	早送り、早戻しをしている。	故障ではありません。
音質が悪い。	ディスクに汚れが付いている。	ディスクに付着した汚れをふき取ってください。
字幕言語、音声言語を切り替えることができない（設定した字幕言語、音声言語にならない）。	複数の字幕言語、音声言語が記録されていないディスクを再生している。	字幕言語、音声言語の数はディスクにより異なります。また、メニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。ディスクをご確認ください。
	ディスク側に優先の言語や設定がある。	ディスク側に優先の言語や設定がある場合は、本機での設定の変更は反映されません。
ビデオCDのメニュー再生ができない。	プレイバックコントロール付きビデオCDではない。	プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生はできません。ディスクをご確認ください。

症状	原因	処置方法
ディスクの再生時間は表示されているが、音がでない。	ミックスモード（第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット）のディスクの第1トラックを再生した。	第2トラック以降の音楽データを再生してください。

■ 地上デジタルテレビ関係

症状	原因	処置方法
映像が映らない。	走行中である。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてください。
電源を入れても映像がすぐに出ない。	本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。	故障ではありません。
乱れた映像になるまたは特定のチャンネルで映像が乱れる。	三菱自動車販売会社へお問い合わせください。	
映像も音声も出ない。	地上デジタルチューナーユニットが異常高温になると、自動的に電源がオフされます。	車内、ラゲッジルームなどの温度を下げてから、電源を入れ直してください。
	車の場所や方向により、受信状態が変化します。	アンテナレベルを確認してください。「地デジ固定」になっている場合は、受信エリアが拡大する1セグ／地デジ切替にて自動もしくは1セグ固定へ切り替えてください。
	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードテストを実行して確認してください。

症状	原因	処置方法
映像や音声が出ない。（または、ときどき出なくなる） 映像が静止する。（または、ときどき静止する）	車のある場所や方向により、受信状態が変化します。	1セグ放送視聴中に、受信状態により黒画面になることがありますが、故障ではありません。「地デジ固定」になっている場合は、受信エリアが拡大する1セグ／地デジ切替にて自動もしくは1セグ固定へ切り替えてください。
	車両の搭載機器※の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	故障ではありません。
	自動車／バイク／高圧線／ネオンサインなどの近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	故障ではありません。
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリアにいない。	地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。
	「自宅エリア／おでかけエリア」の設定は適切ですか？	「自宅エリア」と「おでかけエリア」設定を切り替えてください。
チャンネルリストに数字が表示される。	放送局名のない受信局をリストに登録している。	故障ではありません。

※：ワイパー、電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプ、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーザー探知機など。

● メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせてメッセージが表示されます。

主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内容
信号レベルが低下しているため、このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の受信レベルが低い場合に表示されます。
このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の電波を受信できていない場合に表示されます。
このチャンネルは現在放送されていません。	放送時間が終了しています。番組表などでチャンネルをお確かめください。
B-CASカードが読み取れません。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。本機付属のB-CASカードを正しく挿入してください。 **B-CASカードの入れかた／取り出しかた…p.144**
B-CASカードを入れてください。	B-CASカードが入っていないか、正しく挿入されていません。本機付属のB-CASカードを正しく挿入してください。
データ取得中です。	データ取得中の表示です。故障ではありません。

■ リヤプライベートシアターシステム関係★

症状	原因	処置方法
電源を入れても映像がすぐに出ない。	本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。	故障ではありません。
乱れた映像になるまたは特定のチャンネルで映像が乱れる。	三菱自動車販売会社へお問い合わせください。	
音声が聞こえない。	後席ディスプレイでのみテレビを視聴している場合は、ヘッドフォンからのみ音声が出力される。	付属のヘッドフォンを使用してください。
前席で再生しているテレビ、DVD、USBデータを表示しない	後席ディスプレイが外部入力モードになっている。	外部入力スイッチを押して、画面を切り替えてください。

症状	原因	処置方法
USBメモリを再生できない	USBメモリに映像データが入っていない	音楽データのみのUSBメモリを後席ディスプレイで再生はできません。
リモコンのボタンを押しても動作しない。	リモコン受光部に向けて操作していない。	リモコン受光部に向けて操作してください。
	リモコンの電池が切れている。電池が入っていない。	リモコンの電池を交換するか入れてください。
ヘッドフォンのランプが点灯しない。	ヘッドフォンの電池が切れている。電池が入っていない。	ヘッドフォンの電池を入れるか、交換してください。

ハンズフリーフォン関係

症状	原因	処置方法
携帯電話の接続を認識しない。 発信または着信できない。	適合していない携帯電話を使用している。	適合携帯電話機種[※1]をご確認ください。
	エンジンスイッチONの状態で通信ケーブルを車両側に接続している。（au有線の場合）	通信ケーブルを車両側に接続する際は、必ずエンジンスイッチをOFFにしてください。
	携帯電話が接続されていない。	携帯電話をケーブル接続もしくはBluetooth®接続してください。
	携帯電話にダイヤルロック等の操作制限が設定されている。	携帯電話のダイヤルロック等操作制限を解除してからケーブル接続もしくはBluetooth®接続してください。
特定の電話番号に発信できない。	同じ番号への発信の際、特定の事象（相手が電話に出ない場合、相手が圏外の場合、相手が出る前に切断した場合）が一定の回数繰り返されると、その番号への発信ができなくなる場合があります。	携帯電話の電源を一旦OFFにし、再度ONにして接続し直してください。

症状	原因	処置方法
Bluetooth®の機器登録ができない。	携帯電話がBluetooth®に対応していない。	● Bluetooth®に対応した携帯電話機種をご利用ください。 ● 適合携帯電話機種(※1)をご確認ください。
	Bluetooth®の機器登録手順に誤りがある。	● 携帯電話の操作手順書（マニュアル）をご確認ください。 ● Bluetooth®携帯電話の初期登録方法をご確認ください。(※1)
Bluetooth®の機器登録をしたのにもかかわらず、接続されない、もしくは、切断される。	ナビのBluetooth®がOFFになっている。	ナビのBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のBluetooth®がOFFになっている。	携帯電話のBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のバッテリー残量が十分ではない。	携帯電話のバッテリー残量が十分な状態でご利用ください。
	携帯電話の置場所によって、Bluetooth®の電波状況が悪くなることがある。	携帯電話を金属で覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置かないで下さい。またシートや身体の間に密着させないでください。
	Bluetooth®の機器登録手順を完了していない。	● 携帯電話の操作手順書（マニュアル）をご確認ください。 ● 各Bluetooth®携帯電話の初期登録方法をご確認ください(※1)
相手に声が伝わらない。通話相手側で音が割れたり、途切れたりする。	携帯電話と携帯電話接続コネクターが接続されていない。	携帯電話接続コネクターが接続されていることを確認してください。
	携帯電話とBluetooth®接続されていない。	携帯電話をBluetooth®接続してください。(※1)
	車外の音が大きい（大雨、工事、現地、トンネル内、対向車が多い、など）。	窓やサンルーフを閉じてください。
	エアコンの風音が大きい。	風量を下げてください。
	走行中の騒音が大きい。	速度を落として、騒音の少ないところで操作してください。
	受話／送話音量が大きすぎる。	受話／送話音量を調節してください。

症状	原因	処置方法
Bluetooth®接続でのハンズフリー通話時、音が切れたり、ノイズが入る。	携帯電話の置場所によっては、Bluetooth®の電波状況が悪くなることがある。	携帯電話を金属で覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置かないでください。またシートや身体の間に密着させないでください。
FOMAの携帯電話が使用できない。	携帯電話のUSBモード設定が「通信モード」になっていない。	FOMAの携帯電話をお使いの場合は、USBモード設定を「通信モード」にしてください。
携帯電話操作で発信するとハンズフリー機能が使えない。	機種によっては、携帯電話から発信操作するとハンズフリーに切り替えられない場合がある。	ナビ（車載）のハンズフリー機能から、発信し直してください。
呼び出し音、着信音などと音声の音量が違う。	呼び出し音、着信音などとの声の音量が調節されていない。	着信音は着信時に調節してください。受話音は通話中にオーディオ音量で調節してください。送話音は設定画面の送話音量メニューで調節してください。
● 電話画面と携帯電話機の電界受信バーの本数が違う。 ● 電話画面に受信バーが表示されている状態で発信しても電話がつながらない。	電界受信バーの本数の基準が携帯電話機ごと異なる。	電話画面の電池残量と電界強度表示（バー表示）一致しないことがあります。目安としてご利用ください。

知識

(※1)　適合機種、初期登録手順については、三菱自動車販売会社またはカーウイングスお客様センターにお問い合わせいただくか、カーウイングスホームページ（http://drive.nissan-carwings.com/CW）の「適合携帯電話一覧」でご確認いただけます。

カーウイングス関係

症状	原因	処置方法
カーウイングス情報センターに接続されない。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話を正しく接続してください。
	携帯電話の電波状態が悪い。圏外表示になっている。	故障ではありません。圏内表示になるとお使いいただけます。
	携帯電話の回線が混雑している。	しばらくしてからおかけ直しください。
	電話の電波が届きづらい場所にいる。	電話の電波が届きやすい地点に移動すると、接続できるようになります。
	携帯電話にダイヤルロックがかかっている。	携帯電話のダイヤルロックを解除してください。
	携帯電話に発信規制が設定されている。	携帯電話の発信規制を解除してください。
	au WINのUSB接続設定が「データ転送モード」になっていない。	au WINをケーブル接続でお使いの場合、機種によってUSB接続設定がありますが、「データ転送モード」にしてご使用ください。「データ転送モード」になっていないと、データ通信に時間がかかり接続できないことがあります。
	適合していない携帯電話を使用している。	適合携帯電話機種(※1)をご確認ください。
	カーウイングスの申し込みをしていない。	カーウイングスへのお申し込みを行ってください。詳しくは、三菱自動車販売会社または、カーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。
サービスご利用時、通常の音声電話に比べてサービスエリアが狭くなったり、つながりにくいことがある。	カーウイングス情報センターとの通信にデータ通信モードを使用しているため、起こる場合がある。	故障ではありません。しばらくしてからおかけ直しください。
メニュー項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

症状	原因	処置方法
一部の画面が表示されない。	走行中である。	車を安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。
ダウンロード中の画面が表示される時間よりも、実際の通信時間の方が長い。	携帯電話の機種によっては、携帯電話で実際に通信が開始・終了されるタイミングよりも、本機の画面表示や切り替わるタイミングの方がやや速いため。	故障ではありません。
オペレータをご利用時、音声が途切れる。またはデータが到達するのが遅くなる。	通信回線の状況、基地局の設置状況によって起こる場合がある。	故障ではありません。しばらくしてからおかけ直しください。
新着メール受信の操作を行うと「設定が必要です」というメッセージが出る。	メールアドレスが設定されていない。	メール受信を利用するには、受信したいメールアドレスをカーウイングスホームページで設定してください。
情報やメールが音声で読み上げられない。	音量（VOL）調節が最小になっている。	音声読み上げ中に、コントロールパネルまたはステアリングの − 🔈 + で調整してください。

知識

(※1) 適合機種、初期登録手順については、三菱自動車販売会社またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせいただくか、カーウイングスホームページ（http://drive.nissan-carwings.com/CW）の「適合携帯電話一覧」でご確認いただけます。

カメラシステム関係

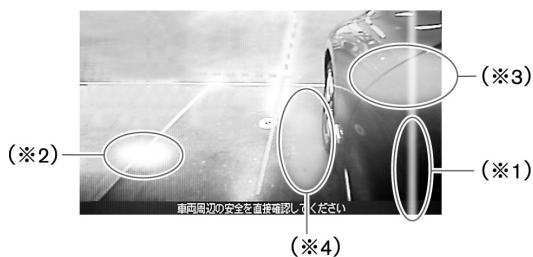
症状	原因	処置方法
映像の映りが悪い。	カメラレンズの前面ガラスが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。
	カメラレンズに雨、雪などの水滴が付着している。	柔らかい布などで軽くふいてください。
	太陽光や他車のヘッドランプの光が直接カメラレンズ面に当たっているため。	故障ではありません。当たっている光がなくなれば元に戻ります。
	温度の急な変化によってカメラレンズ部が結露したため。	故障ではありません。しばらく走行すると元に戻ります。
	暗い所や夜間時には映りが悪くなることがある。	故障ではありません。
映像にちらつきが出る。	蛍光灯などの照明の下にいるため。	故障ではありません。
実際の色味と異なる。	カメラの特性のため。	故障ではありません。

■ リヤビューカメラ

症状	原因	処置方法
映像が映らない。	セレクターレバーが R になっていない。	セレクターレバーを R にしてください。
映像が正しい方向を向いていない。	トランクが開いている。	トランクを閉めてください。
映像が見づらい。	カメラに強い光や反射光が入っていたため。	故障ではありません。
映像にスミヤが入る。 **カメラ画面に現れる現象…p.274**	バンパーなどから強い反射光が入っていたため。	故障ではありません。

■ サイドブラインドビューカメラ

症状	原因	処置方法
時速5km前後で自動的に電源OFFになる	ナビゲーションユニットを新しくした	GPS受信状態でしばらく走行してください。
映像が映らない。	カメラが押されていない	カメラを押してください。
映像が正しい方向を向いていない。	助手席側のドアが開いている、 又は半ドアになっている。	助手席側のドアを閉めてください。
	助手席側のドアミラーが格納されている。	助手席側のドアミラーを開けてください。
車の後方の映像を映している。	リヤビューカメラに切り替わっている。	サイドブラインドビューカメラに切り替えてください。
夜間の照明が暗い。	ドアミラーの補助照明のカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。
	画面の設定が適切でない。	画面の明るさやコントラストを調整してください。 **画面の調整をする…p.31**
映像が青っぽい。	暗い所や夜間時のため。	故障ではありません。
映像が暗い。	夜間雨天時に補助照明の光が鏡面反射したため。	故障ではありません。
映像にスミヤが入る。	バンパーなどから強い反射光が入っていたため。	故障ではありません。 **カメラ画面に現れる現象…p.274**
映像にゴーストやハレーション、ターンランプの光のような現象が出る。	直接カメラに強い光が入ったり、夜間や暗いところで方向指示灯や非常点滅灯を作動させたため。	

■ カメラ画面に現れる現象

(※1)スミヤ：強い光が上下方向に光の帯のように出たもの。

(※2)ゴースト：強い光がカメラの中で乱反射し、映像上の違う箇所に光が現れたもの。

(※3)ハレーション：強い光で周囲が白っぽくにじんだもの。

(※4)ターンランプの光：方向指示灯の光が地面に映ったもの。

ETC関係

症状	処置方法
ディスプレイに「ETCに異常が発生しています。ETCサービスが利用出来ません。販売店に連絡して下さい」と表示された。 （灰色の［ETC］アイコンが表示されます）	ETCカードが挿入されている場合は、カードを抜き取ってください。 閉じるを選んで通常のナビゲーション画面に移行させます。その後は、速やかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
ディスプレイに「ETCカードが読み取れません。ETCサービスが利用できませんので、カードを抜いて確認して下さい。」と表示された。 （灰色の「ETC」アイコンが表示されます）	カードを抜き取り、ETCカードであるか、カードを挿入する向き、表裏は正しいか、を確認してください。
ディスプレイに「料金 0円」と表示された。 （年月日、時刻表示はなし）	ETCカードの端子（金色部分）の傷、汚れなどにより、料金所通過時に課金はされたものの、履歴情報が記録されない場合があり、左記画面表示が出ます。このような場合は、ETCカードの端子部を確認してください。
ディスプレイに「No.2」と表示された。 （上記表示は一例であり、数字部分は02〜07の間で出る可能性あり）	料金所通過時に、ETCユニット内部で何らかの異常が偶発的に発生した場合に、異常内容に該当する数字が左のように表示されます（一定時間で表示は消えます）。このような表示が頻繁に出る場合は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
利用履歴の確認ができない。	ETCカード挿入後、認識に2秒程度、時間がかかります。ナビ画面にETCアイコン（紫）が表示され、「ETCカードを確認しました。」と案内があった後に再度利用履歴の確認を行ってください。

付録

音声操作関係

症状	原因	処置方法
発話しても動作しない。誤認識してしまう。または「もう一度お話しください」というエラーメッセージが出る。	同乗者の発話が認識されている。	同乗者の発話を控えてもらってください。
	発話の音量が小さい。	もう少し大きな声でお話しください。
	発音がはっきりしていない。	はっきりお話しください。
	発話を開始するタイミングが早すぎる。	を押して指を離した後、確実に“ピッ”という音が鳴ったことを確認してからお話しください。
	を押して、ガイダンスが流れた後、“ピッ”という音から5秒以上たっている。	“ピッ”という音から5秒以内にコマンドを話し始めるようにしてください。
	該当するコマンドがない。	画面上に橙色で表示されているコマンド、数字、もしくは「コマンドリスト」の中から発話してください。
	車外の音が大きい（大雨、工事、現地、トンネル内、対向車が多い、など）。	窓やサンルーフを閉じて周囲の雑音を遮断してください。
	エアコンの風音が大きい。	風量を下げてください。
	走行中の騒音が大きい。	速度を落として、騒音などの少ないところで操作してください。
	話す速さが遅すぎる。	自然なスピードで滑らかに話してください。
登録地、短縮ダイヤル、携帯メモリが正しく認識できない。	登録されているヨミガナが異なっている。	正しいヨミガナを登録してください。
	名称が短すぎる、または似ているヨミガナが複数登録されている。	名称を長くしてください。また、似ているヨミガナは違うものにかえてください。

症状	原因	処置方法
住所や施設名が認識できない。	正式な名称を発話していない。	正式な名称で発話してください。（例 カンクウ→関西国際空港） 住所の場合、都道府県名、市区町村名など分割して発話することも可能です。
	対象ジャンルに含まれていない。	対象ジャンルに含まれていない施設は検索できません。
数字入力がうまくできない。	一度に入力する数字の桁数が多い。	桁数を区切って入力した方が認識しやすくなります。電話番号を入力するときは市外局番、市内局番などに区切って入力してください。
［もう一度お話しください］というエラーメッセージが出る。	発話する音声がはっきりしない。	はっきりとした声で、自然にお話しください。
	発話開始までの時間が長い。	“ピッ”という音の後、5秒以内に話し始めてください。
	該当するコマンドがない。	画面上に表示されているコマンド、数字、もしくは「コマンドリスト」の中から発話してください。また、正しい「読みかた」でお話しください。
［もう少し大きな声でお話しください］というエラーメッセージが出る。	発話する音声が小さい。	もう少し大きな声でお話しください。
「もう少し小さな声でお話しください」というエラーメッセージが出る。	発話する音声が大きい。	もう少し小さな声でお話しください。
を押しても、“ピピッ”と鳴って音声操作を使うことができない。	エンジン（ガソリン車）または、ハイブリッドシステム（ハイブリッド車)始動直後にを押した。	しばらくしてからもう一度を押してください。

以下の操作を行っているときは、音声操作を行うことはできません。

- ハンズフリーフォン使用中
- 車両後退時

知っておいていただきたいこと

液晶ディスプレイの取り扱いについて

- 固い布や、アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。ディスプレイやパネルに傷が付いたり、変質したりします。
- 水や芳香剤などの液体をかけないでください。本体内部に液体が入り込むと、故障の原因となります。
- 清掃するときは、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少し含ませて（水滴が付かない程度） ふいてください。

ナビゲーション

■ ルート探索について

- 表示されるルートは参考ルートです。必ずしも最短であるとは限りません。
- 道路は日々変化しており、地図データ作成時期の関係から、形状、交通規制などに誤りがある場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- ルート探索中は、車両走行に伴う地図の移動は行われません。
- ルート探索終了後、ルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 目的地および経由地に到着してもルートが消えないことがあります。新しいルートを探索するか、エンジンを切ったとき(ガソリン車)、またはハイブリッドシステムを停止したとき（ハイブリッド車）にルートは消えます。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- ルート表示時に地図を移動させると、ルートが再度表示されるまで時間がかかることがあります。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになることがあります。
  - どれか1つでもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
  - 経由地付近でルートがつながらないことがあります。
  - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- ルート探索では、細街路を含むその他一般道を含めたルートの探索を行います。（一部地域では探索できないことがあります。）
  - 現在地、経由地、目的地付近のみ細街路を含むその他一般道も使用してルート探索を行います。
  - 市街地図の収録エリアでは、交通規制情報を加味した探索が行われます。
  - 現在地および目的地（経由地）付近における細街路を含むその他一般道を使用したルートについては、音声での案内は行いません（ただし、目的地付近の細街路では目的地のある方向を音声でご案内します）。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
  - 細街路を含むその他一般道から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路を含むその他一般道に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規

制に従って走行してください。
- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。

● 以下のようなとき、ルートが探索できないことがあります。
  - 現在位置と目的地が近いとき。この場合はメッセージが表示されます。
  - 現在位置と目的地が遠すぎるとき。この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
  - 交通規制で目的地や経由地まで到達できないとき。
  - 極度に迂回したルートしかないとき。

● 以下のようなルートが表示されることがあります。
  - ルート探索しても、現在位置の前、または後からルートが表示されることがあります。
  - 目的地を設定しても、目的地の前、または後にルートが表示されることがあります。
  - ルート探索しても、他の道路からのルートが表示されることがあります。この場合は現在位置マーク（自車マーク）がずれている可能性がありますので、車を安全な場所に停車させ、現在地マークを正しい道路上に修正するか、しばらく走行して現在位置マーク（自車マーク）が正しい道路上に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
  - 目的地や経由地を設定するときに、その付近に複数の道路が交差（隣接）していると、遠回りなルートが表示されることがあります。このような場合は、目的地や経由地の設定で地図が表示されたときに、タッチパネルで目的地や経由地付近の道路に修正してください。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジやサービスエリアなどのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
  - 冬季通行止め、時間規制道路の設定が「回避」設定のときは時間・曜日規制を終日規制として扱っているため、実際は通行可能であっても遠回りのルートが表示される場合があります。
  - 一般道優先でルート探索しても、有料道路上にルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
  - 陸路のみで目的地に到着できるときや探索条件の設定でフェリー航路を使うをOFFにしてルート探索させても、フェリー航路上にルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
  - フェリー航路は、旅客のみ、2輪のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。
  - 探索用のフェリールートは国道レベルのもの（国道の延長）です。一般的に、長距離航路は、探索データに登録されていません。

● 現在位置や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

● ルートガイドの注意点

- 本システムのルートガイドは、あくまでも補助的な機能ですので実際に運転する際には地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- ルートガイドは、ある一定の条件を満たす交差点でしか行わないため、ルート上では方向が変わっていてもルートガイドを行わない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより異なった内容になることがあります。
- 音声ガイドのタイミングは、場合によって遅れたり早くなったりすることがあります。
- ルートを外れた場合は、音声ガイドは行いません。また、外れたことの案内もしません。
- ガイド・メッセージ音声のON表示が消灯している場合は、音声ガイドは行われません。

  また、ガイド・メッセージ音声のON表示が点灯している場合でも、ガイド音量設定がOFFになっていると、音声ガイドは行われません。
- 音声ガイドは、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、ガイドが開始されるまでは地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくと“経由地付近です”と音声ガイドが行われ、次のルート区間の案内に移ります。

  このときもガイド開始時と同様に、次の音声ガイドが行われるまでは地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地付近です。運転お疲れ様でした。”と音声ガイドが行われ、音声ガイド（ルートガイド）は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。
- 音声操作時は、音声ガイドは行われません。
- 下記のような条件等の場合には、画面表示、音声ガイドしないことや、ガイド内容が実際の状況と異なることがあります。 **常に実際の交通状況や交通規則・標識などに従って注意してください。**
  - VICS（ビーコン）対応キット◎の上に物を置いたり、窓が汚れたりしていて、DSSS用光ビーコンとの赤外線通信が遮られた場合。
  - DSSS用光ビーコンが木の葉や雪などの付着により遮られた場合。
  - DSSS用光ビーコンの受光部に太陽光などが入射した場合。
  - DSSS用光ビーコンの通信エリアに駐停車車両があり、通信できない場合。
  - DSSS用光ビーコンの機器メンテナンス作業などによって、通信できない場合。
  - DSSS用光ビーコンに誤作動、異常、故障などがあり、誤った情報が車両に提供された場合。
  - 前方のわき道車両や信号待ち車両の存在を検出する路上に設置したセンサーが、環境条件変化等によって、検出機能が低下し、車両の未検出や誤検出が発生する場合。
  - DSSS用光ビーコンを通過してから、ガイド対象地点に進むまでに、わき道車両や信号待ち車両の状況が変化し、提供された検知情報が実際の交通状況と異なる場合。

知識

- 時間指定の一方通行規制は、探索条件の時間規制通路の設定をしても、ルートの探索に加味いたしません。
- 地図データの更新により、収録エリアは変わります。

■ 細街路（主要市区町村道路）探索エリア

⚠ 警告

- **経路探索結果により、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。運転の際は常に実際の道路状況に従って運転してください。**

■ HDD地図データについて

1. HDDに収録されている地図データ（以下「地図データ」といいます。）は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用（測量法第30条に基づく成果使用承認平17企指公第1号）した財団法人日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベース（測量法第44条に基づく成果使用承認11-080）を基に（株）ゼンリンにて作成しております。（©2011財団法人日本デジタル道路地図協会）
2. この地図データの作成にあたっては、(株)ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図（承認番号　平23情使、第192-570号）を使用しております。
   - 市街地図データは、住宅地図データを元に（株）ゼンリンが作成したものです。
   - 本商品で表示している緯度経度座標数値は日本測地系に基づくものになっています。基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収録されていないもの、名称や道路などが異なる場合があります。
3. この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。

   （承認番号 国地企調発第78号、平成16年4月23日）
4. 電話番号情報は、NTTのタウンページ電話帳の情報を収録しています。なお、各業種の中でも一部場所の特定ができない情報については収録しておりません。地図表示につきましては、タウンページ電話番号の住所を基に調査を行っております。また、地図表示は該当する物件の周辺を表示します。

   あらかじめご了承ください。

   ※タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
5. 道路データは、高速道路有料道路はおおむね2012年4月、国道県道主要地方道はおおむね2012年1月までに調査されたものが収録されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
6. 交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
7. 交通事故多発地点データは、（財）交通事故総合分析センターのデータに基づき作成したものを使用しています。
   - この地図データに使用している交通事故多発地点データは、1998年11月時点の交通事故多発地点です。
8. 地形データは、国土地理院長の承認を得て同院発行の5万分の1地形図を使用し、（株）武揚堂にて作成されたものです。（承認番号 平9総使、第47号）
9. 「VICS」リンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。
10. 本商品は、細街路（主要市区町村道路）を含めた推奨ルートの探索を行います。さらに「市街地図」の収録エリアでは、規制データ（終日の一方通行）を加味した推奨ルートの探索を行います。

探索された推奨ルートは、細街路中では暗い黄色で表示されます。

※ 細街路および規制データは、2011年11月調査時点のものです。時間指定の一方通行規制は、推奨ルートの探索にあたっては、考慮されません。

11. 音声データは、日立オートモティブシステムズ（株）が作成した原稿を基にして、株式会社アレックスが録音・編集を行っております。

12. 「るるぶ情報」の著作権は、（株）JTBパブリッシングが有しています。
ジャンル名称等、一部のデータは（株）JTBパブリッシングが保有するコンテンツを元に日産自動車（株）が独自に編集しています。
※「るるぶ情報」は、2012年2月時点のものです。掲載内容は変更される場合があるため、ご利用の際は事前にご確認ください。

13. HDDに収録されているリアル3D交差点案内データ（以下「リアル3Dデータ」といいます。）の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を基に、（株）ジオ技術研究所にて作成しております。（承認番号 平21業使、第589-032号）
    - リアル3Dデータは、（株）ジオ技術研究所の独自技術を使用し、（株）ゼンリン及び（株）ジオ技術研究所が作成したものです。
    - リアル3Dデータは、2011年に収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

14. 本商品に使用しているデータの無断複製・複写・加工・改変を禁じます。

15. 本地図データ（HDD）の内容は、原則として年2回程度更新しています。
新しい地図データのご購入は、三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠ 警告

- **常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。**

  本商品に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

- **一方通行表示については常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。**

  一方通行表示は全ての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

- **本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。**

  本商品には全ての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない場合があります。

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の「日産カーウイングスナビゲーションシステム（地デジ内蔵・HDD方式）」（「本商品」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトをご使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

● 使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトをお客様自身が管理使用する本商品1台に限り使用する権利を許諾します。
2. 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。　但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
   (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
   (1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
   (2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内・料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
   (3) 弊社は、本ソフトに関する損害賠償責任を、一切負わないこと。
   (4) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
   (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
   (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
   (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
   (4) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

● 地図データの更新について

地図データのバージョンアップは、三菱自動車販売会社にて有償で内蔵ハードディスクの地図データを書き換えさせていただく方式となります。詳しくは、地図データ更新時に三菱自動車販売会社にご相談ください。

バージョンアップ書き換え作業中はナビゲーションは使用できません。また、バージョンアップ時には、お客さまご自身でHDDナビゲーションに登録された情報・内容につきましてはこれを保持するよう細心の注意を払い作業いたしますが消去される可能性があります。あらかじめご了承ください。

本内容は2012年10月現在の予定です。実際には内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ るるぶ施設ジャンル一覧

見る・遊ぶ	観光・劇場など
	公園・テーマパーク・動物園・水族館
	寺院・史跡
	自然・紅葉・花見
	体験施設・アウトドアスポーツ
	美術館・博物館
食べる	郷土料理・和食
	洋食・中華・焼肉
	喫茶・甘味
	麺類ほか
	割烹・酒処
買う	
温泉に入る	

泊まる	ホテル
	民宿
	旅館
	公共の宿・宿坊
	ペンション・山小屋
	貸別荘・コテージ

■ マップコードについて

マップコードとは、地上の位置を6～12桁のコード番号で記す新しい地点規定体系のことです。

地上を緯度経度の1/9秒に相当する3m四方単位で細かく仕切り、それぞれにコード番号を付与しています。

地域を四角く区切って位置決めするのは緯度経度と同じですが、同じ1秒単位で位置を記すのでも、緯度経度方式では、北緯35度39分56秒、東経139度41分41秒のように、かなり煩雑です。

一方で、マップコードは、1123245678＊12のように、6～12桁の数字だけで表されます。そのため、ナビゲーションシステムへ簡単に入力できるなど、さまざまな利点があります。

マップコードについての情報は、ホームページ（http://guide2.e-mapcode.com/）でも確認できます。

マップコードは、（株）デンソーの登録商標です。

■ VICSについて

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、事故や規制、工事の情報、渋滞情報や駐車場の空き情報などを電波や光でリアルタイムに提供する情報システムです。

本機ではVICSで提供された最新の情報を地図上に重ねて表示したり、文字や道路図などの形で画面に表示できます。

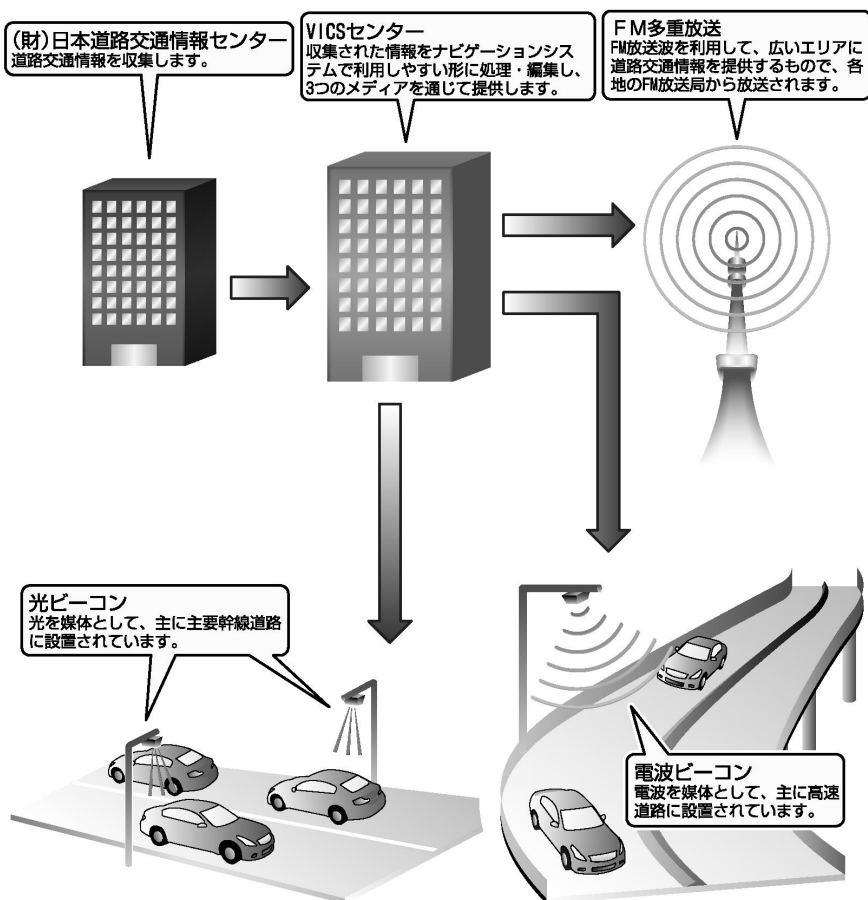
また、ルート探索機能と連動させて、スムーズに通れそうなルートを探索できます。

VICSは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

アドバイス

- VICSから提供される情報は参考情報であり、情報の収集、伝達処理などにより提供された情報が実際の状況と異なることがあります。

● VICSのしくみ

VICS は（財）日本道路交通情報センターが収集した道路交通情報を、VICS センターが処理、編集したものを FM 多重放送、光ビーコン©情報、電波ビーコン©情報として配信されています。

● 情報の提供時間

ビーコン情報：24時間

FM多重放送：24時間（ただし定例放送休止日のAM1:00～5:00を除く）

- FM多重一般放送での道路交通情報は15分～30分間隔で更新されるのに対し、VICSで提供される高速道路の交通情報は、おおむね1分または5分間隔、一般道路の交通情報は5分間隔で更新されます。また、FM多重一般放送が文字のみの情報提供なのに対し、VICSでは、図形情報や地図への重ね描き表示などでも情報提供されます。
- 地図（レベル3）情報の表示は、送られてきた情報を車載機で処理（演算）した上で地図上に重ねて表示しています。このためVICS情報の表示に関しては、受信情報に整理、処理を行うために、多少遅れて表示されることがあります。

● 情報の受信について

- FM多重のオートチューニングは受信状態の良い放送局を受信します。このため必ずしも現在位置付近の情報が表示されるとは限りません。
- FM多重は、FMの音声がステレオ受信可能であっても、情報が受信できないことがあります。
- FM多重の一般放送を受信させた場合には、その後VICS情報（FM多重）の表示に時間がかかる場合があります。

● VICS情報に関するお問い合わせについて

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数、FM多重放送の定例放送休止日などの詳細情報は、下記のホームページでご覧いただけます。

URL:http://www.vics.or.jp/

お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まず三菱自動車販売会社、または弊社お客さま相談室へお問い合わせください。

● VICS情報を受信するには

VICS情報の受信方法には、FM多重放送からの受信と道路上に設置されたビーコンからの受信の2種類があります。

FM多重放送を受信するには本機のままで受信できます。

ビーコン情報を受信するには本機にVICS（ビーコン）対応キット◎を付ける必要があります。

● VICSから提供される情報

文字表示（レベル 1）

渋滞情報などを文字で表示します。

図形表示（レベル2）

渋滞情報などを簡易な図形で表示します。

地図表示（レベル3）

地図上に、渋滞情報などのVICS情報を表示します。

付録

■ VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　　則

（約款の適用）

第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（ 昭和25年 法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約 款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　約

（契約の単位）

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1)　加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2)　加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条　(1)　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

(2)　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　　金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　　守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条　(1)　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

(2)　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　　則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条　(1) 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を 負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

(2) VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金　315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

■ 現在地表示について

本機のナビゲーションシステムは、車からの情報（車速・ジャイロセンサー）と、人工衛星からの情報（GPS）を組み合わせて現在の自車がいる位置を計算します。そして現在地（自車位置）の情報を地図上に表示することで、目的地までのルート案内を可能にしています。(※1)

● 現在地の補正

GPS 受信精度が高いとき、車速・ジャイロセンサーなどから求めた位置の精度が低いとシステムが判断すると、GPSでの現在地補正が行われます。(※2)

現在地や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。(※3)

故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示になります。

しばらく走行を続けても表示が戻らない場合は、自車位置を修正してください。

その他のナビ設定をする…p.84

以下のような場所では、電波がさえぎられて受信できなくなることがあります。(※4)

- トンネルの中やビルの駐車場
- 2層構造の高速道路の下
- 高層ビルの群集地帯
- 密集した樹木の間など

現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。

- 近くに似た形状の道路がある所の走行

- 碁盤目上の道路の走行
- 緩やかなY字路の走行
- 直線や緩やかなカーブの長距離走行
- S字の連続する道路の走行
- ループ橋などの走行
- 雪道、砂利道などの走行
- 旋回、切り返しを繰り返したとき
- エンジンスイッチをOFFにしてターンテーブルなどで旋回したとき
- 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などの走行

知識

(※1)
- GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。
- GPS衛星からの電波を受信しても測位に時間がかかる場合があります。

(※2) 車両が停車しているときは、GPSによる位置修正は行われません。

(※3)
- エンジン（ガソリン車）または、ハイブリッドシステム（ハイブリッド車）を始動してすぐ車を動かしたときも自車マークの向きがずれることがあります。
- サイズ違いのタイヤやタイヤチェーンの装着などでも、現在地がずれることがあります。

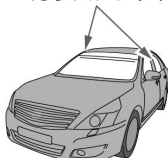
(※4) GPSの室内取りつけアンテナはダッシュボード内に設置されているため、ダッシュボード上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。衛星の電波の強度はテレビ放送電波の10億分の1程度ですので、感度が低下したり、受信できなくなることがあります。

オーディオ・テレビ

■ アンテナについて

● ガラスアンテナ

アンテナ線はフロント、リアサイドまたはリヤウインドーガラスの内側にあります。

- アンテナ線部にミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでくだ さい。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアン テナ線にそって軽くふいてください。
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

■ オーディオプレーヤーを上手に使うために

- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内に露（水滴）が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合はオーディオソフト（CD、DVD、USBメモリ）を取り出し、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。
- 炎天下に長時間駐車したときなどプレーヤーの温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。
- 走行中に振動が激しいと、音とびすることがあります。
- CDやDVDは専用ケースに入れ、直射日光のあたる場所や高温多湿の場所を避けて保管してください。

■ CD（コンパクトディスク）について

- 音楽用CDは、以下のマークが入っているものを使用してください。

- コピーコントロールCDは規格に準拠していない特殊ディスクのため、再生できないことがあります。
- CD-R、CD-RWは、再生できないことがあります。
- 次のようなCDは、故障の原因となりますので使用しないでください。
  - ハート型や八角形などの特殊な形状のCD
  - そったり、傷があるCD
  - 読み取り面が汚れているCD
  - 内外周が荒く処理されたCD
  - 個人でシールやラベルを貼ったCD
  - レーベル面に印刷できるCD
- レンズクリーナーはピックアップ故障の原因となるおそれがありますので使用しないでください。
- 走行中に振動が激しいと音とびすることがあります。

■ ミュージックボックスについて

音楽CDをHDD（ハードディスクドライブ）に録音して様々な方法で再生することができます。また、HDDに収録されているデータベースからアーティスト名、ジャンルなどを自動的に取得し、表示することができます。

● 録音について

- MP3/WMA/AACファイルの録音はできません。
- CDを再生しているときは約4倍速、再生していないときは約7倍速で録音します。
- 録音中は「REC」と録音曲数が表示されます。
- 録音中に振動、ディスクの傷や汚れなどにより読み取りエラーが発生した場合、その曲の始めに戻り録音を再開します。始めからの録音を3回繰り返しても読み取りエラーが発生した場合は、そのまま録音が継続され音飛びのあったことを示す 🛇 （音飛びマーク）が表示されます。
- CD以外のモード（ソース）に切り替えても録音は継続されますが、オーディオをOFFにしたとき、CDを取り出したとき、HDDの容量がいっぱいになったときには録音を停止します。
- 音飛びしたときやディスクの状態が悪いときは、無音状態が録音される場合があります。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）を検出したトラックの録音は行いません。
- ディスクの傷、汚れなどにより、録音できなかったり、音飛びが発生したり、録音に時間がかかる場合があります。
- CDデータをHDDに録音（リッピング）しているとき、CDの回転音が大きくなりますが、故障ではありません。

● プレイリストについて

音楽CDを録音すると、HDDに収録されているデータベースまたはCD-TEXTから取得した情報をもとに、アルバム別やアーティスト別、ジャンル別、フィーリング別に自動的にグループ分けして、プレイリストを作成します。グループ分けされた曲は「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」などいろいろな選曲方法で再生することができます。

● MCDB について

ミュージックボックスは「フィーリングモード」（明るい曲、いやされる曲など）に応じた自動選曲用のデータベースとして、MCDBを使用しています。

※ MCDBは、メディアクリック社の登録商標です。

■ Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識テクノロジー及び関連データは、Gracenote®により提供されます。

Gracenoteは、音楽認識テクノロジー及び関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com

GracenoteからのCD及び音楽関連データ: Copyright ©2000-2008 Gracenote.

Gracenote Software: Copyright 2000-2008 Gracenote.

この製品及びサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、及びその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

Gracenote及びCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、及び「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate

■ Gracenote音楽認識サービスのご利用について

この製品を使用する際は、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク認識を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術はGracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者にGracenote Embedded Software又はGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote Databaseや、Gracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareの所有権を含む全ての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの、各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenoteは、全てのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の明示或いは保証は、一切致しません。Gracenoteは Gracenoteが明らかに問題であると判断した際、又は更新が必要な際には、データカテゴリーを更新したり、データを消去することができます。Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示又は黙示の保証はしません。Gracenoteは、Gracenote Component又はいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果についても保証しません。

Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的侵害又は逸失利益もしくは逸失収益に対して責任を負いません。

■ USBメモリについて

- USBメモリは装備に含まれておりません。お客様ご自身でご用意ください。
- ご使用に際しては、USBメモリが正しく接続されていることをご確認ください。
- USBメモリのフォーマットは本機では行えません。お手持ちのパソコンなどで行ってください。
- USBメモリには一部対応していない機種があります。

  使用できるUSBメモリの仕様：

  - High Speed対応メモリ
  - ファイルシステム：FAT16、FAT32
  - 最大メモリサイズ：64GB
  - セクタサイズ：512B
  - クラスタサイズ：32kB以下
- 複数のパーテーションに分かれているUSB機

器は使用できない場合があります。
- 暗号化やコピープロテクト、著作権保護されたファイルなどは再生できません。
- Music Boxのタイトル情報を取得する場合には、2MB以上の空き容量が必要です。
- **データ収録の制限について**
  - 最大ファイル数：5000
  - 最大フォルダー数：255
  - 最大フォルダー階層：8
  - 1ファイルあたりの最大ファイルサイズ：2GB

■ Bluetooth®オーディオについて

- Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できないものがあります。ご利用いただけるBluetooth®オーディオ機器については三菱自動車販売会社ホームページでご確認ください。
- Bluetooth®オーディオは接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。
- 以下のときはBluetooth®オーディオの再生は一時停止します。下記動作が終了すると、Bluetooth®オーディオの再生を再開します。
  - カーウイングスによるデータダウンロード中(手動または自動)
  - 交通情報の受信中
  - ハンズフリー通話中
  - 携帯電話の接続確認中
- Bluetooth®通信用の車両側アンテナは、本機に内蔵されていますので、Bluetooth®オーディオ機器を金属に覆われた場所や本機から離れた場所においたり、シートや身体の間に密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth®接続を行うと、通常よりBluetooth®オーディオ機器の電池の消耗が早くなります。
- 本機は、Bluetooth®AVプロファイル（A2DP、AVRCP）に対応しています。

Bluetooth®

Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、クラリオン株式会社は、ライセンスに基づいて使用しています。

■ DVDについて

DVDディスクによってはディスク制作者の意図により、お客さまの操作に対して各種操作を受け付けないディスクや、お客さまの操作意図と違う動作をするディスクがあります。 操作した動作が禁止されている場合は、「!現在その操作ができません」と画面に表示されます（ディスクによっては表示されない場合もあります）。

● 再生できるディスクの種類

DVD(※1)	DVD-ROM DVD±R DVD±RW DVD±R DL	片面1層 片面2層 両面1層 両面ミックス 両面2層
CD(※2)	CD-ROM（CD-DA） CD-RW CD-R dts-CD	

- 12cmディスクのみの対応です。
- ブルーレイディスク、DVD-RAMは再生できません。
- お客様ご自身で作成・コピーされたディスクは記録状態によっては再生できない場合があります。

知識

(※1) DVD+R、 DVD-R DLは、記録状態によってはレイヤー（1層／2層）の切り替え時に映像や音声が途切れる場合があります。

(※2) CD-R、 CD-RWはDVDビデオ方式で録画したもののみ再生できます。また、記録面の反射率が低いため、データを読み出せない場合があります。

● 再生できるフォーマットの種類

音楽データ	MP3 WMA AAC
映像データ	DVD-VIDEO DVD-VR VIDEO-CD MPEG4-ASF(※1) DivX(※2)

- 本機では、映像信号がNTSC方式およびPAL方式で記録されたディスクを再生することができます。

(※1) MPEG4は、拡張子がasf、またはaviのASF形式のみ再生できます。

(※2)
- DivXは拡張子がavi、またはdivxのファイルのみ再生できます。
- DivXフォーマット映像に視聴回数制限がある場合は、事前にユーザーアカウントを取得する必要があります。

● リージョンコードについて

リージョンコードとは、映画の配給権保護や海賊版の防止を目的としてつくられた、地域別の再生管理コードのことです。DVDプレーヤーとDVDディスクにそれぞれ、地域別のコードを記録することで、プレーヤー側とディスク側のリージョンコードが合致しなければ、再生が行われない仕組みになっています。

※ DVDソフトの中には、複数のリージョンコードを持つもの（例えば、「1」と「2」）や、全地域で再生可能なもの（「ALL」）があります。

リージョンコードは全世界で、6つのエリアに分けられています。日本の地域コードは、欧州や南アフリカ共和国と同じ2番が割り当てられています。

例）

※番号は地域ごとに違います

本DVDプレーヤーで再生可能なリージョンコードは、「2」「ALL」「2を含むもの」の製品です。

● 著作権および商標について

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションおよびその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有によって保護された著作権保護技術を採用しています。
- この著作権保護技術はマクロビジョンコーポレーションの許可なく使用できません。また、同社の特別な許可がない限り、一般家庭その他における限られた視聴用だけに使用されるようになっています。
- 改造、または分解は禁止されています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基き製造されています。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic、MLP LosslessおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY
DIGITAL

- DTSおよびDTS 2.0はDTS社の登録商標です。

- DTSおよび DTS Digital Surround はDTS社の登録商標です。

- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

● パレンタルレベル（視聴制限）について

本DVDプレーヤーは視聴制限のかかったDVDディスクでも再生できます。再生するDVDディスクの視聴レベルは、お客さまのご判断によりお願いいたします。

● DVD-VIDEOの仕様表記について

DVD-VIDEOソフトのレーベル面とパッケージには、下のようにディスクのいろいろな仕様が分かる表記が記載されています。

この表記により、DVDソフトに本機が対応できるかを確認することができます。

仕様表記（一般例）：

① ディスク部番
② 収録時間
③ ディスクの種類
④ カラー／モノクロ
⑤ 映像フォーマット
⑥ 対応言語（音声）
⑦ 対応言語（字幕）
⑧ アスペクト比
⑨ 音声フォーマット
⑩ リージョンコード番号
⑪ アングル

● 言語コード一覧

言語Code	日本語表記
001	アファル
002	アブバジア
003	アフリカーンス
004	アムハラ
005	アラビア
006	アッサム
007	アイマラ
008	アゼルバイジャン
009	バジキール
010	ベラルーシ
011	ブルガリア
012	ビハーリー
013	ビスラマ
014	ベンガル、バングラ
015	チベット
016	ブルトン
017	カタロニア
018	コルシカ
019	チェコ
020	ウェールズ
021	デンマーク
022	ドイツ
023	ブータン
024	ギリシャ
025	英

言語Code	日本語表記
026	エスペラント
027	スペイン
028	エストニア
029	バスク
030	ペルシャ
031	フィンランド
032	フィジー
033	フェロー
034	フランス
035	フリジア
036	アイルランド
037	スコットランド ゲール
038	ガルシア
039	グアラニ
040	グジャラート
041	ハウサ
042	ヒンディ
043	クロアチア
044	ハンガリー
045	アルメニア
046	国際
047	インドネシア
048	国際
049	イヌピック
050	アイスランド

言語Code	日本語表記
051	イタリア
052	イヌクチタット
053	ヘブライ
054	日本
055	イディッシュ
056	ジャワ
057	グルジア
058	カザフ
059	グリーンランド
060	カンボジア
061	カンナダ
062	韓国
063	カシミール
064	クルド
065	キルギス
066	ラテン
067	リンガラ
068	ラオス
069	リトアニア
070	ラトビア
071	マダガスカル
072	マオリ
073	マケドニア
074	マラヤーラム
075	モンゴル
076	モルダビア

言語Code	日本語表記
077	マラータ
078	マレー
079	マルタ
080	ミャンマー
081	ナウル
082	ネパール
083	オランダ
084	ノルウェー
085	オック （プロバンス）
086	アファン
087	オリヤー
088	パンジャブ
089	ポーランド
090	パシュトー
091	ポルトガル
092	ケチュア
093	ラエティ=ロマン
094	キルンディ
095	ルーマニア
096	ロシア
097	キニャルワンダ
098	サンスクリット
099	シンド
100	サンゴ
101	セルビア クロアチア
102	シンハラ

付録

言語Code	日本語表記
103	スロバキア
104	スロベニア
105	サモア
106	ショナ
107	ソマリ
108	アルバニア
109	セルビア
110	シスワティ
111	セストゥ
112	スンダ
113	スウェーデン
114	スワヒリ
115	タミール
116	テルグ
117	タジク
118	タイ
119	ティグリニャ
120	トゥルクメン
121	タガログ
122	セツワナ
123	トンガ
124	トルコ
125	ツォンガ
126	タタール
127	トウィ
128	ウイグル
129	ウクライナ
130	ウルドゥ
131	ウズベク
132	ベトナム
133	ボラピュク
134	ウォロフ
135	コーサ
136	ヨルバ
137	チワン
138	中国
139	ズルー

■ DivXファイルについて

● コーデックの組み合わせについて

本機で再生対応している映像コーデックと音声コーデックの組み合わせは以下になります。

拡張子	コンテナ形式	コーデック	
		映像	音声
.avi .divx	AVI	DivX3 DivX4 DivX5 DivX6	MP3 (MPEG1 Audio Layer3) MPEG2.5 Audio Layer3 AC3 (Dolby Digital) LPCM Audio なし
.asf	ASF	ISO MPEG-4	G.726

以下の条件については、本機では再生できません。

DivXの場合

- 映像コーデックがXvid、MS MPEG-4、MPEG-4 、MPEG-1、MPEG-2、WMV7、H.264などは再生できません。
- 映像コーデックは対応しているが、音声コーデックが非対応の場合は無音再生になります。
  ただし、音声コーデックがDTS音声の場合は再生できません。

ASFの場合

- 映像コーデックがMS MPEG-4、WMV7～9などは再生できません。
- 映像コーデックは対応しているが、音声コーデックが非対応の場合は再生できません。

● 映像ファイルについて

DivXの場合

- 規格：DivX Home Theater Profi le に準拠
- 画枠：最小32×32以下 最大720×576 (25fps)、720×480 (30fps)以上は再生できません。
- 下記の条件の場合、映像と音声の進みが乱れることがあります。
  平均ビットレートが4Mbps以上
  平均ピークレートが8Mbps以上

ASFの場合

- 規格：ISO MPEG-4 Simple Profi le@Level 0～3に準拠
- 画枠：最小32×32以下 最大720×576以上は再生できません。
- DivXファイル内の構成によっては、特殊再生などが禁止されることがあります。

■ 地上デジタルテレビについて

● 正しくお使いいただくために

- デジタル放送では受信状態が悪いと、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

● 製造メーカーについて

本地上デジタルチューナーは、クラリオン株式会社が開発・製造しています。

● 地上デジタル放送

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。(※1)

● 1セグ放送

地上デジタル放送に加え、1セグにも対応しています。(※2)

また、地上デジタル放送　1セグへの自動切り替えまたは手動切り替えにより、受信エリアが拡大します。(※3)

知識

(※1) 本機は、双方向データサービスに対応しておりません。

(※2) 本機はワンセグのデータ放送及びワンセグ2サービスには対応しておりません。

(※3) 番組によってはサイマル放送が運用されていない場合があります。

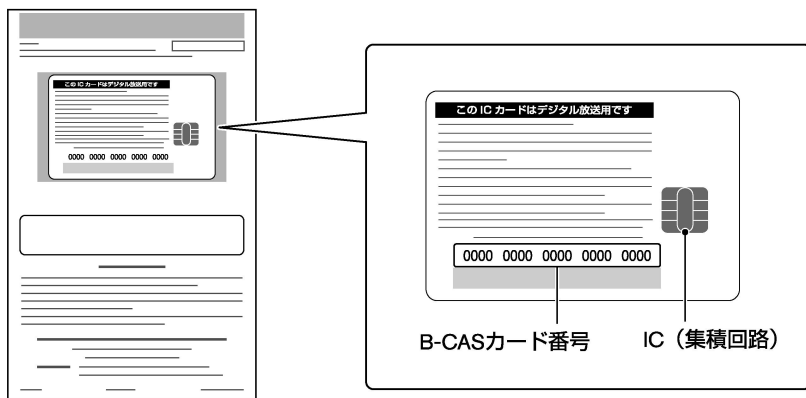
● ご留意していただくこと

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、またマクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

● B-CASカードについて

地上デジタル放送（12セグ）を受信するには、付属のB-CASカードをあらかじめB-CASカードリーダーに挿入してください。

地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月からコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送（12セグ）の受信ができません。B-CASカード使用許諾契約約款をよくお読みの上、挿入してください。(※1)

- B-CASカード番号は、B-CASカードを管理するための大切な番号です。問い合わせの際も必要です。必ず番号を控えておいてください。
- 付属のB-CASカードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で複製できません。
- 破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
- B-CASカードのユーザー登録については、B-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
- 付属のB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送との有料受信契約をすることはできません。
- B-CASカードを破損・紛失などをされた場合は、お客様より（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。

知識

(※1)　「B-CASカード使用許諾契約約款」は、「取扱説明書」とともに大切に保管してください。

● B-CASカード取扱上の注意について

アドバイス

- カードを折り曲げたり、変形をさせないようにしてください。
- カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないようにしてください。
- カードに水をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
- IC（集積回路）部を触らないでください。
- カードを分解・加工しないでください。
- ダッシュボードの上など高温になるところにカードを放置しないでください。
- BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用しないでください。（同梱のB-CASカードは地上デジタル専用です。）

B-CASカードについてのお問い合わせは

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンター

0570-000-250
（IP電話からの場合045-680-2868）
受付時間10：00～20：00

詳細情報は、下記のホームページでご覧いただけます。

URL http://www.b-cas.co.jp/

● 地上デジタル放送チャンネル一覧表

受信チャンネル設定で選択された地域（お住まいの地域）の放送局とチャンネル番号の組み合わせは、下表のようになります。

受信チャンネルを設定する…p.147

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
北海道（札幌）	1	HBC札幌
	2	NHK教育・札幌
	3	NHK総合・札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	7	TVH札幌
	8	UHB札幌

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
北海道（函館）	1	HBC函館
	2	NHK教育・函館
	3	NHK総合・函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	7	TVH函館
	8	UHB函館

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
北海道（旭川）	1	HBC旭川
	2	NHK教育・旭川
	3	NHK総合・旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	7	TVH旭川
	8	UHB旭川
北海道（帯広）	1	HBC帯広
	2	NHK教育・帯広
	3	NHK総合・帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	7	TVH帯広
	8	UHB帯広
北海道（釧路）	1	HBC釧路
	2	NHK教育・釧路
	3	NHK総合・釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	7	TVH釧路
	8	UHB釧路

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
北海道（北見）	1	HBC北見
	2	NHK教育・北見
	3	NHK総合・北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	7	TVH北見
	8	UHB北見
北海道（室蘭）	1	HBC室蘭
	2	NHK教育・室蘭
	3	NHK総合・室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	7	TVH室蘭
	8	UHB室蘭
青森	1	RAB青森放送
	2	NHK教育・青森
	4	NHK総合・青森
	5	青森朝日放送
	6	ATV青森テレビ
岩手	1	NHK総合・盛岡
	2	NHK教育・盛岡
	4	テレビ岩手
	5	岩手朝日テレビ
	6	IBCテレビ
	8	めんこいテレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
秋田	1	NHK総合・秋田
	2	NHK教育・秋田
	4	ABS秋田放送
	5	AAB秋田朝日放送
	8	AKT秋田テレビ
山形	1	NHK総合・山形
	2	NHK教育・山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
宮城	1	TBCテレビ
	2	NHK教育・仙台
	3	NHK総合・仙台
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
	8	仙台放送
福島	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
	8	福島テレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
栃木	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	とちぎテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	群馬テレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
茨城	1	NHK総合・水戸
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
埼玉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	テレ玉
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
千葉	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	チバテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	9	TOKYOMX
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	3	tvk
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビジョン
	12	放送大学
新潟	1	NHK総合・新潟
	2	NHK教育・新潟
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
	6	BSN
	8	NST

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
富山	1	KNB北日本放送
	2	NHK教育・富山
	3	NHK総合・富山
	6	チューリップテレビ
	8	BBT富山テレビ
山梨	1	NHK総合・甲府
	2	NHK教育・甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
石川	1	NHK総合・金沢
	2	NHK教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
長野	1	NHK総合・長野
	2	NHK教育・長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
岐阜	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・岐阜
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	8	ぎふチャン
静岡	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・静岡
	4	だいいちテレビ
	5	静岡朝日テレビ
	6	SBS
	8	テレビ静岡
愛知	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・名古屋
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	10	テレビ愛知
福井	1	NHK総合・福井
	2	NHK教育・福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
滋賀	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪
	3	BBCびわ湖放送
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
三重	1	東海テレビ
	2	NHK教育・名古屋
	3	NHK総合・津
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	7	三重テレビ放送
京都	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	KBS京都
	8	ABCテレビ
	9	関西テレビ
	10	読売テレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
奈良	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	9	奈良テレビ
	10	読売テレビ
和歌山	1	NHK総合・和歌山
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	5	テレビ和歌山
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
大阪	1	NHK総合・大阪
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	7	テレビ大阪
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
兵庫	1	NHK総合・神戸
	2	NHK教育・大阪
	3	サンテレビ
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
鳥取	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・鳥取
	3	NHK総合・鳥取
	6	BSSテレビ
	8	山陰中央テレビ
島根	1	日本海テレビ
	2	NHK教育・松江
	3	NHK総合・松江
	6	BSSテレビ
	8	山陰中央テレビ
岡山	1	NHK総合・岡山
	2	NHK教育・岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	TSCテレビせとうち
	8	OHKテレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
広島	1	NHK総合・広島
	2	NHK教育・広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
山口	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・山口
	3	tysテレビ山口
	4	KRY山口放送
	5	yab山口朝日
香川	1	NHK総合・高松
	2	NHK教育・高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	TSCテレビせとうち
	8	OHKテレビ
愛媛	1	NHK総合・松山
	2	NHK教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
徳島	1	四国放送
	2	NHK教育・徳島
	3	NHK総合・徳島
高知	1	NHK総合・高知
	2	NHK教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	1	KBC九州朝日放送
	2	NHK教育・福岡
	2	NHK教育・北九州
	3	NHK総合・福岡
	3	NHK総合・北九州
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本
大分	1	NHK総合・大分
	2	NHK教育・大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
佐賀	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・佐賀
	3	STSサガテレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
長崎	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・長崎
	3	NBC長崎放送
	4	NIB長崎国際テレビ
	5	NCC長崎文化放送
	8	KTNテレビ長崎
熊本	1	NHK総合・熊本
	2	NHK教育・熊本
	3	RKK熊本放送
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
	8	TKUテレビ熊本
宮崎	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・宮崎
	3	UMKテレビ宮崎
	6	MRT宮崎放送
鹿児島	1	MBC南日本放送
	2	NHK教育・鹿児島
	3	NHK総合・鹿児島
	4	KYT鹿児島読売TV
	5	KKB鹿児島放送
	8	KTS鹿児島テレビ

お住まいの地域	チャンネル番号	放送局名
沖縄	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ（OTV）

（2009年12月現在）

● 用語解説

（株）B-CAS：

BSデジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するために設立された（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。110 度CS デジタル放送、地上デジタル放送も同じシステムを使用しています。

データ放送：

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

3桁チャンネルと物理チャンネル：

- 3桁チャンネル

  地上アナログ放送では、1 つのチャンネルで1 つの番組を放送しており、チャンネル番号はその放送局に対応しています。それに対して地上デジタル放送では1 つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できるため編成チャンネルと呼ばれる3 桁のチャンネルが設定されています。3 桁のうち最初の2 桁は放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）、最後の1 桁はその放送局の中でのチャンネルを示す代表チャンネルとなっています。

- 物理チャンネル

  物理チャンネルとは、実際に受信する周波数を表すチャンネル番号のことです。地上デジタル放送では、従来のアナログ放送とは異なり実際に受信する周波数を送信しているチャンネル（物理チャンネル）と放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）が異なります。

＜東京のチャンネル例＞

放送局	リモコンチャンネル	3桁チャンネル	物理チャンネル
NHK総合	1	011または012	27
NHK教育	2	021または022	26

放送局	リモコンチャンネル	3桁チャンネル	物理チャンネル
日本テレビ	4	041	25
TBS	6	061	22
フジテレビジョン	8	081	21
テレビ朝日	5	051	24
テレビ東京	7	071	23
東京MXテレビ	9	091または092	20
放送大学	12	121	28

■ リヤプライベートシアターシステムについて★

- ヘッドフォンシステムを使用しているときに、赤外線通信機器や携帯電話を使用されますと大きな雑音が入ることがあります。このような時にはボリュームを下げるか、一時的にヘッドフォンの使用を中止してください。
- ヘッドフォンシステムは赤外線によって音声を通信しています。このため赤外線送出部（後席ディスプレイの近くにあります）から離れたり、近づいても赤外線の届く範囲から外れると雑音（サー音）が増えることがありますが、雑音が増える現象は赤外線の特性によるもので故障ではありません。
- 赤外線送出部の発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲や音質などの性能には影響はありません。
- ヘッドフォンを使用しないときはヘッドフォンの電源スイッチをOFF にしてください。赤外線の受信ができない状態（ディスプレイが閉じている状態）では約5分で自動的に電源が切れます。
- 後席ディスプレイは専用リモコンで操作します。紛失しないようにご注意ください。

ハンズフリーフォン

■ ご使用上の注意

- ハンズフリーフォンをご使用になるときは、必ず車載機に携帯電話を接続してください。
- バッテリーあがり防止のため、エンジン（ガソリン車）あるいは、ハイブリッドシステム（ハイブリッド車）を始動後に使用してください。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種については、三菱自動車販売会社またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせいただくか、カーウイングスホームページ（http://drive.nissan-carwings.com/CW）の「適合携帯電話一覧」で必ずご確認ください。
- au WINをケーブル接続でご使用の場合には、機種によってUSB接続設定がありますので「データ転送モード」または「Packet WINモデムモード」に設定してください。（設定方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください）
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくはカーウイングスホームページまたは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- 以下の場合には、ハンズフリーフォンを使用できません。
  - 使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  - トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 以下の機能が設定されているとハンズフリーフォンが使用できません。設定を解除してください。（機能の解除方法は、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください）
  - ダイヤルロック、オートロック、オールロック、セルフモード
  - その他、発着信を制限、もしくは禁止する機能
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機（レーダー探知機）を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音が人のざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 携帯電話の電波状態が悪いときや、高速で走行しているとき、窓を開けているとき、エアコンファンの音が大きいときなどは、通話中のお互いの声が聞こえにくいことがあります。
- 三者通話機能には対応していません。
- 携帯電話の機種によっては、コネクターを接続すると電話のディスプレイ照明が常時点灯するタイプがあり、電池の消費が早まります。この場合は、電話の設定を「照明OFF」にして使用してください。
- 車載機で携帯電話を充電することはできません。
- エンジンスイッチON直後は、電話の着信を受けることができません。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作（着信拒否、転送も含む）はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。

● 故障、サービスなどについて

- 万一、ハンズフリーフォンが故障したときは、お買い上げいただいた三菱自動車販売会社にご相談ください。

■ Bluetooth®電話機について

Bluetooth®電話機は、無線（Bluetooth®）で通信を行うことのできる電話機です。従来の携帯電話機のように、ケーブルで接続しなくても本機との通信ができるため、例えば胸ポケットに電話を入れたままでもハンズフリーフォンとして使用することができます。

- Bluetooth®通信用の車両側アンテナはナビに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置いたり、シートや身体の間に密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth®接続を行うと、通常より携帯電話の電池の消耗が早くなります。
- Bluetooth®オーディオ使用時にハンズフリーフォンを使用すると、Bluetooth®オーディオは一時停止します。
- 放送局や他の無線機器が近くにある場合は、正常に接続できないことがあります。
- ペースメーカーなどの電子医療機器に影響を与える可能性がある場合は、Bluetooth®接続を「しない」に設定してください。

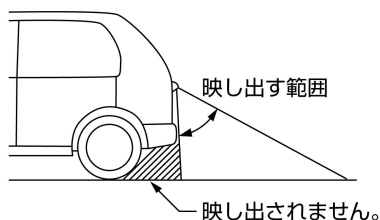
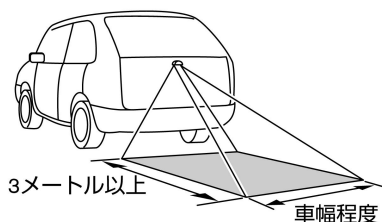
Bluetooth®

カメラシステム

■ リヤビューカメラについて

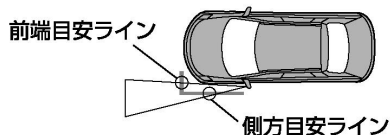
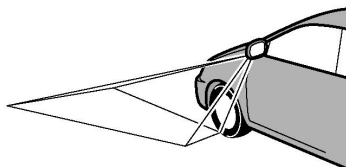
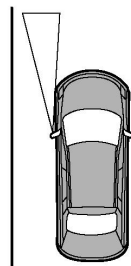
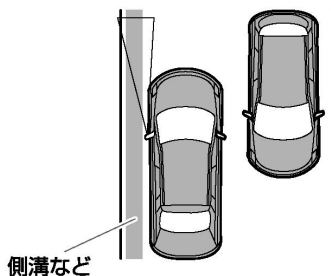
リヤビューカメラは、バンパー後端から車の後方を映します。

以下の点にご注意ください。

- 車や路面の状況により、映る範囲が異なることがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着すると、リヤビューカメラの映像が一部映らなくなることがあります。
- 車種により、カメラの位置は異なります。

■ サイドブラインドビューカメラについて

● 映し出す範囲

補助照明は赤外線照明を使用しているため、夜間でも映像を映し出せます。

● 使用例

狭い道でのすれ違い

ETC

■ ETCとは

ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）は、財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。有料道路料金所のETC利用可能な車線（以下「ETC車線」と称す）内に設置された道路側アンテナと車載ETCユニット間の無線通信により、従来のような現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに自動的に料金支払いができるシステムです。通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。

■ ETCの利用について

ETCをご利用になるには、ETCユニットのほかにクレジット会社が発行するETC専用ICカード（以下「ETCカード」と称す）が必要になります。カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

- 万一、ETCカードを盗難・紛失された場合は、ただちにETCカード発行会社に連絡してください。
- ナンバープレートの変更など車検証の記載が変更になった場合はETCユニットの変更手続きが必要となりますので、三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ETCカードは、お客さまご自身による申し込みが必要です。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- ETCを初めて使うときは、セットアップする必要があります。セットアップは、財団法人道路システム高度化推進機構の認可を受けた「セットアップ取扱店」で行えます。

ボイスコマンド一覧

ここでは音声操作で発話できるボイスコマンドを紹介しています。

コマンドリストは、画面上でも確認することができます。

グレード、オプションにより、表示されるコマンドリストは異なります。

ナビゲーション関連

■ 目的地を設定する

ボイスコマンド	動　作
自宅へ帰る	自宅へ帰るルートを探索します。
登録地へ行く	画面にリストが表示されます。1番から5番の番号で設定できます。それ以外の登録地は登録した名前の「よみ」で設定します。
近くの<施設ジャンル名称>へ行く	ガソリンスタンドなどの施設ジャンル名称を発話し、現在地周辺の施設を検索して目的地に設定します。
周辺施設へ行く	リストからジャンルを選択して現在地周辺の施設を検索し、目的地に設定します。ルートが設定されている場合、ルート沿いの施設を検索します。
最近の行き先へ行く	以前に設定した目的地を再度設定します。
出発地へ行く	前回のルートガイド時の出発地を設定します。
住所で探す	住所を発話して設定します。地図を表示することもできます。
電話番号で探す	電話番号で場所を探して設定、または地図を表示します。
施設名で探す	施設名称を発話して設定します。地図の表示をすることもできます。

■ 地図を操作する

ボイスコマンド	動　作
施設アイコン	施設アイコンを地図上に表示、または消去します。
バードビュー	地図をバードビューにします。
スタンダードビュー	地図をスタンダードビューにします。
北を上	北が上の地図にします。
進行方向を上	進行方向が上の地図にします。
<1、2、4、10、16、64、256> kmスケール	地図を指定したサイズの縮尺にします。 スタンダードビュー設定時のみ使用できます。
<50、100、200、500> mスケール	
<10、25、50> m 市街地図	
<1、2、4、10、16、64、256> kmスケール	地図を指定したサイズの縮尺にします。 バードビュー設定時のみ使用できます。
<50、100、200、500> mスケール	
<25、50> m 市街地図	

■ 探索条件などを設定する

ボイスコマンド	動　作
最速ルート探索	カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードして、最速ルートを探索します。
有料優先	有料道路を優先したルートを探索します。
一般優先	一般道路を優先したルートを探索します。
距離優先	距離優先距離を優先したルートを探索します。
案内中止	ルート案内を中止します。
ルート情報	設定したルートの情報を表示します。
迂回路探索	迂回する距離を指定して探索します。

■ VICS、音声ガイド

ボイスコマンド	動　作
渋滞情報取得	カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードします。
VICS図形情報	FM多重、図形情報を表示します。
VICSビーコン図形情報	ビーコン、図形情報を表示します。 VICSビーコン図形情報は、VICS（ビーコン）対応キット◎が接続されていないと表示されません。
音声ガイド	音声ガイドのON/OFFを設定します。
音声リピート	音声ガイドをもう一度再生します。

オーディオ関連

※　ラジオ／テレビ使用中に操作します。

ボイスコマンド	動　作
ミュージックボックス	ミュージックボックスを再生します。
DVD	DVDを再生します。
CD	CDを再生します。
USB	USBメモリ内のファイルを再生します。
Bluetooth®オーディオ	Bluetooth®オーディオを再生します。
ラジオ	ラジオを再生します。
AM	ラジオをAM にします。
FM	ラジオをFMにします。FM再生時はFM1とFM2を切り替えます。
FM1	ラジオをFM1 にします。
FM2	ラジオをFM2 にします。
交通情報	交通情報を流します。
< ラジオ放送曲名 >　※	発話した放送局名を流します。
テレビ	テレビを表示します。
テレビ1　※	テレビ1 を表示します。

ボイスコマンド	動　作
テレビ2　※	テレビ2 を表示します。

カーウイングス関連

ボイスコマンド	動　作
情報チャンネル	お気に入りに登録されているチャンネルの最新情報を取得します。
新着メール	新着メールを受信します。
オペレータ	カーウイングス情報センターのオペレータを呼び出します。
ここです車メール	登録されている送信先へここです車メールを送信します。
この街ガイド	この街ガイドのメニューを選んで、サービスを利用します。
この街ガイドを終了する	この街ガイドを終了します。
おまかせ再生	おまかせ再生を開始したり終了したりします。

ハンズフリー関連

ハンズフリー関係のコマンドは、停車中のみ使用できます。

ボイスコマンド	動　作
ダイヤル	電話番号を発話して電話をかけます。
短縮ダイヤル	表示されたリストから選んで、電話をかけます。リストに表示されない短縮ダイヤルは、登録した名前の「よみ」で電話をかけます。
ハンズフリー電話帳	携帯電話に登録されている「よみ」を発話して電話をかけます。
発信履歴	最新の発信履歴5件から番号を選んで、電話をかけます。
着信履歴	最新の着信履歴5件から番号を選んで、電話をかけます。
不在着信履歴	最新の不在着信履歴5件から番号を選んで、電話をかけます。

その他

■ 車両情報

ボイスコマンド	動　作
燃費情報	平均燃費や瞬間燃費などの燃費情報を表示します。
メンテナンス情報	エンジンオイルなどのメンテナンス情報を表示します。

■ ヘルプ

ボイスコマンド	動　作
コマンドリスト	コマンドリストを表示します。

音声認識できる施設ジャンル・名称

地図更新等でカテゴリーが変更されることがあります。

全ての施設が検索できるわけではありません。

ゴルフ場・ゴルフ練習場

温泉・お風呂

遊園地・テーマパーク

動物園・水族館・植物園

公園

スポーツ施設

キャンプ場

スタジアム

マリンスポーツ

ビーチ・海水浴場

つり

スキー・スノボ場

美術館・画廊

博物館・科学館・文化施設

プラネタリウム

ボウリング・カラオケ・パチンコ

映画館

劇場・寄席

ライブハウス

花の名所

花火大会

くだもの狩り

遊覧・フェリー

マリーナ・ヨットハーバー

旅行案内・販売

ビューポイント

名所100 選

観光名所

生物観察ポイント

自然景観地

競馬・競輪

コンビニエンスストア

セブンイレブン

ローソン

ファミリーマート

サンクス

サークルK

デイリーヤマザキ

ミニストップ

am ／ pm

セイコーマート

ポプラ

スリーエフ

セーブオン

ホットスパー

ニューデイズ

エブリワン

コミュニティ・ストア

ココストア

総合スーパー・スーパーマーケット

マックスバリュ

業務スーパー

ジャスコ

ダイエー

ライフ

イトーヨーカドー

マルエツ

デパート

アウトレットモール・ショッピングセンター

ホームセンター・ナフコ

ホームセンターコーナン

ホーマック

ケーヨーデイツー

カインズホーム

インテリア用品・家具ほか

薬局・薬店・ドラッグストア

マツモトキヨシ

スギ薬局

サンドラッグ

ウエルシアドラッグセガミ

ハックドラッグ

ツルハドラッグ

ドラッグセイムス

コスモス薬品

クリエイトエス・ディー

くすりセイジョー

ジップドラッグ

キリン堂

コクミン

ディスカウントストア

ビッグ・エー

ドン・キホーテ

ジャパン

ダイレックス

100 円ショップ

ザ・ダイソー

SHOP99
STORE100
家電製品・量販店
デオデオ
ベスト電器
ヤマダ電機
ケーズデンキ
コジマ
エイデン
ジョーシン
マツヤデンキ
CaDen
携帯電話ショップ
レンタルショップ
TSUTAYA
CD・DVD・ビデオ
本・書店
BOOK OFF
リサイクルショップ
スポーツ用品
衣料品店
ファッションセンターしまむら
ユニクロ
青山
ライトオン
紳士服コナカ
マックハウス
アオキ
はるやま
おもちゃ・ゲーム・子供用品
トイザらス
ペット
食材・食料品・酒店
ケーキ・お菓子・パン・アイス
クリーニング
美容・理容・アロマ
みやげ・郷土品
日用品・雑貨品・文具
無印良品
めがね・コンタクト
時計・アクセサリー
かばん・靴・革製品
つり・趣味の店
花・園芸
住まい
宅配便
写真館
宝くじ・スポーツくじ販売
プレイガイド・金券
オーディオ・楽器
自転車店
朝市・夕市・定期市
仏壇・仏具・墓石
ファミリーレストラン
ガスト
サイゼリヤ

ジョイフル
デニーズ
バーミヤン
餃子の王将
リンガーハット
COCO'S
ロイヤルホスト
夢庵
びっくりドンキー
和食さと
すかいらーく
ビッグボーイ
グラッチェガーデンズ
サンマルク
和食レストランとんでん
とんかつ浜勝

ファーストフード
松乃家
マクドナルド
モスバーガー
ミスタードーナツ
ケンタッキーフライドチキン
吉野家
すき家
31 アイスクリーム
ロッテリア
松屋
なか卯
やよい軒
ウェンディーズ
ハーゲンダッツショップ
レディボーデン

郷土料理
沖縄そば
沖縄料理店
京料理

和食・海鮮料理
食堂
うなぎ料理
おでん屋
お茶漬おにぎり
てんぷら料理
ろばた焼
屋形船
かき料理
かに料理
ふぐ料理
魚料理
すっぽん料理
ちゃんこ料理
もつ鍋

割ぽう・懐石
懐石料理
割ぽう・料亭

すし店
回転寿司

寿司屋
うどん・そば
お好み焼き・鉄板焼
お好み焼
たこ焼
もんじゃ焼
ラーメン
中華料理
広東料理
四川料理
上海料理
中国料理
北京料理
餃子・しゅうまい
カレーハウス
CoCo 壱番屋
ステーキハウス
ステーキ宮リベロ
ステーキのどん
フォルクス
ステーキ宮
あさくま
肉料理
ジンギスカン料理
とんかつ
牛たん
牛丼
串揚げ・串かつ料理
焼鳥
焼肉・ホルモン
鳥料理
しゃぶしゃぶ料理
すきやき料理
イタリア料理
パスタ店
ジョリーパスタ
鎌倉パスタ
パスタ・デ・ココ
ピザ
フランス料理
各国料理
インド料理
スペイン料理
タイ料理
メキシコ料理
ロシア料理
韓国料理
台湾料理
朝鮮料理
コーヒーショップ・専門店
ドトールコーヒーショップ
スターバックスコーヒー
タリーズコーヒー
サンマルクカフェ
喫茶店・甘味処
甘味処

喫茶店
カラオケ喫茶
マンガ喫茶
インターネットカフェ
紅茶専門店
中国茶専門店
飲み屋
居酒屋
ビアホール
スナック
バー・クラブ
パブ・ビストロ
キャバレー
お弁当
持ち帰り弁当
折詰弁当
弁当・仕出し
ドライブイン・道の駅
役所
ホール・会館
図書館
郵便局
警察署
保健所
社会保険事務所
税務署
法務局
裁判所
都市銀行
みずほ銀行
三菱東京UFJ 銀行
三井住友銀行
りそな銀行
地方銀行
信用金庫
信用組合
金融機関
学校
塾・スクール・習い事
公民館・集会所
外国公館
消防署
大使館・領事館
運転免許試験場
総合病院
病院・医院・療養所
専門科別
はり・きゅう・マッサージ・整体
動物病院
リハビリ・ホスピス
介護・福祉施設・老人ホーム
結婚式場
神社
寺院
教会
仏教教会

葬祭場・霊園
駅
空港
フェリー
高速道路
カー用品
　ミスタータイヤマン
　オートバックス
　タイヤガーデン
　タイヤ館
　イエローハット
　タイヤセレクト
　タイヤランド
　コックピット
　ジェームス
　ドライバースタンド
　グランドスラム
　スーパーオートバックス
洗車場
板金・塗装
自動車整備・解体
ロードサービス
ルノー販売店
その他自動車販売
その他中古車販売・買取
自動車教習所
ガソリンスタンド
　エネオス
　出光石油
　昭和シェル石油
　コスモ石油
　JOMO 石油
　モービル石油
　エッソ石油
　JA-SS
　ゼネラル石油
　九州石油
　キグナス
　太陽石油
　三井石油
　ホクレン
駐車場
代行サービス
オートバイ関連
ホテル
旅館
ビジネスホテル
公共の宿
民宿
ペンション
　カプセルホテル
　モーテル
　ベビーホテル
　山小屋・ロッジ
　保養所
　ライダーハウス

ブティックホテル

宿坊

モータースポーツ・サーキット場

公衆トイレ

アルファベット

A

B

C

D

E

F

G

H

I

M

U

V

かな

あ

い

う

え

お

か

き

け

こ

さ

つ

て

と

な

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

る

れ

ろ